

科目名	心理学基礎ゼミナールⅠ						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
演習	必修	1		1年	前期		
担当者名	高田 晃、海野 博、梶本 知子、高山 智行、三島 瑞穂、森本 裕子、高山 典子、梶本 俊哉		関連する資格				
授業概要							
新入生の大学での学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で，学習や生活上に知識やスキルについて学ぶ。 本授業は対面授業を基本とする。							
到達目標				成績評価方法			
A 1101 1) 大学での学び方を修得する。 2) 自分にとってわかりやすいノートを作成することができる。 3) 図書館やデータベースなどを使って，必要な情報を収集することができる。 4) 学術的文章を批判的に読むことができる。 5) レポート作成の手順とルールを理解できる。 6) わかりやすいレジュメを作成することができる。 7) レジュメを使って発表することができる。				課題およびレジュメ作成 50% 授業参加度（発言，質疑応答等） 10% プレゼンテーション 40% で評価する。			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		50
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		40
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 大学と大学生活（担当：各教員） 【予習】キャンパスガイドを読んでおく（30分） 【復習】大学で学ぶ意義を改めて考え、前期の達成目標を立てる（40分程度）		振り返りシート
2) アカデミックスキルズとは（担当：各教員） 【予習】教科書第1章を精読する（60分） 【復習】アカデミックスキルズに対する理解を深め、自己分析を行う（60分）		振り返りシート
3) ノートのとり方（1）（担当：各教員） 【予習】教科書第2章を精読する（60分） 【復習】自分にとって使いやすいノート作りを構想する（60分）		振り返りシート
4) ノートのとり方（2）（担当：各教員） 【予習】ノートをどう活用するかという観点からノート作りを再考する（60分） 【復習】授業でとったノートを見直し、工夫、改善を行う（60分）		グループディスカッション 振り返りシート
5) 情報収集（1）：情報の種類、特徴と利用法（担当：各教員） 【予習】教科書第3章（1～4節）を精読する（60分） 【復習】データベースを使って、興味を惹かれるテーマの文献を探す（60分）		データベースを使って、文献検索を行う 振り返りシート
6) 情報収集（2）：図書館とデータベースの使い方（担当：各教員） 【予習】教科書第3章（5～6節）を精読する（60分） 【復習】興味を惹かれるテーマに関する文献を探し、リストを作成する（60分）		データベースを使って、文献検索を行う 振り返りシート
7) クリティカル・シンキング（1）：クリティカル・リーディングを理解する 【予習】教科書第4章を精読する（60分）（担当：各教員） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）		振り返りシート
8) クリティカル・シンキング（2）：クリティカル・リーディングを練習する 【予習】新聞記事を批判的に読む（60分）（担当：各教員） 【復習】授業で提示された課題を行う（60分）		グループディスカッション 振り返りシート
9) レポートの書き方（1）（各教員） 【予習】教科書第5章を読み、スキミングする（60分） 【復習】情報整理の重要性について理解を深める（60分）		振り返りシート
10) レポートの書き方（2）（各教員） 【予習】教科書第8章を精読し、第6章との関連を考える（60分） 【復習】レポート作成の手順、構成、引用のしかたについて理解を深める（60分）		振り返りシート
11) レジュームの作り方（各教員） 【予習】レジュームとはなにかを調べる（60分） 【復習】どのようなレジュームがわかりやすいかについて、理解を深める（60分）		情報収集 振り返りシート
12) レジュームを作成する（各教員） 【予習】レジューム作成に必要な文献を揃え、精読する（60分） 【予習】作成中のレジュームを見直し、必要に応じて加筆・修正する（60分）		レジューム作成 振り返りシート
13) プレゼンテーションのやり方（各教員） 【予習】教科書第7章を精読する（60分） 【復習】レジューム発表のシミュレーションをする（60分）		振り返りシート
14) 作成したレジュームを発表する（各教員） 【予習】レジューム発表の練習を行う（60分） 【復習】発表および質疑応答を振り返り、不足点を調べ理解を深める（60分）		プレゼンテーション 振り返りシート
15) まとめ（各教員） 【予習】第14回までの内容を復習する（60分） 【復習】アカデミックスキルズについて復習し、自己分析を行う（60分）		振り返りシート
授業外学習		
教科書を精読、スキミングし、理解を深める。また、授業終わりに提示される課題を行うことで、復習する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 アカデミックスキルズ第3版―大学生のための知的技法入門― 佐藤 望（編著） 2020年、慶應義塾大学出版会		基礎ゼミナールⅡ 心理学実験Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
文献リストおよびレジュメは，添削し，コメントを付記して返却する。 プレゼンテーションについては，優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。
備考

科目名	心理学基礎ゼミナールⅡ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	高田 晃、海野 博、梶本 知子、高山 智行、三島 瑞穂、森本 裕子、高山 典子、梶本 俊哉	関連する資格		

授業概要

心理学基礎ゼミナールⅠに引き続き、学生生活が充実するために行う少人数ゼミナールである。教員と学生の交流ならびに学生同士の交流の中で、学習や生活上の知識やスキルについて学ぶ。
本授業は対面授業と遠隔授業を併用して行う。

到達目標

- A 1102
- 1) 自分の興味の惹かれるテーマに関連する文献や資料を探することができる。
 - 2) 文献や資料を精読し、整理することができる。
 - 3) 指定された様式で予稿集原稿を作成することができる。
 - 4) わかりやすいスライドを作成することができる。
 - 5) スライドを使って発表することができる。
 - 6) 自分の発表に対する質問に、的確に答えることができる。
 - 7) 他者の発表を聞いて、質問することができる。

成績評価方法

予稿集原稿及びスライド作成40%
授業参加度（発言，質疑応答等） 10%
プレゼンテーション 50%
で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度		○	○	○	○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		50
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) テーマの選択1 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す（計90分）	（各教員）	図書館・データベースを使って、テーマを探す
2) テーマの選択2 【予復習】図書館やデータベースを使って、興味の惹かれるテーマを探す（計90分）	（各教員）	テーマの発表
3) 文献・資料の収集1 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）	（各教員）	図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
4) 文献・情報の収集2 【予習】テーマに関連する文献や資料を探す（60分） 【復習】収集した文献や資料を整理する（60分）	（各教員）	図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
5) 文献・資料の収集2 【予習】テーマに関連する文献、情報を探す（60分） 【復習】収集した文献、情報を整理する（60分）	（各教員）	図書館・データベースを使って、文献・資料を探す
6) 文献・資料の精査1 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）	（各教員）	資料の整理
7) 文献・資料の精査2 【予習】文献・資料の不足を補い、整理する（60分） 【復習】精査した文献や資料を整理する（60分）	（各教員）	資料の整理
8) 予稿集原稿（概要）の作成1 【予習】予稿集原稿のレイアウトを考案する（60分） 【復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（60分）	（各教員）	予稿集原稿の作成
9) 予稿集原稿（概要）の作成2 【予復習】予稿集原稿を推敲し、必要に応じて修正する（計120分）	（各教員）	予稿集原稿の作成
10) スライドの作成 【予習】予稿集原稿に基づき、スライドの構成を決める（60分） 【復習】作成したスライドを必要に応じて修正し、完成させる（60分）	（各教員）	スライド作成
11) 発表リハーサル1 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）	（各教員）	プレゼンテーションの練習
12) 発表リハーサル2 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表を振り返り、必要に応じて修正する（60分）	（各教員）	プレゼンテーションの練習
13) 発表会1 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）	（全教員）	プレゼンテーション
14) 発表会2 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）	（全教員）	プレゼンテーション
15) 発表会3 【予習】発表の練習をする（60分） 【復習】発表、質疑応答を振り返り、自分の課題を見つける（60分）	（全教員）	プレゼンテーション 振り返り
授業外学習		
各回の授業内容に応じて、文献・資料の検索、整理および精査する。そのうえで、予稿集原稿およびスライドを作成し、プレゼンテーションの練習を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 アカデミックスキルズ第3版－大学生のための知的技法入門－ 佐藤 望（編著）2020年、慶應義塾大学出版会 ※ 前期と同様		基礎ゼミナールⅠ 心理学実験Ⅰ・Ⅱ 卒業研究

課題に対するフィードバック
予稿集原稿及びスライドは添削し，コメントする。 プレゼンテーションについては，優れた点と改善点等を口頭で即時フィードバックする。
備考

科目名	情報処理演習（インターネット）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	伊藤 香	関連する資格	初級システムアドミニストレータ パソコンインストラクター資格	

授業概要

現在、多くの情報が電子情報として利用されており、現代社会を生きる我々にとって、インターネットを利用した基本的な情報収集や情報発信の知識を必ず習得しておかなければならない。本演習では、インターネットに関する基礎知識、電子メールのアカウント設定・操作方法、WWWを用いた情報検索・情報収集、簡単なWebページの作成方法などを中心に学習する。演習レポートをすることによって授業内容の理解を深めていく。

講師は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとにインターネットの利活用・Webサイト作成について授業を行う。

到達目標

A1103
インターネットを効果的に活用し、大学生活や学習、将来に必要な情報を効率的かつ安全に得ることができる。インターネット上の危険性について理解する。知的財産や個人情報の保護について理解する。

成績評価方法

期末定期試験、小テスト、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						25
小テスト、授業内レポート	○	○		○	○		10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		20
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	メールアドレスの設定、パソコン操作の基礎、アンケート。アンケートは授業の進行の参考にするためです。点数は成績に影響しませんが、受けていなければ、その後の授業で不利になることがあります。	対面・演習・小レポート（遠隔）
2)	インターネットの基本的な仕組みを学ぶ。復習では、パソコンに触れて扱いに慣れておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
3)	情報セキュリティ、ウィルスについて学ぶ。復習では、自分が普段使用しているパソコンのセキュリティ対策が十分であるのか確認しておきましょう。※個人のパソコンについての相談は応じられません。	対面・演習・小レポート（遠隔）
4)	インターネットにおける知的財産権、個人情報の取り扱いについて学ぶ。自分のインターネットの使い方が正しいかどうか、復習では振り返っておきましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
5)	インターネット上の犯罪について事例を通して学ぶ。自分や周りの人が犯罪に巻き込まれないために、正しい知識を身につける。復習では、自分の普段の行動を振り返り、安全を確認しましょう（10分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
6)	SNSを学習や仕事で活かす方法の他、マナーやリスクについても学ぶ。復習では、実際にSNSを使用したビジネスを探してみましょう（20分程度）。ただし、安全と信用が確認されないものに不用意に近づかないこと。	対面・演習・小レポート（遠隔）
7)	インターネットを学習に役立てる。学習に役立つインターネットのサイトを探す。安全で正しい情報を見分け、効果的な学びに活かす。復習では、実際に勉強にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
8)	心理学の学習に役立つインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を適切に管理、整理する。復習では、授業で得た情報を振り返っておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
9)	心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習では、他教科の課題や自習にインターネットを使ってみましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
10)	インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
11)	インターネットを心理学の学習に役立てる。心理学が学べるインターネットのサイトを探す。インターネット上で得た情報を効率的に整理し、レポートや論文の作成に役立てる。復習でも続きをやりましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
12)	インターネットで調べた心理学に役立つサイトについて、どのようなサイトが魅力的なのか、また学びやすいのか等、情報交換と意見交換をする。復習では、良いと思ったサイトを確認しておきましょう（15分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
13)	インターネットを心理学以外の教養の学習に役立てる。様々な分野が学べるインターネットのサイトを探す。そこで得た情報を効率的に整理する。復習でも、教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
14)	インターネットを心理学以外の教養のサイトについて、情報交換と意見交換をする。簡単な発表をする。復習でも、他の人が発表した教養となる情報に触れ、興味・関心を深めましょう（20分程度）。	対面・演習・小レポート（遠隔）
15)	まとめ	対面・演習・小レポート（遠隔）
授業外学習		
インターネット上の危険性について十分に理解した上で、積極的に活用し、自分の興味・関心を広げていくことが望ましい。知識を定着するためには、ネットサーフィンするだけでなく、そこで得た情報を整理して自分の言葉で置き換えたり、自分の考察を深める必要がある。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：使用しない（プリント配布） モラル：プリント配布 総務省、経済産業省等公的機関の提供するサイト その他、授業内で有用なサイトを紹介します		情報処理演習（文書作成） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL）

課題に対するフィードバック
小レポート（遠隔課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。 授業外にも相談や質問を受け付けています。
備考
この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、インターネットの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（文書作成）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	三島 瑞穂		関連する資格	

授業概要

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場が多様化し、ことはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やさまざまな文章の形式を学び、実践する。

社会人としても大学生としても、パソコンのワープロソフトを用いて文書を作成する能力は重要である。

スマートフォンでも文書を作成するアプリを利用できるが、他のソフトウェアから図やグラフ、写真などを貼り付けることはできず、様式が整わない、大量の文書を作成しづらいといった欠点がある。

大学生としては、レポートの作成、文書の作成、情報の保存といった利用例が挙げられる。まず、大学の授業で出されるレポートはMicrosoft Wordという文書作成ソフトウェアを用いることが多い。様式の整ったレポートを作ることができ、内容の編集や保存、印刷、送付等が容易である。授業の中にはメールでレポートを提出することが求められる場合があり、その場合もWordソフトを使用する必要がある。また、卒業論文は必ずWordソフトを使用する。

社会人としても公式の文書はWordソフトを使用することが多く、会社に勤める際には必須の能力である。

適切な様式で文書を作成する、適切に保存、管理をする、情報を効果的に統合するといった技術は、社会人になる前に習得すべきものである。一般企業はもちろん、心理職でも報告書の作成や論文作成に欠かせない。

ただし、大学入学前に既にこういった技術を習得している学生もいると思われる。そういった学生に対しては、文書作成の技術の習得状況に応じて、レベルの高い課題や資格取得を提案する。

授業は原則的に対面で行うが、必要に応じて遠隔による講義も取り入れる。

同時期に開講される情報処理演習（インターネット）と連動して講義を進める。

到達目標

ナンバリング(A1104)

Wordソフトウェアを利用した文書作成について、次の技術を習得する。

- ・ローマ字で日本語文章の入力が、60文字/1分 以上の速さでできる。
- ・漢字変換やフォント（文字の形）の選択が問題なくできる。
- ・分かりやすい文書を作ることができる。
- ・他の文書情報、写真、イラスト等の挿入ができる。
- ・表の作成ができる。
- ・レイアウトの変更や調整ができる。
- ・レポートや論文の様式を作ることができる。

成績評価方法

毎回の小レポート課題で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○			○	○		10
授業態度・授業参加度	○		○		○		30
プレゼンテーション	○			○	○		10
グループワーク	○		○		○		10
演習	○				○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション。Wordソフト、メモ帳ソフトを使ってみる。予習は自分のパソコンのスキルを試しておく。復習は、パソコンの基本操作、ローマ字入力等を15分～1時間程度、習熟度に応じて行う。	アンケート
2)	Wordソフトの基本的な操作、文字入力に慣れる。予習・復習は習熟度に応じてパソコンの基本操作、文字入力の練習をする。習熟前の場合は1時間程度、習熟後は15分程、慣れることを目指す。	演習・小レポート
3)	Wordソフトを用いて自分の考えを書く。予習・復習は習熟度に応じて、15分～30分程度、他教科の課題と兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
4)	基本的なレポートの様式を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じてパソコンの基本操作、文字入力の練習を行う。習熟前の場合は30分程度、他教科の課題と兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
5)	表の追加機能や図の挿入機能を使う。予習・復習は、習熟するまでは30分程度、他教科の課題と兼ねて行うとよい。	演習・小レポート
6)	フォントやレイアウトを工夫し、レポートの内容を洗練させ、目的や自分の考え、調べた内容を分かりやすく記述する。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、他教科の課題と兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
7)	インターネットの授業で調べた内容を適切に引用したレポートの書き方を学ぶ。予習・復習は習熟度に応じて10分程度行う。	演習・小レポート
8)	インターネットの授業で調べた内容を適切に引用したレポートの書き方を学ぶ。フォルダによるデータファイルの整理に慣れる。予習・復習は習熟度に応じて行う。	演習・小レポート
9)	より見やすい文書を作成するため、インターネットでテーマに関連する図やグラフ、写真を探す。その内容を適切に引用した上で、Wordファイルに貼り付ける。	演習・小レポート
10)	自分の考えや調べた内容を分かりやすく盛り込んだレポートを作成する。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、他教科の課題を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
11)	ビジネス文書の基本ルールを学ぶ。形式、書き方等に慣れる。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、他教科の課題を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
12)	自分の大学生活の中で、学習内容やサークル活動、ボランティア活動等について報告書を書く。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、課外活動を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
13)	大学生活でやってみたいことについて、企画書を書く。予習・復習は習熟度に応じて30分程度、課外活動を兼ねて行うと良い。	演習・小レポート
14)	スキルの確認を行い、苦手なところや分からないところを解消する。	演習・小レポート
15)	まとめ	小レポート
授業外学習		
ローマ字入力に慣れると効率的に文書が作成できるので、なるべく早く正確に入力できるようにしましょう。文書作成は他科目のレポートの作成や課外活動の企画、報告、就職後も色々と役立ちます。なるべく普段から使い慣れておきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：30時間でマスター Word2016 初心者向けのテキストです。既に習熟している人は、相談してください。 このテキストの他、教員が用意する演習課題に取り組みます。		情報処理演習（インターネット） 情報処理演習（プレゼンテーション） 情報処理演習（EXCEL） 心理学研究法 日本語の科学

課題に対するフィードバック
小レポートの内容が不十分な場合は、やり直しとなります。 授業外にも相談や質問を受け付けています。
備考
この授業を受講する学生は、入学前までの経験により、文字入力やソフトの活用方法に関する習熟度に大きな差があると思います。既に習得済みの内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報をインターネットで探すなどしてください。また、人に教えることは自分の能力の向上にとっても役に立ちますので、演習中は助言や相談をお互いにしましょう。

科目名	情報処理演習（表計算）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	伊藤 香	関連する資格		初級システムアドミニストレータ パソコンインストラクター資格

授業概要

大学の授業における基礎的なデータ集計作業のツールとして、パソコンの表計算ソフト（エクセル）を使用することが多い。この授業では、表計算ソフト（Microsoft Excel）の基本的なしくみと特徴（関数・計算・グラフ・データベース等）を紹介しながら、表計算ソフトExcelを用いたデータ処理に関する演習を行うことにより、情報の整理・加工方法などの基本的な操作方法を学ぶ。

講師は、ITコンサルタントとして小規模事業者のITリテラシー向上に寄与するほか、専門学校および社会人を対象にした講座での講師経験があり、それらをもとに表計算ソフトの利活用・データベースについて授業を行う。

到達目標

A1105

- 1) Excelを使用して、表を作成することができる。
- 2) Excelを使用して、計算を行うことができる。
- 3) Excel関数を使用して、データ操作を行うことができる。
- 4) Excelを使用して、作成した表からグラフを作成することができる。
- 5) Excelを使用して、データベースを作成することができる。

成績評価方法

期末定期試験、小テスト、授業への取り組み姿勢を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						25
小テスト、授業内レポート	○	○		○	○		10
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○		○		20
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】授業計画と方針について 【Excelの基礎知識】起動と終了、Excelの概要について学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
2)	【Excel入門】 データ入力と簡単な表の作成を行いつつ、Excelの基礎的な使い方を学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
3)	【Excel入門】 簡単な表を利用して、Excelの基礎的な構造と機能を学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
4)	【ワークシートの活用】① より見栄えのよい作表技術を学びながら、計算式の基礎を身につける。	対面・演習・小レポート（遠隔）
5)	【ワークシートの活用】② よく使う関数の中から、計算式の絶対参照など高度な計算式を組み立てる力を身につける。	対面・演習・小レポート（遠隔）
6)	【ワークシートの活用】③ よく使う関数を学びながら、条件式など高度な計算式を組み立てる力を身につける。	対面・演習・小レポート（遠隔）
7)	【グラフ】①－グラフの基礎－ 表のグラフ化で訴求力のある資料作りを学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
8)	【グラフ】②－グラフの応用－ 特殊なグラフ作成を学び、表をグラフ化する際に最適なグラフを選択する力を身につける。	対面・演習・小レポート（遠隔）
9)	【データベース】①－データベースの基礎－ Excelデータベース表の作成方法と注意点を学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
10)	【データベース】②－データベースの活用－ Excelデータベース表での並べ替え・検索・抽出・集計方法を学び、分析力を身につける。	対面・演習・小レポート（遠隔）
11)	【Excelの応用】①－高度な関数－ 順位付け関数や参照関数を学び、データベース表の形式とは異なる形式での分析技術を身につける。	対面・演習・小レポート（遠隔）
12)	【Excelの応用】②－高度な関数－ 文字列操作に関する関数など、データの形式に影響されない作表を学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
13)	【総合演習 1】-複合的な資料の作成- 他のファイルやシート、他のOfficeソフトなどと連携して、より効率的な資料作成を学び、Excelの特徴や他のソフトの特徴を整理する。	対面・演習・小レポート（遠隔）
14)	【総合演習 2】-複合的な資料の作成- 高度なExcelの活用方法を学ぶ。	対面・演習・小レポート（遠隔）
15)	【総合演習 3】-総合演習まとめ 今までの学習を振り返り、苦手部分を各々精査する。	対面・演習・小レポート（遠隔）
授業外学習		
Excelは社会に出てからも頻繁に使用するソフトです。この授業で覚えた事を授業外でも繰り返し練習しておきましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
30時間でマスター Excel2019（Windows10対応）【実教出版】※授業端末のExcelのバージョンに応じる。		情報処理演習（インターネット） 情報処理演習（文書作成） 情報処理演習（プレゼンテーション）

課題に対するフィードバック
小レポート（遠隔課題）の内容が不十分な場合は、やり直しとなります。 授業外にも相談や質問を受け付けています。
備考
この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。欠席しないようにしましょう。入学前までの経験により、既に習得済み内容の授業では、関連する内容の範囲で、より高度な情報を学んでください。また、助言や相談は習熟度が上がりますので、他者の学習の妨げにならない範囲で積極的に行いましょう。

科目名	情報処理演習（プレゼンテーション）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格		

授業概要

魅力的なプレゼンテーション資料を作成し、発表（プレゼンテーション）を行う能力は、学習の上でも仕事の上でも重要なスキルの一つです。本授業では、プレゼンテーションの理解を深めると共に、プレゼンテーション資料作成の主要なツールであるMicrosoft Power Pointの基本操作方法について学習します。実際にプレゼンテーション資料を作成しながら、プレゼンテーションのテクニックを学び、作成した資料に基づいて発表を行います。

授業は原則、対面で行いますが、一部遠隔授業を取り入れます。
相談や質問は対面とメール、両方で対応します。

到達目標

ナンバリング（A1106）

- 1) Power Pointを使用して、基本的なプレゼンテーション資料を作成することができる。
- 2) Power Pointを使用して、アニメーション操作を行うことができる。
- 3) プレゼンテーションのマナーを理解し、実行することができる。
- 4) Power Pointを使用して、プレゼンテーションを行うことができる。

成績評価方法

期末定期試験、プレゼンテーション、授業への取り組み姿勢を総合して評価します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○			60
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	【ガイダンス】、【資料の作成 1】-プレゼンテーションの基礎とマナー- 【予習】シラバスを読む、教科書を読む（15分） 【復習】操作の確認（20分）	対面
2)	【資料の作成 2】-スライド操作- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	対面
3)	【資料の作成 3】-アニメーション- 【予習】教科書を読む（10分） 【復習】操作の確認（20分）	対面
4)	【プレゼンテーション① 1】-プレゼンテーション資料の作成- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	対面
5)	【プレゼンテーション① 2】-プレゼンテーション資料の作成、発表練習- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（20分）	対面
6)	【プレゼンテーション① 3】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表練習、自己評価（20分）	対面
7)	【プレゼンテーション① 4】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	対面
8)	【プレゼンテーション② 1】-プレゼンテーション資料の作成- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	対面
9)	【プレゼンテーション② 2】-プレゼンテーション資料の作成、発表練習- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（20分）	対面
10)	【プレゼンテーション② 3】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表練習、自己評価（20分）	対面
11)	【プレゼンテーション② 4】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	対面
12)	【プレゼンテーション③ 1】-プレゼンテーション資料の作成- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】内容の検討（20分）	対面
13)	【プレゼンテーション③ 2】-プレゼンテーション資料の作成、発表練習- 【予習】内容の検討（10分） 【復習】発表練習（20分）	対面
14)	【プレゼンテーション③ 3】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】発表練習、自己評価（20分）	対面
15)	【プレゼンテーション③ 4】-プレゼンテーション- 【予習】発表練習（10分） 【復習】自己評価（20分）	対面
授業外学習		
社会に出れば、プレゼンテーションの機会は多々訪れることでしょう。この授業で覚えたPower Pointの操作を授業外でも繰り返し練習しておくと共に、どのように工夫すれば伝えたい情報がより相手に伝わるのかを、常に意識して生活しましょう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：30時間でマスター プレゼンテーション＋PowerPoint2016 その他、教員が用意した演習課題に取り組みます。		情報処理演習（インターネット）、情報処理演習（文書作成）、情報処理演習（表計算）

課題に対するフィードバック
プレゼンテーションの内容について、講評を行います。
備考
・この授業の内容は、今後のコンピュータを使用する授業の基礎となるものです。必ず毎回出席するようにしてください。 ・授業時間数の3分の1を超えて欠席した場合、追加課題等の救済措置を取りません。

科目名	日本語Ⅰ（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

対話や活動を通してコミュニケーション能力を高めていく。

文章表現ルールを整理していくことで、既習文法や文型を正確に使えるようにしていく。自分らしい言葉や表現を探りながら、まとまった文章が書けるようにしていく。課題に関して意見や考えを発表し、質疑にも的確な応答ができるようにしていく。

到達目標

A1107

- ・積極的なコミュニケーションができるようになる。
- ・既習文法や語彙が文章の中で正確に使え、適切な日本語表現ができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○		○			10
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション		○	○	○	○		10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、ブレースメントテスト	
2)	文型練習 自己紹介文作成・発表 【復習】資料再読・文型復習（30分）	発表
3)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
4)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法1課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
5)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
6)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法2課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
7)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
8)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
9)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法3課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
10)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	小テスト ペア/グループワーク
11)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法4課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	課題文発表 ペア/グループワーク
12)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課 【予習】テキスト一読（30分） 【復習】資料再読、練習問題（60分）	ペア/グループワーク
13)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文法5課、課題文作成 【予習】テキスト一読（30分）【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
14)	コミュニケーション活動 文章表現のルール文体、課題文作成 【復習】資料再読、課題文推敲（60分）	ペア/グループワーク
15)	発表、質疑応答、総括	プレゼンテーション
授業外学習		
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布		日本語Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ

課題に対するフィードバック
練習問題、短文作成等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。
備考

科目名	日本語Ⅱ（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

文法学習を中心に、実践的な練習問題に取り組む。類似表現や使い方を間違えやすい表現を整理することで、正確な日本語が使えるように練習していく。グループ討議や作文に取り組み、日本語運用能力を高めていく。

到達目標

A1108

- ・より豊かな日本語表現を身に付ける。
- ・文章表現ルールや語彙を的確に使いながら、自分の考えをまとめ、意見を述べたり、簡潔なスピーチができる。

成績評価方法

定期試験、小テスト、コミュニケーション活動への参加度、課題等

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○			20
宿題、授業外レポート			○				10
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション		○	○	○	○		10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
2) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
3) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法6～9課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
4) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法10課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		小テスト ディスカッション
5) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
6) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法13課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
7) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
8) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク プレゼンテーション
9) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法14課（発展：ストーリー作成） 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		小テスト ディスカッション
10) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
11) コミュニケーション活動 文章表現のルール文法15課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
12) コミュニケーション活動（スピーチの組み立て方） 文章表現のルール文法16課 【予習】テキスト読（30分）【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク
13) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成【復習】資料再読、練習問題（60分）		プレゼンテーション ディスカッション
14) コミュニケーション活動（1分間スピーチ） 文章表現のルール文法16課 【予習】スピーチ作成【復習】資料再読、練習問題（60分）		プレゼンテーション ディスカッション
15) コミュニケーション活動（3分間スピーチ） 総括 【予習】スピーチ作成		プレゼンテーション
授業外学習		
習得語彙がどんどん増えるように学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
『留学生のための文章表現のルール』（スリーエーネットワーク） 他、適宜資料や練習問題を配布	日本語Ⅰ、Ⅲ、Ⅳ	

課題に対するフィードバック
練習問題、スピーチ等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。
備考

科目名	日本語Ⅲ（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

論理的なレポートが書けるようにする。また、それを基にスピーチ、ディスカッションをする。
聞き手の印象や感情に配慮したコミュニケーション能力を身に付ける。日本語能力試験N 1 合格に照準を合わせ、語彙・文法をより強化していく。

到達目標

A2105
積極的に自分の考えを述べられる。
論説的なスピーチやレポートが書ける。
N 1 レベルの語彙や文法を習得する。

成績評価方法

定期試験、ディスカッションへの参加度、スピーチ等。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○	○			20
授業態度・授業参加度	○	○	○	○			30
プレゼンテーション		○	○	○	○		20
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 【復習】資料再読、練習問題（60分）		
2) 聴解・読解・ディスカッション N1 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
3) 聴解・読解・ディスカッション N1 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
4) 聴解・読解・ディスカッション N1 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
5) 聴解・読解・ディスカッション N1 文法文型強化・演習 【予習】テキスト一読 【復習】資料再読、練習問題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
6) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク
7) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
8) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動1に関する発表、ディスカッション 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		プレゼンテーション ディスカッション
9) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク
10) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
11) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動2に関する発表、ディスカッション 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		プレゼンテーション ディスカッション
12) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク
13) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
14) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する読解・考察 【予習】テキスト一読 【復習】課題（60分）		ペア/グループワーク ディスカッション
15) N1 文法文型強化・演習 テーマ活動3に関する発表、ディスカッション 総括 【予習】テキスト一読		プレゼンテーション ディスカッション
授業外学習		
N1レベルの語彙習得のために、学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的に学習を進めること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
新完全マスター文法N1 他、適宜資料や練習問題をを配布		日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅳ

課題に対するフィードバック
練習問題、発話文等は可能な限り、授業内でフィードバックする。課題文等は添削し、コメントを付け、翌週返す。
備考

科目名	日本語Ⅳ（留学生向け）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	小寺 紀美代	関連する資格		

授業概要

テーマに関する調査、考察、発表をする。母国語で書かれた新聞記事や随筆等を日本語に翻訳する練習をする。日本語能力試験N 1 合格に照準を合わせ、語彙・文法をより強化していく。

到達目標

A2106

テーマに沿って考察したことを発表できる。
母国語で書かれた新聞記事や随筆等を日本語に翻訳できる。
N 1 レベルの語彙や文法が使えるようになる。

成績評価方法

定期試験、レポート、プレゼンテーション等。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○		○	○			20
授業態度・授業参加度	○	○	○	○			20
プレゼンテーション		○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション コミュニケーション活動 N1 演習		ディスカッション
2) N1 演習 テーマ1に関する読解、考察 【復習】演習問題復習（30分）		ディスカッション
3) N1 演習 テーマ1に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（60分）【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）		ディスカッション
4) N1 演習 テーマ1に関するレポート作成 【予習】レポート下書き【復習】レポート文推敲・演習問題復習60分		
5) N1 演習 テーマ1に関する発表、ディスカッション 【予習】発表練習【復習】演習問題復習（30分）		プレゼンテーション ディスカッション
6) N1 演習 テーマ2に関する読解、考察 【復習】資料再読・演習問題復習（60分）		ディスカッション
7) N1 演習 テーマ2に関する読解、考察 【予習】テーマ調査（60分）【復習】テーマ考察・演習問題復習（60分）		ディスカッション
8) N1 演習 テーマ2に関するレポート作成 【予習】レポート下書き【復習】レポート文推敲・演習問題復習60分		
9) N1 演習 テーマ2に関する発表、ディスカッション 【予習】発表練習【復習】演習問題復習（30分）		プレゼンテーション ディスカッション
10) N1 演習 翻訳練習1 【予習】記事下読み【復習】演習問題復習・翻訳文推敲（60分）		
11) N1 演習 翻訳練習1発表 【予習】発表練習【復習】演習問題復習（30分）		プレゼンテーション ディスカッション
12) N1 演習 翻訳練習2 【予習】記事下読み【復習】演習問題復習・翻訳文推敲（60分）		
13) N1 演習 翻訳練習2発表 【予習】発表練習【復習】演習問題復習（30分）		プレゼンテーション ディスカッション
14) N1 演習 翻訳練習3 【予習】記事下読み【復習】演習問題復習・翻訳文推敲（60分）		
15) N1 演習 翻訳練習3発表 総括		プレゼンテーション ディスカッション
授業外学習		
N1レベルの語彙習得のため、学習計画を立て、きちんと覚えていくこと。 授業で使う教材以外にも練習問題集等で自主的にどんどん自習すること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
新完全マスター文法N1 他、適宜資料や練習問題を配布		日本語Ⅰ、日本語Ⅱ、日本語Ⅲ

課題に対するフィードバック
作成した文章を自ら推敲できるように適切な助言をしていく。
備考

科目名	英語Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。社会人として必要とされる程度の英語力を身につけるための基礎として、日常生活でよく使う単語を各授業で取り上げ、コミュニケーションへと繋げていく。また、必要に応じて文法の指導や英文のリーディング及びライティングの指導を行う。

到達目標

A1109

- 1 英語の基本的文法事項を理解することが出来る。
- 2 英語で基本的なコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート1の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 前期期間中に英語で口頭発表をしてもらう。
2)	リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	発表とディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
Score Booster for the TOEIC L&R Test Biginner 早川幸治・岸洋一著 金星堂		英語Ⅱ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	英語Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を速読するための知識・技術の向上を図る。一定の量の英文の内容に関してポイントを解説した後、出来るだけ早くパラグラフ・リーディングを行ってゆく。毎回演習問題を宿題として課す。訳読も行うが、様々な種類の英語の文章を出来るだけ効率的に読むための訓練を行うことをあくまでもこの科目の主眼とする。

到達目標

A1110

- 1 英語の文法事項を深く理解することが出来る。
- 2 英語で社会人としてのコミュニケーションを図ることが出来る。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポートで評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	英語の4技能についての説明、異文化理解と英語を学ぶことの意味 マークシートでTOEICパート2の小テストを行う。 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share 後期期間中にレポートを提出してもらう。
2)	リスニング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	写真を用いた問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	応答文選択問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	会話文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと	think-pair-share
6)	説明文問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	リーディング問題 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	穴埋め問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	間違い指摘問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	一般読解問題の解き方 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	総合演習 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	英語運用能力向上のための方法論 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	まとめディスカッション テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	総括 テキストの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
Score Booster for the TOEIC L&R Test Intermediate 番場直之・小山克明 著 金星堂 別途、各自でTOEICの問題集を購入してもらいたい。		英語 I

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学ビジネス英語Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。リスニングとライティングを中心に、ビジネスの世界で必要とされる英語の運用力を養成する。リスニングでは、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な会話を聞いて、ビジネス英語特有の表現や語彙を身につけ、ライティングでは、ビジネスレター・電子メール等で用いられる文体や形式などの基礎知識を養う。また、授業で学習したことに基づき、会話練習も行う予定。

到達目標

ナンバリング(A2101)

1英文センテンスを正確にリピートすることができる。 2?ビジネス英語のライティングの技術を身につける。 3?英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。?

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) Unit 1 Small Talk（日常生活）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
2) トピック別作文1 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
3) Unit 2 Human Relations（人間関係・コミュニケーション）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
4) トピック別作文2 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
5) Unit 3 Culture and Globalization（言葉・文化）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
6) トピック別作文3 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
7) Unit 4 Healthy Life（健康・医療）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
8) トピック別作文4 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
9) Unit 5 Future Careers（職業・キャリア）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
10) トピック別作文5 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
11) Unit 6 That Shirt Suits You!（ファッション）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
12) トピック別作文6 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
13) Unit 7 Taking a Trip（旅行・観光）の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
14) トピック別作文7 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
15) ビジネス英語のまとめ テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。課題英作文は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
(1) Point By Point トピック別エッセイの書き方 石谷由美子著 南雲堂 (2) Target! pre-intermediate 総合英語のターゲット演習 Akira Morita [ほか] 著 金星堂		心理学ビジネス英語Ⅱ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学ビジネス英語Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。心理学ビジネス英語Ⅰに引き続き、リスニングとライティングを中心に、ビジネスの世界で必要とされる英語の運用力を養成する。リスニングでは、さまざまなビジネスシーンや話題を取り扱った実用的な会話を聞いて、ビジネス英語特有の表現や語彙を身につけ、ライティングでは、ビジネスレター・電子メール等で用いられる文体や形式などの基礎知識を養う。また、授業で学習したことに基づき、会話練習も行う予定。

到達目標

ナンバリング(A2102)

1英文センテンスを正確にリピートすることができる。 2?ビジネス英語のライティングの技術を身につける。 3?英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) Unit 8 Do You Like Sports? (スポーツ) の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
2) トピック別作文8 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
3) Unit 9 Let's Do Something Fun! (レジャー・エンタメ) の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
4) トピック別作文9 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
5) Unit 10 Art Appreciation (アート) を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
6) トピック別作文10 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
7) Unit 11 Let's Eat Out! (食) の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
8) トピック別作文11 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
9) Unit 12 A Career in International Business (ビジネス) の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
10) トピック別作文12 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
11) Unit 13 Science for the Future (サイエンス) の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
12) トピック別作文13 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
13) Unit 14 Technology and Modern Life (産業・テクノロジー) の記事を読む テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
14) トピック別作文14 テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
15) ビジネス英語のまとめ テキストの内容を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。		think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。課題英作文は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
(1) Point By Point トピック別エッセイの書き方 石谷由美子著 南雲堂 (2) Target! pre-intermediate 総合英語のターゲット演習 Akira Morita [ほか] 著 金星堂		心理学ビジネス英語Ⅰ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学英語文献演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。英文を正確に和訳するための知識・技術の向上を図る。一定の量の英文の内容に関してポイントを解説した後、重要な構文を含む文章を中心に訳出してゆく。毎回演習問題を宿題として課す。英文雑誌や大学院入試における過去の英語の問題を主な教材としながら、アカデミックな英語にできるだけ慣れるように多くの文章を読みこなしてゆく。

到達目標

ナンバリング(A2103)

1英文を正確に和訳することができる。 2?基本的な英文読解の技術を身につける。 3?英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。?

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション：英語論文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2)	心理系の英語の特徴について 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	心理系の英文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	単語レベルの精読の仕方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	センテンスレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	パラグラフレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	大学院入試問題演習 1 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	大学院入試問題演習 2 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	大学院入試問題演習 3 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	大学院入試問題演習 4 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	大学院入試問題演習 5 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	大学院入試問題演習 6 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	大学院入試問題演習 7 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	英語論文リーディング指導の仕上げ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	英語論文リーディング指導のまとめ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回プリント類を配布する 参考書：宇部フロンティア大学大学院等の過去の問題		心理学英語文献演習Ⅱ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	心理学英語文献演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	内海 俊祐	関連する資格		

授業概要

対面で授業を行う。心理学英語文献演習Ⅰに引き続き、英文を正確に和訳するための知識・技術の向上を図る。一定の量の英文の内容に関してポイントを解説した後、重要な構文を含む文章を中心に訳出してゆく。毎回演習問題を宿題として課す。英文雑誌や大学院入試における過去の英語の問題を主な教材としながら、アカデミックな英語にできるだけ慣れるように多くの文章を読みこなしてゆく。

到達目標

ナンバリング(A2104)

1英文を正確に和訳することができる。 2?基本的な英文読解の技術を身につける。 3?英語の学習に積極的に取り組み、継続的な学習習慣を身につける。?

成績評価方法

定期試験（中間・期末）、レポート、授業態度、発表で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	心理学英語文献演習Ⅰで学習したことの振り返り 英語論文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
2)	心理系の英語の特徴について 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
3)	心理系の英文の読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
4)	単語レベルの精読の仕方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
5)	センテンスレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
6)	パラグラフレベルの読み方 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
7)	大学院入試問題演習 1 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
8)	大学院入試問題演習 2 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
9)	大学院入試問題演習 3 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
10)	大学院入試問題演習 4 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
11)	大学院入試問題演習 5 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
12)	大学院入試問題演習 6 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
13)	大学院入試問題演習 7 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
14)	英語論文リーディング指導の仕上げ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
15)	英語論文リーディング指導のまとめ 与えられたプリントの問題を60分程度で予習・30分程度で復習を行うこと。	think-pair-share
授業外学習		
予習は必ず行うこと。英文の読みや訳は適時評価する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回プリント類を配布する 参考書：宇部フロンティア大学大学院等の過去の問題		心理学英語文献演習Ⅰ

課題に対するフィードバック
課題は点数化し成績評価に組み込み、その点数は必要に応じて学生に個別に開示する。課題は分析後、その良い点と改善点を総評する。
備考
未知の表現に出会ったら辞書で調べるように習慣づけること。電子辞書はもちろんスマートフォンの辞書機能や辞書のサイトを使用することもこの授業では可。

科目名	社会学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	瀬崎 譲廣	関連する資格		

授業概要

「人は一人では生きていけない」――このテーマは、文学作品や音楽などあらゆる表現媒体において古くから扱われてきたが、それは人文科学・社会科学と分類される諸学問の究極のテーマでもある。社会学という学問は、社会的な生物である人間の「社会的な」という部分にフォーカスを合わせ、人間（たち）を観察し、分析し、人間社会における法則性を発見しようという学問と言える。この授業では、社会学という学問が生まれるにいたった背景から話をはじめ、学生皆さんの多くが共通に経験した、またこれから経験するであろう社会について概説する。また、現代社会の問題について、社会学の観点からの指摘を紹介する。これによって、「社会学的なものの見方」を理解することを授業の目的としたい。

到達目標

A1301

- ①社会学についての基本的な知識や、考え方の特徴を理解する
- ②社会学の観点から、現代社会が抱える諸課題について理解する

成績評価方法

講義中に課す宿題や小レポート等、および定期試験によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			70
小テスト、授業内レポート	○	○		○			30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーリング 社会学の特徴		グループワーク
2) 社会の近代化と社会学の成立① 復習：小レポート（10分程度）		
3) 社会の近代化と社会学の成立② 復習：小レポート（10分程度）		
4) 社会学の基本の3つのアプローチ① 復習：小レポート（10分程度）		
5) 社会学の基本の3つのアプローチ② 復習：小レポート（10分程度）		
6) 社会学の基本の3つのアプローチ③ 復習：小レポート（10分程度）		
7) 社会学の調査方法 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
8) 社会化の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
9) 学校の社会学 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
10) 産業社会と組織の社会学 復習：小レポート（10分程度）		
11) 家族の変容の社会学① 復習：小レポート（10分程度）		
12) 家族の変容の社会学② 復習：小レポート（10分程度）		
13) 地域社会の変化① 復習：小レポート（10分程度）		
14) 地域社会の変化② 復習：小レポート（10分程度）		グループワーク
15) 授業全体のまとめ		
授業外学習		
特に課しませんが、授業に関連することで興味を持ったことや分からないことなど、自分で積極的に調べることを期待します。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
授業中に配布する資料を用いて授業を進める。 教科書は指定しない。 参考書は授業中に適宜紹介する。		

課題に対するフィードバック
小レポートには次回コメントを付けて返却。または、提出された小レポートをふまえた授業を行う。
備考
授業のなかで、資料等の読解に関連して質問を適宜行います。積極的な参加、発言を期待します。

科目名	法学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二	関連する資格		

授業概要

社会・経済生活や相談援助活動における法の役割・機能を念頭に、憲法・民法・刑法・行政法などの基礎知識について概説する。
 法を初めて学ぶ者のために、法の主要領域（憲法・民法・刑法・行政法など）から実例を挙げながら、法の基本的な原理・原則および構造ならびに、各法領域の学習の主要な部分を占める法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を概説する。

到達目標

A1302

- 法の主要な領域の基礎知識を理解し、説明することができる。
- 法の基本的な原理・原則および構造ならびに法解釈学に必要な基礎技術・技法および基礎知識を理解し、説明することができる。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					67
小テスト、授業内レポート	○	○					28
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	法学の学習方法および六法の使い方を説明する。法令の構成等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	『ポケット六法』の凡例を読んで、六法を実際に試してみる。
2)	近代市民社会の法の原理および構造ならびに近代憲法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
3)	犯罪と法(1) 刑の種類・内容、刑の適用および刑の執行等について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
4)	犯罪と法(2) 犯罪の成立要件について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
5)	犯罪と法(3) 罪刑法定主義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
6)	犯罪と法(4) 刑事手続の概要について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
7)	物の人への帰属に関する法(1) 法律行為について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
8)	物の人への帰属に関する法(2) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
9)	物の人への帰属に関する法(3) 契約自由の原則とその限界について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
10)	物の人への帰属に関する法(4) 時効制度および除斥期間について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
11)	人に関する法と物に関する法について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
12)	司法制度 裁判制度および裁判外紛争解決制度（ADR）について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
13)	制定法の種類 各種制定法の意義について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
14)	制定法の効力 種制定法間の効力関係および制定法の適用範囲について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
15)	制定法の解釈 制定法の解釈方法論および解釈技術について概説する。 【予習】事前に配布している資料を読解する（45分）。 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（45分）。	小テスト
授業外学習		
授業ではテキストを使用しません。事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『ポケット六法令和4年版』（有斐閣、2021年）。 テキストは用いないが、六法は学習に必要。受講にあたっては、『ポケット六法令和4年版』（有斐閣、2021年）を持参すること。第1回目の授業から使用します。		

課題に対するフィードバック
小テストについて実施当日または次回の授業で解説する。
備考

科目名	経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	西山 慶司	関連する資格		

授業概要

本授業は、テレビ・新聞・インターネットなどのメディアで報道される社会の事象から、広い意味での「経済」（政府、民間など）が私たちの生活に与える影響について学びます。また、本授業は公共部門で勤務経験がある教員が、「経済」の基本的な知識や実際の課題について講義します
 なお、本授業は原則Google Classroomを活用した遠隔授業で実施しますが、対面授業も一部実施予定ですので、積極的な参加を期待します

到達目標

A1303

- ①「経済」に関する基本的な特徴・考え方を習得し、社会の現状や課題について理解を深めることができる
- ②「経済」に関するDVDを視聴し、その内容についての課題レポートを作成することができる
- ③自らが積極的に社会の動向について関心をもつことができる（時事に強くなる、ニュースの深層がわかる）

成績評価方法

授業への貢献度、課題・期末レポートの内容などから、総合的に評価します

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				30
宿題、授業外レポート	○			○			30
授業態度・授業参加度			○		○		40
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、講義ガイダンス 【予習】授業計画で示されている用語の意味などについて調べ、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
2)	サンクコスト 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
3)	機会費用 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
4)	比較優位 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
5)	インセンティブ 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
6)	モラルハザード 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
7)	逆選択 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
8)	講義前半の振り返り 【予習】わからなかった用語の意味などについて確認し、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
9)	価格差別 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
10)	裁定 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
11)	囚人のジレンマ 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
12)	共有地の悲劇 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
13)	割引現在価値 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
14)	ネットワーク外部性 【復習】課題レポートなどでわからなかったことを振り返り、また日本経済新聞を読み「経済」の動向を確認する（60分）	内容についての課題レポートを作成
15)	講義全体のまとめ 【予習】持ち帰り試験方式のレポートを作成する（120分）	講義内容に関する双方向的なディスカッション
授業外学習		
授業中の課題レポート提出と、持ち帰り試験方式の期末レポート提出を予定しています。また、必要に応じて、授業外の課題レポート提出を実施します。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
吉本佳生監修、NHK出版社が楽しい経済学DVDブック、日経BP社、2009年。その他、必要なものは授業内で適宜指示します		

課題に対するフィードバック
授業中の課題レポートの解答例は、次回授業時に提示します
備考
本授業は原則、隔週で2コマ開講予定ですが、進行とテーマは弾力的に運用する場合があります。なお、遠隔授業については、録画・録音・撮影を行わないなどの配慮をお願いします

科目名	経営学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	海野 博	関連する資格		

授業概要

この講義では、心理学部の学生が、経営学の基本的な知識を学ぶことによって、ものごとの経営学的な見方、とらえ方、考え方を身につけることを主眼としている。そのために、身の回りにあるたくさんの教材を紹介することからはじめ、会社・企業・経営の概念、経営理念と経営者の役割、株式会社や持分会社の特徴、会社法、経営管理、経営戦略、さらに昨今重要性を増している企業の社会的な責任と企業倫理、及びコーポレート・ガバナンスにいたるまで、それらを分かりやすく教授する。とくに、新聞や雑誌の経営関係記事、企業のホームページ等を積極的に利用し具体的で分かりやすい授業を心がける。

到達目標

ナンバリング(A2301)
入学前に経営的知識がなかった学生であっても、物事に対する経営学的な見方、とらえ方、考え方を十分に身につけ、他者に説明することができる。

成績評価方法

定期試験及び授業内小テスト、復習課題の提出にもとづき、総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				25
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 経営学を学ぶ(イントロダクション) 【予習】『やさしく学べる経営学』第1章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		グーグルクラスルームを併用し、復習課題についてグーグルクラスルームで提出する。
2) 日常生活から経営学を学ぶ 【予習】『やさしく学べる経営学』第1章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
3) 会社・企業とは何か 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
4) 会社の種類と特徴 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
5) 株式会社とその特徴 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。 小テストの実施。
6) 起業と株式会社の設立 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
7) 所有と経営の分離 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
8) 経営者と経営理念 【予習】『やさしく学べる経営学』第1、2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
9) 経営者とその役割 【予習】『やさしく学べる経営学』第1、2章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
10) 生産と生産管理 【予習】『やさしく学べる経営学』第6章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。 小テストの実施。
11) 流通と流通管理 【予習】『やさしく学べる経営学』第7章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
12) マーケティングのしくみとマーケティング戦略 【予習】『やさしく学べる経営学』第8章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
13) 企業の存在価値とその社会的責任 【予習】『やさしく学べる経営学』第10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
14) 企業の不祥事と企業倫理 【予習】『やさしく学べる経営学』第10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
15) コーポレート・ガバナンス 【予習】『やさしく学べる経営学』第1、2、3、10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）		復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
授業外学習		
講義で学ぶことの予習と復習。テキストの該当章をしっかりと読むこと。 加えて、復習課題の作成。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト： 海野博他著『やさしく学べる経営学（第2版）』（創成社） 参考書： 大坪和敏監修『図解会社法 令和2年版』（大蔵財務協会） 日本経済新聞社編『一目でわかる会社のしくみ』（日本経済新聞社）		ビジネス心理学概論、経営組織論、産業・組織心理学

課題に対するフィードバック
小テストと定期試験は原則返却する。作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。第15回の復習課題については授業時間内に解説する。
備考
原則、対面授業で実施するが、新型コロナの感染状況次第で、遠隔授業を実施することもある。その場合にも、グーグルミー トを用い、正味90分の授業を行う。「事前配付資料」がある場合には、グーグルクラスルームにて配布（添付）する。

科目名	地域文化論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	内田 鉄平	関連する資格		

授業概要

総論では「文化とは何か」について述べた上で、比較文化論的な視点から日本文化の大づかみな特徴を述べる。
各論では、山口県及び宇部市の文化をはじめとする日本の文化のさまざまな側面を取りあげて、文化との関連で日本社会の構造的な特性を理解してもらうようにする。

到達目標

A1304
日本独自の文化について理解する。山口県及び宇部市の地域文化について理解する。

成績評価方法

期末試験と講義の参加意欲で評価する

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○						70
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	地域文化論（宇部市を中心に）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
2)	食文化 - 和食の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
3)	出帆文化の隆盛 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
4)	道具と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
5)	居住空間-竪穴住居から文化住宅まで 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
6)	文化を伝える-山口県の方言 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
7)	祭礼と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
8)	北浦の捕鯨と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
9)	芸能文化と山口県 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
10)	地域産業と文化の伝播 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
11)	宇部市の発展と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
12)	彫刻のまち宇部の誕生 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
13)	宇部市の文化財 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
14)	宇部村から宇部市へ-石炭産業と地域文化 予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	出席カードに質問・感想を記入してもらい次回の講義冒頭で対応する。
15)	総論（講義全体を通して学生の理解度を考慮して適宜に補足説明を行う）予習20分（講義内で次回の内容の参考文献を適宜紹介するので確認する）復習20分（板書した内容と配布したプリントを確認する）	講義全体の総括として質問を受ける。
授業外学習		
講義で適宜に参考文献を紹介しますので、余暇の時間に余裕があれば読んでもらう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
毎回プリントを配布します。		

課題に対するフィードバック
希望者がいれば、期末試験の成績を開示します。
備考

科目名	ジェンダー・人権論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藪本 知二		関連する資格	

授業概要

判例の展開に留意しながら、日本国憲法の基本原理ならびに基本的人権（包括的基本権、平等権、自由権、参政権、社会権）について修得する。
また、子どもの権利やジェンダーに関する諸問題についても考える。

到達目標

A1305

- 立憲主義の意義を理解する。
- 主要な人権の内容を理解する。
- 統治機構の概要を理解する。
- 子どもの権利およびジェンダーの観点から人権および統治機構を理解する。

成績評価方法

期末定期試験（筆記試験）、小テストおよび授業態度・参加度について、下記の評価割合に従って評点を付ける。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					65
小テスト、授業内レポート	○	○					30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 憲法と国家＜国家の三要素＞ 【予習】国家の3要素とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
2) 立憲主義の意義①＜憲法とは何か＞ 【予習】憲法という言葉を手掛かりにして憲法の意味を考える（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
3) 立憲主義の意義②＜人権の種類と内容＞ 【予習】人権の種類とその内容について調べておく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
4) 人権の享有主体 【予習】テキストTheme1、2および14を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
5) 幸福追求権 【予習】テキストTheme3および4を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
6) 法の下での平等① 【予習】テキストTheme5を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
7) 法の下での平等② 【予習】テキストTheme6を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
8) 精神的自由権① 【予習】テキストTheme7を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
9) 精神的自由権② 【予習】テキストTheme8および9を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
10) 経済的自由と社会権 【予習】テキストTheme10および11を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
11) 人身の自由 【予習】テキストTheme13を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
12) 裁判制度① 【予習】テキストTheme19を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
13) 裁判制度② 【予習】テキストTheme19（特に裁判員裁判）を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
14) 参政権と国会・内閣 【予習】テキストTheme16、17および18を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
15) 憲法保障＜違憲審査制＞ 【予習】テキストTheme20を事前に読んでおく（30分） 【復習】本日の授業内容をノートにまとめる（60分）		小テスト
授業外学習		
授業ではテキストを使用します。また、事前に配布する資料を読んで、予習および復習をしてください。図書館を活用して、予習および復習をするとともに、自分のノートを作成してください。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキスト：初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行『いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕』（有斐閣、2020年）。その他参考となる文献は、適宜授業中に紹介します。		

課題に対するフィードバック
小テストの解答は、実施当日または次回の授業において解説します。
備考

科目名	時事問題講読Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	前期
担当者名	松本 治彦		関連する資格	

授業概要

ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」を高めるための演習です。最初の1、2回はビジネスの各分野（例えば、エネルギー、車、宇宙、農業、AIなど）の現状と将来性について概要を説明する。3回目より時事問題で各自が興味をもったテーマを選んでエビデンスに基づいてプレゼンテーション（そのテーマの現状と将来性）を行い、議論を通じて認識を深める。なお、エビデンスについては、新聞やネットの情報を使って、参考となる統計値などを用いて、作成する。加えて、各分野の将来性については心理面からのアプローチについても言及する。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A3301

時事問題につて、自分の考えを主張できるようにする。また、刻々と変化
する時事問題についての知識を常にアップデートできるように実力をつける。

成績評価方法

各回のプレゼンテーションへの参加、質問などの積極的な取り組みを重点的に評価する。また、資料の作成について評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらための基本的な話をします。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定（2）言葉の意味の確定（3）前提の検討（4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。		時事問題講読Ⅱ

課題に対するフィードバック
毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。
備考

科目名	時事問題講読Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

ディプロマポリシーのうち、「知識の応用力と判断力」を高めるための演習です。最初の1、2回はビジネスの各分野（例えば、エネルギー、車、宇宙、農業、AIなど）の現状と将来性について概要を説明する。3回目より時事問題で各自が興味をもったテーマを選んでエビデンスに基づいてプレゼンテーション（そのテーマの現状と将来性）を行い、議論を通じて認識を深める。なお、エビデンスについては、新聞やネットの情報を使って、参考となる統計値などを用いて、作成する。加えて、各分野の将来性については心理面からのアプローチについても言及する。なお、「時事問題講読Ⅰ」よりもレベルアップした内容で議論を深める。

授業の評価は、エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。

到達目標

A3302

新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

エビデンスの作成、プレゼンテーション能力、議論への積極的な参加について評価する。。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク			○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	科学技術と社会とのかかわりについて考えていくための考え方の枠組み、スキル、背景知識などを身に付けてもらうための基本的な話をします。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	科学技術についてよく考えるための手助けとして、クリティカルシンキングと科学技術社会論をミックスしたものを話す。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	議論の吟味の大まかな流れとして（1）議論の特定（2）言葉の意味の確定（3）前提の検討（4）推論の検討について説明する。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	予防原則、思いやりの原理、EBM（根拠に基づく医療）、統計リテラシー、シミュレーションの信頼性などについて説明する。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	ウイルスについての立ち位置について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	エネルギー；化石燃料、再生可能エネルギー、原子力、人工光合成などについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	地球温暖化について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	自然災害について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	宇宙産業について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	AI・ロボットについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	量子論、量子コンピューターなどについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	食糧について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	医療について説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	メタバースについて説明する。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	全体の総まとめをする。その後に意見を求める。予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。		時事問題講読Ⅰ

課題に対するフィードバック
毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。
備考

科目名	生物学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	祐村 稔子	関連する資格		

授業概要

生物学は急速な進展を続けており、その成果として遺伝子組換え作物や新薬の創出、遺伝子診断、着床前診断にみられるように、従来に増して格段に我々の生活に大きな影響を与えるようになってきている。本講義では、高校までの生物をベースに、生体の持つ機能や遺伝の仕組み、生命を維持する機構、生物の多様性、進化等について学ぶ。

到達目標

A1306

1. 生命のなりたちを分子のレベルで理解する。
2. 人体のなりたちと統合のしくみを理解する。
3. 生命をめぐる現代の課題について正しく理解し、各自の考えを明確に表現する。

成績評価方法

ミニ・レポートおよび最終試験結果をあわせて総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			40
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 生命、その起源と進化の道のり 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
2) 生命の最小単位「細胞」：細胞の構造と細胞小器官 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
3) 生命を演ずる分子たち 1：生体内で働く分子いろいろ 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
4) 生命を演ずる分子たち 2：脂質と生体膜 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
5) 生命を演ずる分子たち 3：アミノ酸とタンパク質 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
6) 生命を演ずる分子たち 3：タンパク質は働き者 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
7) 生命を演ずる分子たち 4：生命の設計図：ヌクレオチドと核酸 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
8) 生命を演ずる分子たち 4：遺伝子の発現 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
9) 病気との闘い：DNAの傷害と修復 がんの生物学 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
10) 遺伝子組換え技術とその応用、ヒトの遺伝と遺伝病 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
11) 生命は動く、細胞は動く：細胞骨格と細胞運動 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
12) 多細胞体内における情報伝達機構 1：ホルモンの働きと恒常性 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
13) 多細胞体内における情報伝達機構 2：神経系の働きと脳 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
14) 免疫のしくみ 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
15) 生命活動とエネルギー：太陽・光合成・細胞エネルギー・化石燃料 【復習】プリントとテキスト 見直し（15分）		小レポート
授業外学習		
毎回、授業に関連した参考資料を配布します。これを読んだの考察や感想、あるいは指定したテーマに関しての小レポート作成をホームワークとします。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：伊藤明夫著「いのちの科学」（培風館）		

課題に対するフィードバック
小レポートへのコメント集を配布
備考

科目名		健康科学（食と健康）					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
講義	選択	2		1年	前期		
担当者名	上田 真寿美、田坂 克子		関連する資格				
授業概要							
本授業は対面授業とする。 本講義では、健康の定義を明らかにし、生涯を通して健康なライフスタイルを確立するための方法を考えさせる。本講義では、食および運動と生活習慣病との関連を中心に取り上げる。食と健康の関係を、栄養学および食品学の観点から考察して食生活の重要性を理解させる。また、健康の維持・増進における運動の重要性を運動生理学の観点から概説し、運動と栄養との係わりおよび有効な運動の実践方法を理解させる。							
(上田 真寿美/8回) 現代生活における健康と運動の重要性について概説し、各ライフステージにおける健康維持のための運動やスポーツに触れる。							
(田坂 克子/7回) 健康づくりと食生活について概説し、生活習慣病予防に重要な食生活改善の取り組みや食の安全性について触れる。							
到達目標			成績評価方法				
A1307 具体的に以下の観点から到達目標を設定している。 【知識・理解の観点】 1.現代社会における健康問題について説明できる。 2.現代生活における健康と栄養・運動の意味について説明できる。 3.生活習慣病の予防や医療費の増大への栄養・運動の寄与について説明できる。 4.栄養・運動と心身の関連について説明できる。 5.健康な生活を送るための具体的な栄養・運動の実践方法について説明できる。 【思考・判断の観点】 1.授業で取り上げた各領域について、自分の意見を論理的に述べることができる。 【関心・意欲・態度の観点】 1.健康、栄養・運動への関心を広げ、問題意識を高めて、自らその解決方法を探ろうとすることができる。 2.日常生活の中で健康問題や栄養・運動について主体的に考えることができる。 【技能・表現の観点】 1.現在および将来にわたり、健康保持増進のための方策を立て実践することができる。			授業態度、レポート及び試験等により総合的に評価する。 具体的には以下とする。 1.授業内で発表、レポートを数回行う。 2.関心のある健康問題に関するレポートを宿題として課す。 3.最終試験を実施する。				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション、我々を取り巻く健康問題（担当：上田真寿美） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
2) 現代生活における健康と運動Ⅰ－これからの健康づくりと運動（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
3) 現代生活における健康と運動Ⅱ－疾病予防のための運動とは（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
4) 現代生活における健康と運動Ⅲ－運動不足と健康障害（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		グループワーク
5) 運動と身体の健康Ⅰ－①ヒトの発育・発達②ヒトにおける形態や機能の変化（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
6) 運動と身体の健康Ⅱ－乳児～青少年の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
7) 運動と身体の健康Ⅲ－成人～高齢者の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
8) 運動と身体の健康Ⅳ－女性の健康と運動・スポーツ（担当：上田真寿美） 中間総括（特に運動と健康領域） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		小テスト
9) 健康づくりと食生活（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
10) 食生活の変遷と栄養の問題点（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
11) 生活習慣病の予防(1)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
12) 生活習慣病の予防(2)（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		グループワーク
13) 食生活改善への施策（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
14) 食の安全性と表示（担当：田坂克子） 【予習】次回時に使用する配布資料について読んでおく（30分） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		小テスト
15) 総括（担当：田坂克子） 【復習】本時で学習した内容について資料の書き込みを見ながらまとめる（60分）		
授業外学習		
当該授業の前週に、次週の授業の資料配布と参考文献を提示する。それについて予習を行い授業に参加すること。 授業内容について毎回まとめておく。それらを参考に課題レポート（授業内・宿題）を作成し提出する。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキストは使用せず、適宜、書き込み式資料を毎回配布する。		

課題に対するフィードバック
提出された課題レポートについては翌週コメントを付けて返す。
備考

科目名	人体の構造と機能及び疾病			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	福田 信二	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

人間を理解するために人体の構造や機能および器官の生理機能を習得する。さらにさまざまな疾病について概観したうえで、健康の維持・増進のための、保健・医療・福祉の連携および医事法制に関する必要性と重要性について習得する。具体的には授業計画に記載しているが、生活習慣病をはじめとする内科疾患、骨折をはじめとする整形外科疾患、うつ病などの精神疾患、脳血管障害などの神経疾患、がん、感染症、更に難病疾患について習得する。さらに、周産期医療、小児の成長発達とそれに伴う疾患、加齢に伴う疾患について習得する。心理学は生物学と離れて存在するものではなく、本講義が生物学的、医学的に、人について深い理解をもたらす一助になることを願っている。

到達目標

A1308a

健康・疾病について理解し、がん、難病障害者を理解し、心理的支援について理解する。

成績評価方法

試験などによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○			○		100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	心理職に求められる人体の理解と医学知識 人体の構造と機能 【予習】テキスト序章と1章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	人体の構造：血管系、骨格系、筋肉系、細胞の構造を図示する
2)	心に関わる統合器系 【予習】テキスト2章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
3)	小児の成長発達と疾患 【予習】テキスト3章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
4)	加齢と疾患 【予習】テキスト4章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
5)	内科疾患の理解 【予習】テキスト5章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
6)	整形外科疾患の理解 【予習】テキスト6章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
7)	精神疾患の理解 【予習】テキスト7章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
8)	神経疾患の理解 【予習】テキスト8章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
9)	難病の理解 【予習】テキスト9章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
10)	がんの理解 【予習】テキスト10章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
11)	周産期医療の理解 【予習】テキスト11章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
12)	感染症の理解と対策 【予習】テキスト12章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
13)	リハビリテーションの理解 【予習】テキスト13章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
14)	ICFの理解 【予習】テキスト14章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
15)	健康と健康増進の理解 【予習】テキスト14章をよく読んでおく（30分） 【復習】講義内容をまとめる（60分）	
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
医歯薬出版株式会社 公認心理師カリキュラム準拠 人体の構造と機能及び疾病 武田勝彦、岩田 淳、小林 靖編		

課題に対するフィードバック
前回の授業のフィードバックを授業の最初に行う。小レポートは、翌週の授業の中でコメントする。
備考

科目名	地球の環境			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	松本 治彦	関連する資格		

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

この科目はディプロマポリシーのうち、「人への関心と学問の理解」を達成するために「諸科学への興味関心と理解」を深める授業。この授業は、受講者が地球の現在・過去・未来について考える際に、知っておくべき自然科学系の話（社会科学系も含んでおり、文系・理系の枠を超えた視点にチャレンジする）。この授業の最も重要なことは「事実と意見」の区別と「時間と空間のスケール」を意識すること。この授業の受講後、新聞で毎日のように取り上げられている自然科学系（地球の環境も含めて）の記事の内容がある程度、理解できるようになる。

到達目標

A1309

自然科学系に関する新聞記事の内容を読んで自分の意見と対比して評価する。
グループ協議を通じてコミュニケーション能力を発揮する。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	「地球の歴史、何がわかっているの？未来は」 予習；資料の全体概観する（30分）。復習；概要の部分のもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	「宇宙の始まり」「地球誕生・生物誕生」 予習；宇宙の始まりの部分について概観する（30分）。復習；宇宙、地球の誕生について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	「人間社会の形成」 予習；人間社会の形成について概観する（30分）。復習；生物の誕生から人間社会の形成までをもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	「熱収支と四季」 予習；熱収支について概観する（30分）。復習；熱収支と四季の起こる原因についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	「水と大気の大循環」 予習；水と大気の大循環の部分を概観する（30分）。復習；水と大気の循環の要点をもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	「森林消失と生物種絶滅」 予習；森林消滅と生物種絶滅の関係について概観する（30分）。復習；森林の現況と生物種の関係についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	「オゾン層破壊・PM2.5」 予習；オゾン層破壊とPM2.5について概観する（30分）。復習；オゾン層破壊、PM2.5の現況についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	「温暖化モデルとIPCC」 予習；温暖化、原因物質、IPCCについて概観する（30分）。復習；IPCCの作業原則と温暖化モデルの精度の現状について、もう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	「周期的変動」 予習；海、大気の周期変動について概観する（30分）。復習；偏西風の動き、海洋の様々な周期変動についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	「化石燃料から再生可能エネルギーへ」 予習；化石燃料と新エネルギーの現況について概観する（30分）。復習；化石燃料と再生可能エネルギーのバランスについてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	「炭素社会から水素社会に」 予習；水素利用の現状について概観する（30分）。復習；水素社会の到来の時期についてもう一度、読み込む（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	要点整理（グループ討議とレポート提出準備） 予習；11回までの内容についてもう一度、読み込む（30分）。復習；グループ討議で疑問に思ったことを解決して、レポートを作成する（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	「未来予測」 予習；未来の予測について概観する（30分）。復習；未来のイメージについてもう一度、考えてみる（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	「天気予報と災害への備え」 予習；最近の異常気象について概観する（30分）。復習；様々な自然災害に対処する手順を整理する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	「まとめ」 予習；資料全体をもう一度、概観する（30分）。復習；テストに備えて重要なところをもう一度、読み込む（1時間）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿って、資料の該当単元を熟読してくる。 講義資料を復習する。新聞を読む習慣をつける。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。		

課題に対するフィードバック
毎回の授業課題提出での質問については、次回の授業の始めに説明する。
備考

科目名	統計学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	松本 治彦	関連する資格	認定心理士	

授業概要

授業は対面で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の状況によっては遠隔授業（ズームを使った双方向型授業）に切り替える場合もあります。なお、どちらの形態の授業でも、Classroomを使って資料の配布、及び出席確認のため、各回の課題提出を求めます。必ず、提出してください。

この科目はディプロマポリシーのうち、「柔軟な思考と表現力」を身に付けるために、また「心理学の基礎的思考方法」を学ぶための授業です。

受講者はまず最近、重要度が増している「統計学とAI」の関係について学ぶ。次に統計学の歴史について深く学ぶ。その上で、統計学の様々な用語を理解して統計学を将来の仕事の道具として使いこなせるようにする。

統計学は現状把握と予測のためと見られているが、じつは限られたデータを使って全体の因果関係を探る学問。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせるのに役立たせる。

到達目標

A1310b

統計値の科学的意味を的確につかむ。グループ討議を通じて、コミュニケーション能力を発揮する。統計学を通じて得た情報から「ピンとくる」カンを働かせることができるような実力をつけるための基礎力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の授業課題について提出した内容（出席確認も含める）、及び定期試験で総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート		○	○				20
宿題、授業外レポート		○	○	○			15
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		15
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	統計学とAI 予習；統計学とAIの関係について概観する（30分）。復習；統計学とAIの部分についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
2)	人工知能とは 予習；人工知能の部分について深く思考する（30分）。復習；人工知能の部分を整理しておくこと（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
3)	統計学の歴史 予習；統計学の歴史について概観する（30分）。復習；統計学の歴史について再確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
4)	統計学の考え方 予習；統計学の考え方、データの科学的見方の部分について概観する（30分）。復習；統計学の考え方、データの科学的見方のチェックをしておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
5)	把握・予測・洞察の統計学 予習；予測・洞察の統計学を概観する（30分）。復習；予測・洞察の統計学について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
6)	ジョン・スノウと疫学 予習；疫学の歴史について概観する（30分）。復習；疫学の歴史について確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
7)	データの科学的な見方 予習；データの科学的な見方について調べておく（30分）。復習；データの科学的な見方を確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
8)	具体例で統計学を学ぶ「度数分布・分割・図」 予習；度数分布・分割・図の部分について概観する（30分）。復習；度数分布・分割・図の部分を確認しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
9)	具体例で統計学を学ぶ「平均値・標準偏差・偏差値」 予習；平均値・標準偏差・偏差値について概観する（30分）。復習；平均値・標準偏差・偏差値について再度、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
10)	具体例で統計学を学ぶ「範囲・その他の数値」 予習；範囲・その他の数値について概観する（30分）。復習；範囲・その他の数値について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
11)	正規分布 予習；正規分布について概観する（30分）。復習；正規分布について、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
12)	推定と検定 予習；推定と検定について概観する（30分）。復習；推定と検定について、整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
13)	詳しい検定 予習；詳しい検定について調べておく（30分）。復習；詳しい検定について整理しておく（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
14)	分散分析・多変量解析 予習；分散分析・多変量解析について概観する（30分）。復習；分散分析・多変量解析についてもう一度、確認する（30分）。	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
15)	まとめ	課題提出で要旨、感想、質問を作成して各回の授業の内容を理解する。
授業外学習		
授業計画に沿った、資料の該当単元を熟読してきてください。講義資料を復習してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使わない。資料はClassroom上にアップする。。		心理統計学 情報処理演習Ⅰ、Ⅱ

課題に対するフィードバック
毎回の課題提出で質問があった場合、次回の授業の最初にコメントする。
備考

科目名	脳科学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	左利 厚生	関連する資格		

授業概要

人間理解の可能性と脳科学が果たす役割について学び、ヒトの中枢神経系（脳）の構造と脳の機能局在について理解を深めることを目標とする。歴史的経緯を踏まえつつ臨床症例や研究知見を神経学的手法（脳波・fMRI・TMS・PETなど）とともに紹介する。

到達目標

A1311

ヒトの脳はヒトをヒトたらしめ、全身を統括する中枢的総括器官であることを解剖学及び生理学からその機能を学び、そして、脳科学から「心の現象」を自然科学として理解する。

成績評価方法

単元ごとに課題をつけ、その解答と期末試験の結果から評価する

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					80
小テスト、授業内レポート	○		○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ヒトの脳を研究することにより心の現象を学問的に解明しようとする脳科学の紹介【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
2)	ヒトの脳はどのような臓器か。【予習】配布資料を熟読し、疑問点を授業中に質問する(30)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
3)	ヒトの脳の構造と機能(1) 大脳皮質【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
4)	ヒトの脳の構造と機能(2) シナプスと神経伝達物質【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
5)	ヒトの脳の構造と機能(3) 大脳皮質と機能局在【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
6)	ヒトの脳の構造と機能(4) 大脳辺縁系【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
7)	ヒトの脳の構造と機能(5) 大脳基底核【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
8)	ヒトの脳の構造と機能(6) 視床と視床下部【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
9)	ヒトの脳の構造と機能(7) 脳幹と小脳【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
10)	ヒトの脳の構造と機能(8) 脊髄と運動【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
11)	ヒトの脳と構造と機能(9) 感覚のしくみ【予習】「人体の構造と機能」で中枢神経系の概要を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
12)	脳と感情【予習】これまで学んできた脳の機能から感情は脳の働きであることを確認する。疑問点を授業中に質問する(30)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
13)	脳の画像診断【予習】配布した資料を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
14)	脳科学の歴史【予習】配布した資料を熟読し、専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解し、不明の語彙は次回授業で必ず質問する(30分)	授業内課題
15)	脳はどのようにしてできたか。【予習】配布した資料を熟読し、疑問点を授業中に質問する(30) 専門用語を調べておく。(30分)【復習】授業中の専門用語を正しく理解する(30分)	授業内課題
授業外学習		
配布した資料の内容を理解し、解からない専門用語は調べる。 得た知識からその内容を発展させる努力をする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
随時プリント資料を配布する。 参考文献 は最初の授業で紹介する。		

課題に対するフィードバック
授業内容に関する意見、質問は記名の上メールアドレスに投函できる。その内容については次の授業で説明する。
備考

科目名	文学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	藤原 まみ	関連する資格		

授業概要

遠隔で行います。

日本近代文学の中からいくつか作品を取り上げ、その魅力を味わうとともに、文学作品としての価値について考える。また、文学作品を通じて、人の人生や生き方、考え方などを学び、豊かな感性を磨く。

到達目標

A1312

1. 「文学作品を読む」ということを理解する。
2. 課題作品について、自身の意見を持ち、それを表現することができる。
3. 他者の意見に耳を傾けることができる。
4. 他者の意見を盗用しない。
5. 世界の多様性について関心を持つ。
6. 授業の前に、必ず、課題作品を読む。
7. 他国の文学に関心を持つことによって、日本語文学への理解を深めることができる。

成績評価方法

最終課題論文（40％）

課題提出（30％）

授業における発言（30％）

指定された期限までに提出しなかった課題は評価の対象外。

指定された課題図書を必ず読んで出席すること。読んでいない場合は欠席相当と判断する。

指名された者は、先に他者が言ったことを繰り返さず、自身の言葉で自身の意見を述べること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○						40
小テスト、授業内レポート	○						30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○				10
プレゼンテーション	○						10
グループワーク			○				10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 必ず、教科書を持参して、出席してください。予習：次回の課題図書を読む。（1時間程）	
2)	父親 荒畑寒村	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
3)	寒山拾得 森 鷗外	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
4)	指紋 佐藤春夫	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
5)	小さな王国 谷崎潤一郎	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
6)	ある職工の手記 宮地嘉六	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
7)	妙な話 芥川龍之介	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
8)	件 内田百閒	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
9)	象やの糸さん 長谷川如是閑	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
10)	夢見る部屋 宇野浩二	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
11)	黄漠奇聞 稲垣足穂	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
12)	二銭銅貨 江戸川乱歩	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
13)	有島武郎「小さき者へ」	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
14)	久米正雄「虎」	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
15)	葉山嘉樹「淫売婦」	グループディスカッション、グループ発表、プレゼンテーション
授業外学習		
授業の前に、必ず、次回の課題図書を読んでおいてください。授業では、まず、10分程度で250字程度にまとめた自分の意見を提出してもらい、それを元にグループディスカッションをおこないます。意見をまとめられない場合、授業に積極的に参加することができないので、忘れずに課題図書を読んで準備してください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
『日本文学100年の名作第1巻1914-1923 夢見る部屋』 池内紀／編、川本三郎／編、松田哲夫／編 紅野 敏郎、 (ISBN 978-4-10-127432-4)		

課題に対するフィードバック
適宜、学生の求めに応じることとする。
備考

科目名	哲学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	村田 貴信	関連する資格		

授業概要

歴史や自然、社会や世界、そしてなによりもまず自分自身について、立ち止まって見つめなおしてみる機縁になるように、以下の二点を支軸にして講義を展開する。

- (1) 自己と世界とにともに関わる人知の精髓を哲学史の展開のなかに探る。
- (2) ものごとを広く（多面的に）深く（根源的に）考えることの意味と意義とを理解する。

到達目標

A1313

- (1) 哲学の根本問題について考えてみる。
- (2) 哲学の対象と方法とに関する基礎的な理解を得る。

成績評価方法

期末定期試験で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			100
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 導入： 講義内容ならびに講義の進め方の一般的説明 【予習】テキスト（pp. 1-2）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
2) 人間と哲学(1)： 知・行・信 【予習】テキスト（p. 3）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
3) 人間と哲学(2)： 知・行・信と人間 【予習】テキスト（p. 4）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
4) 理性の運命(1)： 自覚 【予習】テキスト（pp. 5-6）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
5) 理性の運命(2)： 自覚と形而上学 【予習】テキスト（p. 7）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
6) 哲学の方法(1)： 超越論的論理学 【予習】テキスト（p. 8）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
7) 哲学の方法(2)： 超越論的演繹 【予習】テキスト（pp. 9-10）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
8) 哲学の方法(3)： コペルニクスの転回 【予習】テキスト（p. 11）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
9) 哲学の対象(1)： 現象と物自体 【予習】テキスト（p. 12）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
10) 哲学の対象(2)： 自由の可能性 【予習】テキスト（pp. 13-14）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
11) 哲学の対象(3)： 道徳の可能性 【予習】テキスト（p. 15）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
12) 歴史と人間(1)： 人間の使命 【予習】テキスト（p. 16）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
13) 歴史と人間(2)： 精神の自由 【予習】テキスト（pp. 17-18）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
14) 世界と人間： 永遠平和の可能性 【予習】テキスト（p. 19）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
15) 総括： 講義全体のまとめ 【予習】テキスト（p. 20）精読（120分）【復習】テキスト再読（60分）		テキスト音読 質疑応答
授業外学習		
週単位ごとの授業計画に示した項目・概要に沿ってテキストを精読（予習）・再読（復習）する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト： カント『啓蒙とは何か 他四篇』（岩波文庫）、岩波書店、1974年（改訂）		人権論、いのちの科学、人間看護学、人間関係論

課題に対するフィードバック
テキスト読解深度を音読・質疑応答で確認する。
備考
期末定期試験時に辞書を使用したい場合は紙の辞書を用意すること。

科目名	倫理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	前期
担当者名	田中 智輝	関連する資格		

授業概要

倫理学は、道徳的行為や性格の「正しさ」や「善さ」の根拠を、できるだけ合理的かつ哲学的に問う学問である。本授業では著名な哲学者・宗教家の思想を取り上げ、倫理学の基本的な考え方を紹介すると同時に、現代の応用倫理学も考察する。

到達目標

A1314

1. 倫理学理論を用いて推論することが可能になる
2. 現代的な課題に興味関心を示すことが可能になる
3. 倫理的な方法論を用いて課題を分析することが可能になる

成績評価方法

- ・知識：80%
- ・態度：10%
- ・技能：10%

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○		○		20
宿題、授業外レポート	○	○		○			80
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 本講義の概要：倫理とはなにか？ 【予習】倫理とは何かについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
2) 倫理学とはどのような学問か？ 【予習】倫理学の概要について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
3) 法・政治・経済・宗教と倫理 【予習】倫理と法・政治・経済・宗教の関係について疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
4) 義務論の考え方を学習する。 【予習】義務論について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
5) 功利主義の考え方を学習する。 【予習】功利主義について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
6) 義務論と功利主義の考え方を事例を通じて検討する。 【予習】事前に配布する資料をもとに、論点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
7) 倫理理論としての共感理論を学習する。 【予習】共感と倫理がいかに関わるかについて疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
8) 徳倫理学の考え方を学習する。 【予習】徳倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
9) ケアの倫理学の考え方を学習する 【予習】ケアの倫理学について調べ、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
10) 現代社会における倫理的課題①：誕生をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
11) 現代社会における倫理的課題②：死をめぐる倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
12) 現代社会における倫理的課題③：科学技術による生への介入 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
13) 現代社会における倫理的課題④：未来倫理学 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
14) 現代社会における倫理的課題⑤：AI技術と倫理 【予習】事前に配布する資料を読み、疑問点を抽出する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
15) 総括：本講義のまとめ 【予習】倫理学を学ぶことの今日的意義について考え、要点を整理する（45分） 【復習】講義を振り返って要点を整理する。（45分）		グループワーク、ディスカッションを行う。
授業外学習		
講義内で示した課題について事前に準備する。講義の内容を踏まえたレポート等の作成を行なう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
講義内で適宜紹介する。		

課題に対するフィードバック
課題、レポートのついてのフィードバックは基本的に講義内で行う。
備考

科目名	対人関係論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	松田 憲	関連する資格	認定心理士	

授業概要

社会に生きる人間にとって不可欠な要素である対人関係について，認知心理学，社会心理学，発達心理学の立場から概観する。社会的動物としての人間の行動的基礎について学ぶことを通して，生活の質の向上のために配慮すべきことについての洞察を深める。

状況によっては、遠隔で実施する場合がある。

到達目標

A3303b

- 1．人間関係の基本的概念の理解
- 2．人間関係に影響する諸要因の理解
- 3．対人，対集団の相互間過程のメカニズムの理解

成績評価方法

小レポート（60点）と小テスト（40点）による総合評価。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		100
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	対人関係の古典的研究：アタッチメントと社会的隔離 【予習】これまでに受講した心理学系授業の復習（30分程度） 【復習】1)～5)の配布資料の復習（60分程度）	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
2)	人間関係の発達1：乳幼児期 【予習】1)と同様 【復習】1)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
3)	人間関係の発達2：児童期 【予習】1)と同様 【復習】1)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
4)	人間関係の発達3：青年期 【予習】1)と同様 【復習】1)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
5)	人間関係の発達4：ASD 【予習】1)と同様 【復習】1)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
6)	対人認知1：印象形成 【予習】これまでに受講した心理学系授業の復習（30分程度） 【復習】6)～10)の配布資料の復習（60分程度）	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
7)	対人認知2：対人認知の偏り 【予習】6)と同様 【復習】6)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
8)	対人認知3：対人感情 【予習】6)と同様 【復習】6)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
9)	説得と態度変容1：説得コミュニケーション 【予習】6)と同様 【復習】6)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
10)	説得と態度変容2：説得への抵抗 【予習】6)と同様 【復習】6)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
11)	対人関係1：対人関係の形成 【予習】これまでに受講した心理学系授業の復習（30分程度） 【復習】11)～15)の配布資料の復習（60分程度）	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
12)	対人関係2：対人関係の維持 【予習】11)と同様 【復習】11)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
13)	対人関係3：友人関係と恋愛関係 【予習】11)と同様 【復習】11)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
14)	対人関係4：対人コミュニケーション 【予習】11)と同様 【復習】11)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
15)	対人関係5：攻撃と援助 【予習】11)と同様 【復習】11)と同様	内容理解と日常への応用例に関する小レポート
授業外学習		
授業内容の復習は講義日のうちに必ず行うこと		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
講義資料を配布する		

課題に対するフィードバック
初日と2日目の小テストは、それぞれ翌日の授業開始時に正答を呈示する。 3日目の正答は小テスト終了後に呈示する。
備考
本講義は全3日間の日程で行う集中講義である。 小テストは各日程の最後に行う（計3回）。

科目名	文化人類学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	安溪 遊地		関連する資格	

授業概要

本授業は遠隔で実施します。自由な時間に動画を視聴できるオンデマンド方式です。毎回さまざまなフィールドでの経験を紹介します。具体例としては、日本最南端の島々・アフリカ・スペイン・山口でのフィールドワーク（実務経験）に基づいて、世界に生きる同時代の人たちの暮らしを五感で感じる授業をおこないます。動画をきちんと視聴して、関連するリンク先の文献を読み、さらに自ら文献を探して引用し、そこに自分の独自の主張や提案を付け加える小レポート（本文600字程度）を提出することが毎回の宿題です。毎回の小レポート作成が、期末大レポート作成の練習にもなります。毎回の動画では、異文化を生きる人たちの間で長期滞在して、自分にとっての「当たり前」がまったく「変なもの」扱いされるという、文化人類学の長期フィールドワークを追体験していただきます。それを通して、すべての異文化が対等な存在価値をもつのだという「文化相対論」を体感していただきます。さまざまな具体例を通して、異文化に接するモラルと、世界を「ヘイト（憎しみ）」から解放しうる「実践的寛容」をしっかりと身につけてください。それは、ますますボーダーレスとなっていく医療や福祉のケアの現場で働くであろうあなたの問題解決能力を高めるでしょう。それだけでなく、日本を在留外国人などの少数者が安心して暮らせる場所にするためにも役立つでしょう。

到達目標

A1315

1. 世界の人々の暮らしや考え方は、日頃流されている情報よりもずっと多彩であることを知り、その中で異文化こそが自分を映す鏡であるという、文化人類学の基本的なものの見方を身に付けて、自らを世界に向けて開く準備ができている。
2. これからのケアの現場で必要となる、自文化へのこだわりを離れ「みんな違っている」ことを基礎としたより高い視点に立つ心構えをもつ。
3. 自分と異なるものの存在を認めない不寛容に対して、どのように対処すべきかという問いに、日常生活の中で具体的に答えられる力を身に付ける。

成績評価方法

毎回の小レポートの提出を通して、授業にかかわる質問や意見の表明等、授業への参加の程度を平常点とし、最終レポートの内容の評価と合算して、成績を評価する。具体的には、到達目標に対応して、1) 授業前と授業後で、異文化についての固定観念がどの程度変化したかの質的な変化を「気づき点」として評価する。2) 異文化を生きている少数者も平等に扱われるべきという建前にもかかわらず、現実には大きな格差や差別があるという世界の現状に対して、自分がどのように向きあうのかという課題を、どのていど根拠をもって理解し、取り組む姿勢ができているかを「学び点」として評価する。3) 身の回りでおこっている「自文化こそが最高だ」という思い込みからの発言や行動に対して、いかに有効な働きかけをすることができるかを「表現点」として評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○	○		60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ヒトの心・サル的心—文化人類学と自然人類学 予習「ヒトと他の生物の違いは何でしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
2)	フィールドワークの泣き笑い——文化人類学の方法 予習「身に覚えのないことで地元の人に非難されたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
3)	調査されるという迷惑——宮本常一先生と調査地被害 予習「周防大島出身の宮本常一先生を知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
4)	すべてのものにカミが宿っている——アニミズムの世界 予習「人間以外の生き物に声をかけることがありますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
5)	日本が単一民族国家ではない証拠——アイヌ民族との出会い 予習「1990年の北海道庁のアンケートの結果アイヌ民族は何人？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
6)	「自分と違う人たちは」は苦手？——DNAの旅とフリーハグ 予習「人間とチンパンジーのDNAは何パーセントぐらい共通？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
7)	はじめての海外旅行——コンゴ民主共和国の森の村で 予習「アフリカで村長から『養子になれ』と言われたら？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
8)	生物の多様性と文化の多様性を生かす——コンゴの民衆の智慧 予習「塩と砂糖だけを買う森の村で作れる料理の数は何種類？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
9)	お金が通用しない暮らし——贈り物・物々交換・地域通貨・仮想通貨 予習「突然お札が通用しなくなったら暮らしはどうなる？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
10)	女性として生きるのがつらい国——コンゴ民主での性暴力など 予習「スマホに不可欠のタンタル鉱石とコンゴ内戦のつながりは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
11)	今を生きる指針としての神話——コンゴの森の人びとの語りから 予習「子どものころから聞いた神話の中で印象に残るものは？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
12)	民衆の記憶力——昔むかしの漂流民の伝承を与那国島で聞く 予習「言い伝えは、何年前ぐらいまでさかのぼれるものでしょう？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
13)	生ハムとワインの国——おいしい食べ物が異文化攻撃の武器にもなる 予習「サビエルと山口とのかかわりを知っていますか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
14)	武器をもって闘ったお坊さんたち——幕末長州の真宗僧の活躍 予習「幕府軍が長州を包囲した四境戦争はいつ起こったか？」 復習は、アクティブ・ラーニングで指示します。	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
15)	みんなちがってみんな「？」——たくさんの思いこみからの解放 予習「あなたなら上記の『？』にどんな言葉をいれますか？」 復習「最終レポートのテーマを考えよう」	授業の課題（3問程度）を、小レポートとして提出する。質問・意見等は、コメント欄に。
授業外学習		
復習は、課題3問程度に回答することです（60分）。予習は、次回講義の用語をgooglescholarなどで検索し、関連のある文章に目を通してみましょう（30分）。最終回の予習は、「最終レポートのテーマを考えよう」です。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト、宮本常一・安溪遊地、2008『調査されるという迷惑』（みずのわ出版） 担当教員のブログ http://ankei.jp		

課題に対するフィードバック
毎回の質問には、次の回までにできるだけ答えるようにしていきます。また、すぐれた意見については、クラス全体でシェアします。
備考

科目名	日本語表現法演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。

近年インターネットや電子メールなどメディアの発達によってコミュニケーションの場面が多様化し、ことばはますます重要になってきている。そこで、本授業では一般社会で通用するコミュニケーション能力の育成を目的とする。口語と文章語など、語彙の感覚を身につけるとともに、上手な文の組み立て方を学習する。また、手紙やさまざまな文章の形式を学び、実践する。

到達目標

A1401

- 1.単位としての段落、段落の並べ方、文章構成の規準など、文章の書き方の基本を習得する。
- 2.述部の主語、修飾語の受け手、句読点、括弧等の記号など、文の書き方の基本を習得する。
- 3.文体（常体と敬体）、待遇表現（日常語・俗語と敬語）など、場面に応じた表現法の修得。
- 4.公用の文書（礼状・依頼状などの手紙、社内・社外宛の文書、レポート等）の型式を学ぶ。
- 5.一般社会における社会常識としてのコミュニケーション能力、礼儀作法を会得・実践する。

成績評価方法

授業・宿題等における意欲・態度等の評価に定期試験・小テストの得点を加算する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート		○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク			○		○		10
演習		○	○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	日本語文章で多用する漢語・漢字についての概説 【予習】教科書5-10頁を読んでおく（40分） 【復習】配布した資料を読み返す（20分）	
2)	第1章「書き方の決まり事」5-10頁 【予習】教科書11-14頁を読んでおく（30分） 【復習】教科書の「課題2」を実行（30分）	小テスト1（65頁の1）
3)	第2章「悪文とは？のⅠ」11-14頁 【予習】教科書14-18頁「例文問題」（30分） 【復習】教科書13頁「課題」を実行（30分）	小テスト2（65頁の2）
4)	第2章「悪文とは？のⅡ」14-18頁 【予習】教科書19-21頁を読んでおく（30分） 【復習】教科書の18頁までを読み返す（30分）	小テスト3（66頁の3）
5)	第3章「文章作成法Ⅱ」19-21頁 【予習】教科書67頁を読んでおく（30分） 【復習】19頁「課題」のAまたはBをノートに記す（30分）	小テスト4（66頁の4）
6)	第3章「文章作成法Ⅱ」 【予習】教科書23-25頁を熟読する（40分） 【復習】18頁「参考」を再読する（20分）	小テスト5（67頁の1）
7)	第4章「インターネットと文章作成」の（1）23-25頁 【予習】教科書26-28頁を熟読する（30分） 【復習】25頁の「コラム3」を調べる（30分）	小テスト6（67頁の2）
8)	第4章「インターネットと文章作成」の（2）26-28頁 【予習】29-32頁を読み「課題」を作成（30分） 【復習】教科書27頁までを総復習する（30分）	小テスト7（68頁の3）
9)	第5章「presentation」29-32頁 【予習】33-35頁を読み「課題」を行う（40分） 【復習】図書館で娘・フロイトの著作を調べる（30分）	小テスト8（68頁の4）
10)	第6章「敬語の種類と用法」33-35頁 【予習】35-38頁「敬語使用上の注意点」を読む（30分） 【復習】34-35頁の「敬語の種類」を記憶する（30分）	小テスト9（69頁の1）
11)	第6章「敬語の誤用」を正す問題例35-38頁 【予習】39-46頁「手紙」の書き方を読む（40分） 【復習】37-38頁の四つの表を把握する（30分）	小テスト10（69頁の2）
12)	第7章「手紙の形式」39-46頁 【予習】教科書59-63頁を読む（40分） 【復習】ワードで40-41頁の[例2][例3]を作成（20分）	
13)	第10章「社会生活での嗜み」59-64頁、その他 【予習】教科書の47-51頁を読んでおく（30分） 【復習】スーパー等でお中元の商品名を調べる（40分）	
14)	第8章「効果的な電子メール」47-52頁 【予習】53-54頁を読み「課題1」を作成する（40分） 【復習】コンピュータ室でE-mailに慣れる（30分）	
15)	第9章「公用の文書作成」53-58頁 【復習】教科書の総復習（80分）	
授業外学習		
11頁、33頁の各「課題」および65-70頁の「練習問題」は定期試験に出題する。 23頁、33頁の各「課題」は授業時間の余裕のある時を見計らって学籍番号順に演習を行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
庄司達也ほか『日本語表現法[新訂版]』（2019、翰林書房）980円+税		日本語表現法演習Ⅱ

課題に対するフィードバック
小テストの答えは学生同士で採点して教員に渡す。教員はその答えを点検・修正して翌週返却する。 宿題は次回の授業時間内に解答を示して質問に答え，提出したものを点検し，翌週返却する。
備考

科目名	日本語表現法演習 II			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	後期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。

論説文の力をつけることをめざす。文の要約と推敲の練習をする。文章力を身につけ、大学生活における学習に必要なレポート作成の要領をつかむことを目的とする。（キーワード：文章語、文章構成）

到達目標

A1402

- 1.文章語、特に学術用語・専門用語としての漢語および漢字についての知見が修得できる。
- 2.事実を記す文と意見表明の文との違いについての理解が深まる。
- 3.文における文節相互の承接関係を正しく把握できるようになる。
- 4.文章構成における段落の役割、および段落の配列・展開の仕方についての理解が深まる。
- 5.レポート・論文を作成するうえで必要とされる文章構成法についての知識・技術が修得できる。

成績評価方法

宿題や授業・演習等における意欲・態度等の評価点に期末試験・小テストの得点を加算。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート	○	○					10
宿題、授業外レポート		○	○				10
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク			○		○		10
演習		○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	レポートの要件と参考例（p9-21），事実/意見の文（p25-48） 【予習】教科書p49-71を読んでおく（40分） 【復習】p43-45の「問題2.1-3」の宿題を解いておく（30分）	
2)	宿題の解答確認。レポート作成の手順（p49-71） 【予習】教科書p72-79，p80-97，p101-7を読んでおく（40分） 【復習】p9-71の漢字を確認しておく（30分）＊次回テストする。	
3)	材料集め，図書館の利用p72-100，レポートの分量p101-107 【予習】教科書p108-121を読んでおく（40分） 【復習】この日までに学習した教科書を開いて読み返す（20分）	＊漢字テスト1
4)	レポートの構成（標準的な構成など），構成案の作り方 【予習】教科書（4.1）①p131-9，（4.2）②p140-153の理解（40分） 【復習】漢字テストの解答を見直す。誤りがあれば正す（20分）	
5)	レポートの文章（4.1），および叙述の順序（4.2） 【予習】教科書p154-165（「問題4.2」宿題）の学習（50分） 【復習】p72-153の漢字の確認（30分）	
6)	事実/意見・感想の文との書き分け。宿題の確認（p154-165） 【予習】教科書p166-179（「問題4.3」宿題）の学習（40分） 【復習】この日までに学習した教科書を読み返す（20分）	
7)	レポートの文章の書き方。宿題の確認（p166-179） 【予習】教科書p180-192を読んでおく（40分） 【復習】漢字テストの解答を確認する。その他（20分）	
8)	文章のまとめ方，段落・パラグラフについて（p180-192） 【予習】教科書p193-206を読んでおく（40分） 【復習】この日までに学習した教科書を読み返す（20分）	
9)	難読文の修正1：各文節の承接関係の調整法（p193-206） 【予習】教科書p206-215（「問題4.5」宿題）の学習（50分） 【復習】修得した学習内容を確認する（20分）＊次回テストする。	
10)	難読文の修正2：ねじれた文の直し方。宿題の確認（p206-215） 【予習】教科書p216-224を読んでおく（40分） 【復習】前回の学習事項と合わせて教科書を読み返す（30分）	＊漢字テスト2
11)	受動態と能動態，辞書等について（p216-224） 【予習】教科書p225-234を読んでおく（30分） 【復習】教科書p217の受動態を能動態に書き換える（30分）	
12)	レポートの文章の評価，執筆メモの心得（p225-234） 【予習】教科書p234-249を読んでおく（30分） 【復習】p226の図4.6で自分の望む評価多辺形を作れ（30分）	
13)	区切りの記号，出典の示し方，校正，文献，索引（p234-249） 【予習・復習】下の教科書の文章問題を解答する。＊次回テスト p161-5，p194-7，p199，p205-9（70分）	
14)	文・文章の復習（p161-209），教材の補講 【予習】次回の授業に向けて準備する（10分） 【復習】教材全般（70分）	＊文章テスト
15)	演習・学習内容の総確認・復習，意見交換，その他 【復習】期末テストに備えて（80分）	
授業外学習		
予習・復習は，集中度等で異なるが目安の時間を目標に実行するものとする。宿題は教科書の【問題2.1-3】，【4.2】，【4.3】，p206-215（【4.5】を含む）。テストは漢字p9-71，漢字p72-153，文章p161-209。演習は期間中に一人最低3回は廻る予定である。質問も意見提言も自由で，議論する時間も用意されているので全員が十分な準備を整えて臨むよう，教科書主体の授業外学習に努めてほしい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
木下是雄『レポートの組み立て方』（ちくま学芸文庫,1994） 本体価格780円+税		日本語表現法演習Ⅰ

課題に対するフィードバック
漢字テスト・文章テストは終了後学生同士で、宿題は翌週の授業で各自点検評価しあう。演習は予定のノルマが終了後ただちに意見・質問・疑問を積極的に出しあい、全員で理解・納得がゆくまで議論しあうものとする。
備考

科目名	日本語表現法演習Ⅲ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。
 テキストとの対話を通して、特に「読む」「書く」能力を磨く。現代社会の諸問題に関心を持つために、新聞スクラップを行う。また、2冊以上の図書をくらべ読みすることによって、客観的な論理展開の文章を書く方法を学ぶ。また、演習を通して就職活動に有効な言語表現を学ぶ。

到達目標

A2401

1. 相手の伝えたい(話したい・書きたい)ことを正確に理解できる(読める)ようになる。
2. 自分の伝えたい(話したい・書きたい)ことが正確に表現できる(書ける)ようになる。
3. 適切な情報の収集能力を養うとともに、客観的な理解・表現の能力を習得できるようになる。
4. 社会における人間関係を円滑に営むための効果的な言語表現能力を習得できる。

成績評価方法

定期試験の成績以外に、授業外学習のレポート(3回提出)の完成度、授業内におけるコミュニケーション(スピーチ・説明・口頭発表)能力の達成度、演習担当回数などを加えて総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション			○	○			10
グループワーク							
演習		○	○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	授業の内容紹介と授業展開の説明 資料1(第2,3回分)・資料2(第4,5回分) 配布, 解説 【予習：次回演習の資料1を読む(50分)】	
2)	「資料1」を読む。その後、全員で感想を述べあう。 内容をいくつかに分ける。各部分の要点をメモする。 【予習30分 復習：資料の文章の感想を800字以内に纏めておく(30分)】	
3)	「資料1」について全員で討論する。問題を4つに絞る。例：雇用、性的脅迫、性差による適性と偏見、男女平等の功罪など。 【予習20分 復習：討議を踏まえて自分の考えを400字以内に纏め、提出する(40分)】	
4)	「資料2」を読む。文中のキーワードを4つ挙げる。 人種の違いに基づく問題(偏見・蔑視など)を議論する。 【予習30分 復習：議論を振り返って感想を400字以内に纏める(30分)】	
5)	「資料2」の検証。復習の原稿を読んで意見交換する。人種差別、学校でのいじめ、パワハラ、小中学生の自殺等について 【予習：次回の資料(「資料3」配布)を読む30分 復習：今回の感想を約400字で記録しておく(30分)】	
6)	「資料3」(コピーの『高瀬舟』)を数名が読む。要約文を書く。 文中から各自それぞれ問題を見つけ出し、400字に纏める。 【予習：再度読む30分 復習：提起したい問題を400字に纏める30分】	
7)	「資料3」の考察。復習の問題提起を読み、討論。 キーワード：生活苦、病苦、「安楽死」の問題など。 【予習：次回の資料(「資料4の1」配布)を読む20分 復習：今回の考察を約400字に纏め、提出(40分)】	
8)	「資料4の1」の文章の分析と考察、それについて全員による討論。 各自が受けた印象を基に、自分の意見を言葉で説明する(一人10分程度)。 【予習30分 復習：自分の意見を400字程度に纏める(30分)】	
9)	「資料4の1」の分析と考察(つづき) 「資料4の1」と「資料3」とを比べ読みして、感想を述べる(一人10分程度)。 【予習20分 復習：資料3と資料4とを比較して感想を約800字に纏める(40分)】	
10)	「資料4の2」と新聞記事を読む。 取り上げたい問題、気になった箇所、感動したことを順に発表する(一人10分程度)。 【予習30分 復習：取り上げたい問題を400字に纏める30分】	
11)	「資料4の2」の分析と考察。復習問題を順に発表し、話し合う。 キーワード：自信喪失、命は誰のものか、生きる意味など。 【予習20分 復習：自分の考えを400字以内に纏めて、次回提出する(40分)】	
12)	「現代社会の問題」の検討と提案 「資料1」～「資料4」におけるそれぞれの問題点について意見を述べ合う。 【予習30分 復習30分】	
13)	「就職」について考えを述べ合う。 「資料1」および「資料4の2」を参考にする。 【予習：次回の漢字テストの準備30分 復習30分】	
14)	「社会生活に必要な日本語表現能力」の自己検証(漢字のテスト) 「教育用漢字」「常用漢字表内字」「熟字訓」等の漢字表記語彙の検証など。 【予習30分 復習：漢字テストの点検30分】	
15)	前回までの演習内容についての質問 反省、テストについての質問、その他。 【復習：期末テストの準備60分】	
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料および新聞記事などのコピーを配布する。		「日本語」「日本文学」など。

課題に対するフィードバック
【予習】に明記されている「資料」を読み，「授業計画」に明記されている演習を遂行し(主に話すこと)，【復習】に明記されている課題(書くことが中心になる)を指示通りに行う。提出物については返却時に相互に確認し合う。この循環形式で現代社会の諸問題を考え，論理的に表現する言語能力(主に書く力)を習得する。
備考

科目名	日本語表現法演習Ⅳ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	武市 眞弘	関連する資格		

授業概要

本授業は、対面で実施する。

目的にかなった文章を書くこと、話すことは、社会人として大切なことである。本授業では、言語表現を豊かにしていくことによって、将来、社会に踏み出す学生として必要な基本的な表現法(社会人としての会話、敬語の使い方、自己紹介や挨拶の仕方などといった話し方や小論文の作成方法、手紙文・ビジネス文書の作成方法など)を習得していく。

到達目標

A2402

1. 専門分野(文科系)に応じた専門的な報告書・レポート・論文の書き方が習得できる。
2. 日本語圏の社会人として、場面に応じた適切な言語表現(話す・書く)の技能が習得できる。

成績評価方法

毎時間行うテストの成果、期末テストの成績、授業における積極性(態度)を総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					30
小テスト、授業内レポート	○	○			○		30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション			○	○	○		10
グループワーク	○				○		10
演習		○	○				10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	話し方(1)社会人としての会話【1～4迄の資料配布】 要約の仕方・要点の示し方・メモの取り方と伝え方 【予習：資料学習30分 復習30分】	
2)	話し方(2)敬語の使い方 敬語の種類の違い・敬語の誤用の訂正 【予習：資料学習30分 復習30分】	
3)	話し方(3)自己紹介・挨拶の仕方・説明の仕方 話し方の順序〈前置き・本論・結び〉 【予習：資料学習30分 復習30分】	
4)	話し方(4)グループディスカッション【5～8迄の資料配布】 社会が期待する仕事・企業が期待する人材などを例として 【予習：資料学習30分 復習30分】	
5)	書き方(1)「文」の書き方の基礎知識 構文の要素の見極め・表記法の学習 【予習30分 復習30分】	
6)	書き方(2)「文体」「文章」の書き方・書き直し 話し言葉と書き言葉・和語と漢語など 【予習：資料学習30分 復習30分】	
7)	ビジネス文書(1)公用文の書き方 敬称、時候の辞、頭語と結語、忌み詞 【予習：資料学習30分 復習30分】	
8)	ビジネス文書(2)必要性に応える表現【9～11迄の資料配布】 的確な情報と読みやすさ・解りやすさ 【予習：資料学習30分 復習30分】	
9)	ビジネス文書(3)案内、御礼、お祝い、連絡、報告、依頼など 同窓会、転勤、休業通知、会社案内、資料送付依頼 【予習：資料学習30分 復習30分】	
10)	手紙文(1)書き方(縦書き・横書き)の基本的ルール 手紙文の構成・葉書と封書 【予習：資料学習30分 復習30分】	
11)	手紙文(2)手紙文を書くときの注意点 和封筒・洋封筒の表書きなど 【予習：演習Ⅰのテキストpp14－21の学習30分 復習30分】	
12)	レポート・論文の書き方(1)書き上げるまで・口頭発表の心得。 演習Ⅰで使ったテキストを使用する(pp14-21, pp29-31)。 【予習：演習Ⅱのテキスト学習30分 復習30分】	
13)	レポート・論文の書き方(2)原稿の書き方、記号、修正・校正記号など。 演習Ⅱで使ったテキストを使用する(pp231-253)。 【予習30分 復習30分】 ＊【漢字資料配布】	
14)	日常生活に使われる漢字学習 和語の漢字表記(地名・熟字訓など)・欧米語の漢語訳など 【予習：漢字資料の学習30分 復習30分】	
15)	「書き方」に関する総復習、その他。 漢字の小テスト45分 【復習：期末テストに備えて60分】	
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
庄司達也ほか『日本語表現法[新訂版]』(翰林書房, 2019) 木下是雄『レポートの組み立て方』(筑摩書房, 1994)		日本語表現法演習Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
第1回から第11回までの授業時間内における演習は、10分前後のテストを繰り返す形となる。テストの答えは学生同士で交換し、採点し合う。疑問や意見があるときはその場で議論し、正解を導き出す。第12回以降の演習は演習Ⅰ・Ⅱの学習を踏まえて、書き方についての更なる理解を深めることが期待できる。
備考

科目名	異文化コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	岩野 雅子	関連する資格		

授業概要

本授業はオンライン（zoomならびにGoogle Classroom）で授業時間に双方向で実施する。
異文化への理解を深めながら、多様な文化を持つ人びととコミュニケーションするための方法を学ぶ。また多文化共生の立場から、地域に住む多様な人々が良好な関係を築き、それを維持するために重要なことについて、主体的に考えを深めていく。

到達目標

A2403

- 1.多様な文化を持つ人びととコミュニケーションするための理論や方法について説明することができる。
- 2.異文化への理解や多様な人々への関心をもち、言語・非言語コミュニケーション力を伸ばす。
- 3.多文化共生の立場から、地域に住む多様な人々が良好な関係を築き、それを維持するために重要なことについて主体的に考えたことを表現することができる。

成績評価方法

毎回の自主課題：3点 x 15回＝45点
3回のグループワーク後のミニレポート：10点 x 2回＝20点
プレゼンテーション：15点
最終レポート：20点

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				40
宿題、授業外レポート	○						45
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション				○			15
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション。授業の進め方と異文化間コミュニケーションの全体像について説明する。テキスト第1章「他者との出会い」の解説をする。	テキスト第2章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
2)	テキスト第2章「ふさわしさをめぐるコミュニケーション」について解説する。次週の課題：第3章を読みクイズに答える。	テキスト第3章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
3)	テキスト第3章「ことばというシンボル」について解説。次週の課題：第4章を読みクイズに答える。	テキスト第4章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
4)	テキスト第4章「ことばにできないメッセージ：沈黙の意味」について解説。次週の課題：第5章を読み、クイズに答えてくる。	テキスト第5章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
5)	テキスト第5章「グローバル化とメディア」について解説。基礎編の振り返りとして自分たちでミニテスト（質問と回答）を作成する。	ここまでの振り返りをするため、ミニレポートを書く
6)	グループワークの実施。次週の課題として第6章を読んで、クイズに答えてくる。	テキスト第5章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
7)	テキスト第6章「コミュニケーションの想像／創造する力」について解説。次週の課題：第7章を読みクイズに答える。	テキスト第6章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
8)	テキスト第7章「英語という言語選択」について解説。次週の課題：第8章を読みクイズに答える。	テキスト第7章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
9)	テキスト第8章「異文化交流の意味」について解説。次週の課題：第9章を読みクイズに答える。	テキスト第8章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
10)	テキスト第9章「多国籍チームにみる組織内コミュニケーション」について解説。応用編の振り返りとして自分たちでミニテスト（質問と回答）を作成する。	テキスト第9章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
11)	グループワークの実施。次週の課題として第10章、第11章を読んで、クイズに答えてくる。	ここまでの振り返りをするため、ミニレポートを書く。
12)	プレゼンテーション、レポートの書き方について解説する。	テキストの第10章、第11章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
13)	テキスト第10章「スペクテーター・スポーツの異文化論」、第11章「移民・難民問題から考える多文化社会」について発表する。	テキストの第12章の事前課題をやり、授業時にディスカッションを行う準備をする
14)	テキスト第12章「異文化としてのスピーチ」「越境・架橋するプロセス」について発表する。	プレゼンテーションと質疑応答の準備をする
15)	プレゼンテーションの振り返りと最終レポートの作成について説明し、全体のまとめをする。	最終レポートを書き、提出の準備をする
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
池田理知子・塘 幸枝編著『グローバル社会における異文化コミュニケーション 身近な「異」から考える』くろしお出版2019年		

課題に対するフィードバック
グループワーク後のミニレポートについては次の授業でフィードバックし、最終レポートにつながる改善の視点が得られるようにする。最後のほうのプレゼンテーションについてもフィードバックを行い、指導や助言が最終レポートに活かせるようにする。
備考

科目名	コミュニケーション論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	大石 英史、高田 晃、小山 典子、 榎本 俊哉	関連する資格		

授業概要

(概要)保健・医療・福祉および学校保健の現場で言語・非言語コミュニケーション活動を展開するにあたって、コミュニケーション論を基本にして、他者との人間関係における自己表現方法を学ぶ。また、援助に必要なカウンセリング概念と基礎的な技術と理論的な背景についてロールプレイと講義を組み合わせ学習する。

基本は遠隔授業、対面授業の場合は担当教員よりその都度指示がある。

(大石 英史/4回)

コミュニティでの言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

(高田 晃/3回)

学校現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

(小山 典子/4回)

医療現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

(榎本 俊哉/4回)

さまざまな現場での言語・非言語コミュニケーション活動について概説し、事例を交えてカウンセリング概念と基本的な技術と理論を解説する。

到達目標

ナンバリング(A2404)

・コミュニティでの言語・非言語コミュニケーション活動について、基本的な技術と理論を理解し説明できる。
学校現場、医療現場、さまざまな現場での言語・非言語コミュニケーション活動について、基本的な技術と理論について理解し説明できる。

成績評価方法

4名の先生がオムニパスで担当し、各先生の評価点の平均
各先生の評価基準割合等は、それぞれの授業内で説明する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		10
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク	○	○	○	○	○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 対人援助に求められるコミュニケーション・スキル(対面授業) 授業内容の復習（60分）（大石先生担当第1～4回）各授業		演習・グループワーク
2) 前言語的体験を重視したコミュニケーション（対面授業）授業内容の復習（60分）		演習・グループワーク
3) コミュニティ臨床におけるコミュニケーション①（対面授業）授業内容の復習（60分）		ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4) コミュニティ臨床におけるコミュニケーション②（対面授業）授業内容の復習（60分）		ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5) 学校現場での言語コミュニケーションについて（オンデマンド授業） 提示された課題についてレポートを作成して提出（高田先生担当第5～7回）		
6) 学校現場での非言語コミュニケーションについて（オンデマンド授業） 提示された課題についてレポートを作成して提出		
7) 学校現場でのメタコミュニケーションについて（オンデマンド授業） 提示された課題についてレポートを作成して提出		
8) 医療現場におけるコミュニケーションを支える心理 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）（小山先生担当第8～11回）		レポート
9) 医療現場におけるコミュニケーションを動かす心理 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）		レポート
10) 医療現場におけるコミュニケーションのすれ違いとは 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）		レポート
11) コミュニケーションにおける信頼関係と責任 【復習】講義内容ふりかえりレポート（60分）		レポート
12) （榎本先生担当：第12～15回） 親子のコミュニケーション① 児童期 【復習】講義内容の復習（60分）		演習
13) 親子のコミュニケーション② 思春期 【復習】講義内容の復習（60分）		演習
14) コミュニケーションと人権 【復習】講義内容の復習（60分）		演習
15) マジョリティー・マイノリティーとコミュニケーション 【復習】講義内容の復習（60分）		演習
授業外学習		
各担当教員より提示された課題を準備しておく。 各担当教員より提示された資料については事前に熟読し理解しておく。 授業中理解できなかった専門語彙は、次の授業までに調べて理解しておく。 各担当教員の指示に従いレポートを作成する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各授業担当より指示される		心理学科の授業全般

課題に対するフィードバック
各授業担当より行う。
備考
オフィスアワー：各担当教員の指定した時間に行う。

科目名	表現アートセラピー演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	前期
担当者名	酒木 保	関連する資格		

授業概要

表現アートセラピーとは、様々な表現（絵や粘土、コラージュ、ダンス・ムーブメント、声や音楽、ドラマ、ライティングなど）を用いる統合的芸術療法である。アート表現は、人の持つ可能性を賦活するものとして近年注目されている。この科目では、表現アートセラピーがどのような療法であり、どのような特徴を持つのかについて全体像をつかむ。テキストの実例から表現アートセラピーの実際について学び、心理的成長のプロセスを理解し、自己の心理的成長について考える。

実務経験

臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

A1403

様々な知覚機能を用いて創造的活動を闊達化し、カオスからコスモスへのプロセスを概観し、芸術の基本原則を体験する。

成績評価方法

作品の提出

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート		○		○			0.5
授業態度・授業参加度					○		0.2
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習		○		○			0.3
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 色彩に関する芸術的体験（1） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
2) 色彩に関する芸術的体験（2） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
3) 色彩に関する芸術的体験（3） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
4) 造形に関する芸術的体験（1） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
5) 造形に関する芸術的体験（2） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
6) 造形に関する芸術的体験（3） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
7) 音響に関する芸術的表現（1）リズム 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
8) 音響に関する芸術的表現（2）ピッチ 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
9) 音響に関する芸術的表現（3）メロディ 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
10) 具体的表現（1） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
11) 具体的表現（2） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
12) 具体的表現（3） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
13) イメージを具体化する（1） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
14) イメージを具体化する（2） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
15) イメージを具体化する（3） 授業内容のふりかえり（60分）		実際に表現して作品を提出する
授業外学習		
生活世界における様々な事象について表現する練習をしてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料を適宜配布する。		表現アートセラピー演習Ⅱ

課題に対するフィードバック
作品に対する評価をその都度行う。
備考

科目名	表現アートセラピー演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	1年	後期
担当者名	酒木 保	関連する資格		

授業概要

対人援助は、人間関係のプロセスそのものと言える。相手を理解し共感するためには、まず自己理解が必要となる。この授業では、表現アートセラピーを通して自己の内面を見つめ、自己理解を深め、他者との共感的コミュニケーションを体験的に学ぶ。また芸術療法の基礎、パーソンセンタード表現アートセラピーの理論と実践を学ぶ。演習・実習を通して、いかに自由で安全な場を提供するかについて学んでいく。医療（精神科、高齢者）や教育においての適用例も概説する。

実務経験

臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

A1404

様々な治療技法が使いこなせるようになる。

成績評価方法

作品の提出

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○		○			0.5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度					○		0.2
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習		○		○			0.3
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 交互彩色法（1） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
2) 交互彩色法（2） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
3) 交互彩色法（3） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
4) 黄黒交互彩色法（1） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
5) 黄黒交互彩色法（2） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
6) 黄黒交互彩色法（3） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
7) スクウィグルと物語（1） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
8) スクウィグルと物語（2） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
9) スクウィグルと物語（3） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
10) スクウィグルと4コマ漫画（1） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
11) スクウィグルと4コマ漫画（2） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
12) スクウィグルと4コマ漫画（3） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
13) 色彩プロットから描画と物語（1） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
14) 色彩プロットから描画と物語（2） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
15) 色彩プロットから描画と物語（3） 授業内容のふりかえり（60分）		対面授業 実際に表現して作品を提出する
授業外学習		
生活世界の中から芸術に関わるものを見出すこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
資料を適宜配布する。		表現アートセラピー演習Ⅰ

課題に対するフィードバック
作品に対する評価をその都度行う。
備考

科目名	フィールドスタディ I			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	前期
担当者名	木元 卓也、小山 典子、西村 秀明 、榎本 俊哉	関連する資格		

授業概要

A3401

地域におけるボランティアの意義と実情について講義および演習形式で学び、現代社会におけるボランティアセクターの重要性について理解することを目的とする。また、実際の活動を行っている方から直接話を聞く機会も設ける。

到達目標

A3401

- ・ ボランティアについての正確な理解
- ・ ボランティアセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚
- ・ ボランティア活動への参加

成績評価方法

- ボランティア活動体験レポート及び活動報告会での発表

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習		○	○		○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション	グループワーク
2)	ボランティア参加への心構え及び意義	小レポート
3)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
4)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
5)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
6)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
7)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
8)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
9)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
10)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
11)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
12)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
13)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
14)	ボランティアへの参加及び振り返り 【予習】ボランティア先について調べる 【復習】ボランティア参加後の振り返り	フィールドワーク
15)	ボランティア活動報告会	プレゼンテーション
授業外学習		
ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど） ※Covid19の感染拡大により、ボランティア実習に参加できなくなった学生には「実習救済レポート」を課す		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
特になし。必要に応じて適宜紹介。		フィールドスタディⅡ

課題に対するフィードバック
実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。
備考

科目名	フィールドスタディⅡ						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
実習	必修	1		3年	後期		
担当者名	木元 卓也、小山 典子、西村 秀明、梶本 俊哉		関連する資格				
授業概要 A3402 フィールドスタディⅠに引き続き、地域におけるボランティアの意義と実情について体験的に学び、現代社会におけるボランティアセクターの重要性について理解することを目的とする。さらにボランティア活動に参加し、活動を通して得られた学びを発表する。							
到達目標 A3402 ・ ボランティアについての正確な理解 ・ ボランティアセクターの重要性の認識と各自のボランティア意識の高揚 ・ ボランティア活動への参加 ・ ボランティア活動を通して得られた知見を表現する				成績評価方法 ○ ボランティア活動体験レポート及び活動報告会での発表			
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		20
グループワーク							
演習							
実習		○	○		○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション及びボランティア先の決定 2)～14) 各ボランティア先での活動 15) ボランティア活動報告会及びまとめ		フィールドワーク
授業外学習		
ボランティア実習の写真撮影時には個人情報保護に配慮する。（担当者の許可を得るなど） ※Covid19の感染拡大により、ボランティア実習に参加できなくなった学生には「実習救済レポート」を課す		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
特になし。必要に応じて適宜紹介。		フィールドスタディ I

課題に対するフィードバック
実習先での活動内容やレポート作成に関する指導を全体に対して行うとともに、個別の質問については、授業後またはメールにて対応する。
備考

科目名	キャリアデザインⅠ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	1年	前期
担当者名	角光 通子	関連する資格		

授業概要

大学に入学をして、あなたは何をしたいのか？ 4年間をどの様に過ごすのか？ 4年後に卒業をし、社会に出る、又は大学院進学に向けての進路選択活動をするため、これからの自分の大学生活をデザインすることを目的とする。グループワーク・グループ演習などを通して、他社とのコミュニケーションをはかり、同時に、自分の想い、他者への想いを深めていく。

到達目標

ナンバリング(A1801)

- 社会人として必要な能力を向上させる
- 社会で働くことの意義を考えることができる
- 広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加，小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		10
演習	○	○	○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション ガイダンス （担当：角光・高山） 【予習】 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
2) コミュニケーションスキルⅠ （担当：外部講師） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
3) コミュニケーションスキルⅡ （担当：外部講師） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
4) コミュニケーションスキルⅢ （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
5) PROGテスト （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
6) ワールドカフェークラスのみんなと知り合い、自分の意志を伝えるー（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
7) 大学生活の過ごし方 ～今後の大学生活の過ごし方を考える～ （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
8) Web情報・書籍の活用 Webや書籍の活用方法について考える （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
9) ーPROGテストの解説ー 結果の解説 （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
10) あなたの未来は？ ～お金の意味を考える～ （担当：外部講師） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
11) キャリアとは？ ～キャリアについて考える～ （担当：高山） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
12) 社会人基礎力とは？ ～社会人基礎力の概要～ （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
13) 未来の自分を考える ～将来の自分に視点を向け、考える～ （担当：角光） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
14) キャリア理論 ～キャリア理論の概要～ （担当：高山） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
15) 総括 （担当：角光・高山） 【予習】事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
授業外学習		
毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。		キャリアデザインⅡ、キャリアデザインⅢ、キャリアデザインⅣ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、インターンシップⅢ

課題に対するフィードバック
小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。
備考

科目名	キャリアデザインⅡ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	2年	後期
担当者名	角光 通子、高山 智行	関連する資格		

授業概要

大学卒業後の職業選択に関する基礎的な事項について理解を深める。また、社会人・職業人インタビューの実施、発表を通して、プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力に磨きをかける。
本授業は対面で実施する。

到達目標

ナンバリング(A2801)
○社会人として必要な能力を向上させる
○社会で働くことの意義を考えることができる
○広い範囲から職業選択、進路選択ができる

成績評価方法

授業中のグループワークや演習課題への積極的な参加，小レポートの作成、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		10
演習	○	○	○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション（担当：角光・高山） 【予習】「キャリアデザインⅠ」で学んだことを振り返る（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
2) 大学生活の計画&振り返り これまでの大学生活を振り返り、今後の活動を考える （担当：角光）【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
3) 世の中の仕組みを知るⅠ～職業を知る～ ハピキャリを通して、職業を知る （担当：外部講師）【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
4) 世の中の仕組みを知るⅡ～働き方の多様性を知る～ 職種や働き方とは （担当：角光）【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
5) お金の話 ～予算を立てて計画的に～ 計画的にお金を使うことを学ぶ （担当：外部講師）【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
6) Web情報・書籍の活用 Webや書籍の活用方法について考える（担当：角光） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
7) コミュニケーションⅠ（伝える） 自分の想い、考え方の伝え方（担当：角光） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
8) コミュニケーションⅡ（聞く） 聞き方を通してのコミュニケーション （担当：外部講師）【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
9) コミュニケーションⅢ（書く） 書くことを通してのコミュニケーション （担当：角光）【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
10) ワールドカフェ 習得したコミュニケーションを活用する（担当：角光） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
11) インタビュー発表Ⅰ 社会人へのインタビューの発表と振り返り（担当：角光） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
12) インタビュー発表Ⅱ 社会人へのインタビューの発表と振り返り（担当：角光） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
13) インタビュー発表Ⅲ 社会人へのインタビューの発表と振り返り（担当：角光） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
14) キャリア理論 キャリア理論の概要を知る（担当：角光・高山） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート グループワーク
15) 総括（担当：角光・高山） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】小レポートを作成する（90分）		小レポート
授業外学習		
毎授業後、作成するレポートを通して、自身の課題を明確にし、次回の授業への関わりに活かす。 社会人へのインタビューを実施し、レポート作成及び、プレゼンテーションの準備をする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適時資料を配布する。 図書館やキャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にし、自分に合った教材を見つける。		キャリアデザインⅠ、キャリアデザインⅢ、キャリアデザインⅣ、インターンシップⅠ、インターンシップⅡ、インターンシップⅢ

課題に対するフィードバック
小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。
備考

科目名	キャリアデザインIII			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	必修	1	3年	後期
担当者名	角光 通子、高山 智行	関連する資格		

授業概要

将来の進路を見据え、不足している能力や知識を認識し、主体的にその能力や知識の習得に取り組む。グループワークを通して、自己理解を深めると同時に、スピーチ、プレゼンテーションなどを通して、社会人基礎力を育成する。

到達目標

A3801

- 自己の価値観を確立する
- 自己を客観的に分析できる能力の習得
- 仕事を取り巻く社会環境について、理解することができる

成績評価方法

授業への積極的な参加、授業外レポートなどによる総合評価

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート			○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			60
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		10
演習	○	○	○		○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション（担当：角光・高山） 【予習】 【復習】小レポートを作成する（30分）		小レポート
2) 就職活動の全体像を知ろう ～就職活動の現状の理解～（担当：外部講師） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
3) PROGの実施（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート
4) コミュニケーションⅠ（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
5) 自己を知ろうⅠ（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
6) 自己を知ろうⅡ（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
7) コミュニケーションⅡ（相手に伝わる文章）（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
8) PROGの解説（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
9) ワールドカフェ（担当：角光） 【【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
10) 応募書類を作成しよう（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
11) 労働市場を知る ～各業界、地域等の労働市場について～（担当：外部講師） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
12) マナー講座Ⅰ ～マナー全般～（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
13) マナー講座Ⅱ ～就職活動や実習での電話対応～（担当：角光） 【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
14) マナー講座Ⅲ ～就職活動等での身だしなみ～（担当：外部講師） 【【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート グループワーク
15) 総括（担当：角光・高山） 【【予習】事前配布資料を読む（30分） 【復習】小レポートを作成する（60分）		小レポート
授業外学習		
毎授業後、作成するレポートを通して、自己の思いに向き合い、自身の課題を明確にする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適時資料を配布する。 キャリア支援センターにある資料・書籍等を参考にして、自分に合った教材を見つける。		インターンシップ キャリア支援Ⅱ、Ⅳ

課題に対するフィードバック
小レポートは、翌週コメントを付けて返却する。
備考

科目名	インターンシップⅠ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	2年	後期
担当者名	角光 通子、高山 智行	関連する資格		

授業概要

インターンシップとは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。インターンシップでは、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。自身の専攻分野に関わらず、幅広く社会に興味を持つことに視点を置き、多様な選択肢から実習機関を選択、実施することにより、学習の場が社会に繋がっていることを知る。本授業は対面で実施する。

到達目標

ナンバリング(A2802)

- 自分自身で考え、考えた内容を自分の言葉で表現できる。
- 初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。
- 社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。

成績評価方法

事前指導の受講態度、インターンシップ先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○		○	○			10
グループワーク		○	○		○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
10月 オリエンテーション（担当：角光） ～インターンシップの概要について～ 11月 インターンシップ受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備 12月 インターンシップ受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備 1月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2 2月～3月 希望先でのインターンシップ （後期定期試験期間終了後） 3月 インターンシップ報告書の作成・提出（担当：角光・高山） インターンシップの振り返り 報告会		
授業外学習		
希望先について調査し、レポートを作成する。インターンシップを通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。 インターンシップでの日々の振り返りを通して、次のインターンシップにおける行動に活かす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜配布するプリント		キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ インターンシップⅡ、Ⅲ

課題に対するフィードバック
適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。
備考

科目名	インターンシップⅡ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	前期
担当者名	角光 通子、高山 智行	関連する資格		

授業概要

インターンシップとは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。インターンシップでは、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。これまでの学びを深化させると共に、それぞれの業界・職種を理解する一助として、インターンシップを位置づけ、自身の将来の進路について考える機会とする。

到達目標

A3802

- 自分自身で考え、自分の言葉で表現できる。
- 初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。
- 社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。"

成績評価方法

事前指導の受講態度、インターンシップ先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○		○	○			10
グループワーク		○	○				10
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
4月 オリエンテーション（担当：角光） ～インターンシップの概要について～ 5月 インターンシップ受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備 6月 インターンシップ受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備 7月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2 8月～9月 希望先でのインターンシップ （夏季休暇期間中） 10月 インターンシップ報告書の作成・提出（担当：角光・高山） インターンシップの振り返り 12月 報告会（担当：角光・高山）		
授業外学習		
希望先について調査し、レポートを作成する。インターンシップを通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。 インターンシップでの日々の振り返りを通して、次のインターンシップにおける行動に活かす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜配布するプリント		キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ インターンシップⅠ、Ⅲ

課題に対するフィードバック
適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。
備考

科目名	インターンシップⅢ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	1	3年	後期
担当者名	角光 通子、高山 智行	関連する資格		

授業概要

インターンシップとは、「学生が企業や行政機関などの職場において、就業体験を通じて勤労観や職業観を高めるための制度」である。インターンシップでは、学校にはない実際の現場を教育の場として利用し、教室で学習したさまざまな知識を実際に応用するための機会を提供する。本学のインターンシップでは、学生自身に将来の職業適性を考える機会を与え、社会人として必要な責任感や自立心など将来の職業人としての心構えを養う。学生それぞれの専攻分野及び志望するキャリアに関連することを意識して就業体験することにより、これまでの学習内容をさらに充実・深化させ、将来の自身の進路選択に繋げる。

到達目標

A3803

- 自分自身で考え、自分の言葉で表現できる。
- 初対面の人とコミュニケーションを取ることが出来、人間関係が構築できる。
- 社会人として基本的なマナーを習得し実行できる。"

成績評価方法

事前指導の受講態度、インターンシップ先による評価、実習レポート、実習日誌、報告会での報告内容を総合して、評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				20
授業態度・授業参加度					○		10
プレゼンテーション	○		○	○			10
グループワーク		○	○		○		10
演習							
実習	○	○	○	○	○	○	50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
10月 オリエンテーション（担当：角光） ～インターンシップの概要について～ 11月 インターンシップ受け入れ先の選択（担当：角光） 希望先について調査し、レポートを作成 必要書類の準備 12月 インターンシップ受け入れ先の選択・決定（最終）（担当：角光） 必要書類の準備 1月上旬～（集中）マナーの習得（担当：角光） ビジネスマナーの習得その1 ビジネスマナーの習得その2 2月～3月 希望先でのインターンシップ（担当：角光） （後期定期試験期間終了後） 3月 インターンシップ報告書の作成・提出（担当：角光・高山） インターンシップの振り返り 報告会		
授業外学習		
希望先について調査し、レポートを作成する。インターンシップを通じて、自分が習得したいことを事前準備で明確にする。 インターンシップでの日々の振り返りを通して、次のインターンシップにおける行動に活かす。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜配布するプリント		キャリアデザインⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ インターンシップⅠ、Ⅱ

課題に対するフィードバック
適宜、面談又は、提出された課題にコメントにて実施する。
備考

科目名	心理学概論Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	前期
担当者名	梶本 知子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、心理学の歴史・成り立ちと、人の心の基本的な仕組み及び働きについて学び、科学としての心理学を正確に理解することを目的とする。心理学の基礎を形成するための科目で、「心理学概論Ⅱ」と強く関連している。
本講義は対面授業を基本とする。

到達目標

ナンバリング（A1201ab）

- ① 心理学とはどのような学問であるかを説明できる。
- ② 授業で取り上げた専門用語の定義を述べることができる。
- ③ 授業で取り上げた心理学的現象について、心理学の専門用語や理論を用いて説明することができる。
- ④ 心理学的視点で、ものごとをとらえることができる。

成績評価方法

定期試験 55%，授業内ミニレポート（ミニツッペーパー） 15%，宿題（小課題） 30%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)	○	○		○			55
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		15
宿題、授業外レポート	○	○		○	○		30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	心理学とはなにか： 行動と心，心理学とはなにか，心理学の領域と研究方法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	発達心理学①： 遺伝と環境，レディネスと成熟優位説，初期学習と学習発達説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	発達心理学②： 成長と発達，発達の量的変化と質的变化，発達段階説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	学習心理学①： 学習とは，古典的条件づけ，オペラント条件づけ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	学習心理学②： 観察学習，洞察学習，試行錯誤学習，技能学習 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	生理・神経心理学： 生理学的心理学と心理（精神）生理学，神経系の構造と機能，ホメオスタシス 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	感覚・知覚心理学： 感覚と知覚，感覚の特性，知覚の特性 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	認知心理学①： 認知とは，選択的注意，記憶のメカニズム，忘却のメカニズム 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（各々60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	認知心理学②： 言語と概念，ことばの獲得とコミュニケーション，思考と問題解決【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	動機づけの心理学： 動機・誘因と動機づけ，動機と動機づけの種類，マズローの欲求階層説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11)	感情心理学： 感情・情動・気分，感情の古典的理論，感情の種類と発達 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	パーソナリティ心理学①： 気質・性格・パーソナリティ，性格のとらえ方 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	パーソナリティ心理学②： 知能，愛着の発達とパーソナリティ，愛着スタイル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14)	社会心理学： 社会心理学とは，社会的認知，社会的影響，ソーシャル・サポート 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15)	心理学の歴史と展開： 心理学のはじまり，科学としての心理学の展開，心理学の現在とこれから 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
毎回出される小課題（宿題）を行い，その回の授業内容を復習すること。次回の授業内容に示された専門用語について，心理学事典などで事前に調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。		心理学概論Ⅱ 心理学の各専門科目

課題に対するフィードバック
・ ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）への解答は，次回の授業の始めにアナウンスする。 ・ 小課題については，次回の授業始めに答え合わせを行う。 ・ 期末試験については，全体の結果等をフィードバックする。
備考

科目名	心理学概論Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	梶本 知子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理学は「基礎心理学」と「応用心理学」の2領域に大別される。基礎心理学の領域では、こころのメカニズムの法則や理論を探究する。それらを実際の問題解決に役立てたり、広く社会への応用を図るのが応用心理学である。本講義では、教育、臨床、医療、福祉、司法などの領域で、基礎心理学がどのように応用されているかを理解することを目的とする。臨床心理士として携わった精神科病院臨床、およびスクールカウンセラーの活動経験をもとに、臨床心理学、学校心理学および医療心理学について授業を行う。本授業は対面授業を基本とする。

到達目標

ナンバリング（A1202ab）

- ① 授業で取り上げた概念と専門用語の定義を述べることができる。
- ② 授業で紹介した理論やモデルを説明できる。
- ③ 基礎心理学が教育、産業、臨床、医療、福祉、司法の各領域でどのように応用され、役立っているのかについて説明できる。
- ④ 基礎心理学の知識や理論を用いて、自分自身の問題解決を図ることができる。

成績評価方法

期末試験 60%、授業内ミニレポート（ミニツペーパー） 20%、宿題（小課題） 20%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	基礎心理学と応用心理学：心理学の主な領域と諸々科学，心理学における基礎と実践の双方向性と協働 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	教育心理学：教育心理学の領域，学習意欲と学習指導，学級集団の理解，教育評価 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	学校心理学：学校組織の概要，チーム学校とチームワークの形態，学校教育相談，学校心理学の実践【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	家族心理学：家族心理学と家族システム論，家族発達段階と発達課題，家族への支援【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	健康心理学：健康心理学とは，ストレスと健康，健康行動変容モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	産業・組織心理学：ホーソン研究，キャリア形成と支援，職場におけるメンタルヘルス 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	異常心理学：正常と異常，異常心理学と臨床心理学，精神病理のメカニズム 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	臨床心理学①：臨床心理学と心理臨床，臨床心理学における3つの活動と基本モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	臨床心理学②：架空事例から実践活動を理解する 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	医療心理学：チーム医療，予防的アプローチ，患者の心理と心理的支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11)	福祉・障がい心理学：現代社会と福祉，児童福祉，障害の考え方および高齢者の特徴と心理的支援【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	司法・犯罪心理学①：犯罪に関する基礎知識，ポリグラフ検査と虚偽検出 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	司法・犯罪心理学②：環境犯罪学と割れ窓理論，裁判心理学と目撃証言，少年非行の処遇と矯正【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14)	文化心理学：文化心理学と文化的自己観，文化的自己観と性格特徴，個人差及び同性の友人関係の取り方【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15)	まとめ：心理学は社会や暮らしにどのように役に立つのか 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（60分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
毎回出される小課題（宿題）を行い，その回の授業内容を復習すること。次回の授業内容に示された専門用語について，心理学事典などで事前に調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。		心理学概論Ⅰ 心理学の各専門科目

課題に対するフィードバック
・ ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）への解答は，次回の授業の始めにアナウンスする。 ・ 小課題については，次回の授業始めに答え合わせを行う。 ・ 期末試験については，全体の結果等をフィードバックする。
備考

科目名	ビジネス心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	1年	後期
担当者名	高山 智行、海野 博、森本 裕子、 大石 英史	関連する資格	認定心理士	

授業概要

ビジネス心理学は、企業を中心とする様々な組織で働いている人々の行動や経営活動について、心理学の考え方を応用、活用して問題解決を図っていかうとする学問であり、企業で働く人々の誰にでも役立つ実践的な心理学といえる。この講義は学部基礎科目であり、人間行動にかかわる心理学の知識と技術をいかし、人と人、人と集団、集団と集団の相互作用のなかで経営の諸資源を有効に活用して行う活動（ビジネス）において、基礎的な知識を充分獲得しビジネスの現場で有効な活動を展開できる能力を習得させることを目的とする。4名の教員がオムニバス方式で行い、各教員がそれぞれの専門の立場から講義を行う。学生の興味を引き起こし2年次以降の専門科目に導入する1年次の重要科目の一つである。

到達目標

ナンバリング(A1601b)

心理学の知識と技術をいかし、ビジネスの現場で有効な活動を展開できる能力を習得することができる。

(1) 2－5回 経営学と心理学の関係を学び、ビジネスに生かすことができる。(2) 6－9回 人が集団内でどのようにふるまうのかを理解できる。(3) 10－12回 職場のメンタルヘルスを維持・向上させるための考え方と方法を習得する。(4) 13－15回 ビジネス現場においてキャリア発達の視点を取り入れた人材マネジメントを展開するための基本的な知識を習得する。

成績評価方法

定期試験及び(1) 2－5回 授業時間内課題と授業外レポート(2) 6－9回 授業時間内課題(3) 10－12回 授業時間内課題及び授業外レポート(4) 13－15回 授業時間内課題、授業時間外学習課題、レポートにより、総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				25
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ビジネス心理学とは何か（授業の概要）（海野博, 森本祐子, 大石英史, 高山智行） 【予習】 授業計画を把握し参考書を読みビジネス心理学のおおよそを理解しておく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
2)	企業経営、経営管理と心理学（海野 博） 【予習】 『やさしく学べる経営学』第1章を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
3)	人的資源管理と心理学（海野 博） 【予習】 『やさしく学べる経営学』第5章を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
4)	流通、販売、マーケティングと心理学（海野 博） 【予習】 『やさしく学べる経営学』第7、8章を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
5)	リスクマネジメント、企業倫理と心理学（海野 博） 【予習】 『やさしく学べる経営学』第10章を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
6)	集団・組織とは何か（集団の特質）（森本 裕子） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
7)	集団・組織における人間関係（森本 裕子） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
8)	リーダーシップ（森本 裕子） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
9)	組織コミットメント、生産性と組織風土（支持的風土と防衛的風土）（森本 裕子） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
10)	現代若者の職業観とメンタルヘルス（大石 英史） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
11)	ビジネスの現場で求められるコミュニケーション能力とモチベーションマネジメント（大石 英史） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
12)	ストレスマネジメントとしてのセルフケア（大石 英史） 【予習】 事前配布資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	演習
13)	人材育成Ⅰー自己理解（認識）とキャリア形成（高山 智行） 【予習】 事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	グループワーク
14)	人材育成Ⅱー職場定着とキャリア発達（高山 智行） 【予習】 事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	グループワーク
15)	人材育成Ⅲーまとめ、企業組織において心理学的知見がもたらすもの（高山 智行） 【予習】 事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】 復習課題を作成する（90分）	
授業外学習		
講義で学ぶことの予習と復習、および必要に応じて課題を課す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：授業中に資料を配布する。 参考書：海野博他著『やさしく学べる経営学（第2版）』（創成社）、榎本博明著『ビジネス心理学』『仕事で使える心理学』（日経文庫）、二村英幸著『個と組織を生かすキャリア発達の心理学』（金子書房）		心理学概論ⅠⅡ、経営学、キャリアデザインⅠⅡⅢⅣ

課題に対するフィードバック
(全員/第1回)作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。(海野 博/第2～5回)作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。(森本 裕子/第6回～9回)復習課題は翌週の授業で回収の上、解説する。(大石 英史/第10～12回)復習課題は翌週の授業で解説する。(高山 智行/第13～15回)作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。第15回の復習課題については授業時間外に解説を配布あるいは掲示する。
備考
対面授業、遠隔授業については、新型コロナウイルスの状況を踏まえて、各担当者が適宜指示をする。 指示や連絡、教材の配布等については、原則、Google Classroomを利用する。 なお、2～5回の、【予習】時の『やさしく学べる経営学』については、該当ページを配布するが、全ページの配布ではないので、とくに2年次に経営学を履修予定の学生には、購入・購読を勧める。

科目名	健康・医療心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	梶本 知子、小山 典子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、健康心理学と医療心理学という2つの領域について概説する。健康心理学は疾病を予防し心身の健康を増進することを目的とした新しい心理学ないし行動科学であり、基礎研究と実践という2つの領域をもつ。前半の健康心理学の講義では、健康に関連するさまざまなテーマについて行動科学的見地から学習し、自らの健康観を見直し、基礎研究に基づいた実践活動のあり方を考える。

後半の医療心理学では、医療・保健活動が行われている現場や災害時における心理社会的課題および必要な支援について学ぶ。

本講義は対面授業を基本とする。

【実務経験】

担当教員は2名とも公認心理師、及び臨床心理士の資格を有し、病院臨床の経験をもつ。後半の医療心理学を担当する教員は、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動にも携わっており、それらの活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行う。

到達目標

ナンバリング（A3601ab）

- 1) 心理学における健康心理学の位置づけと特徴を説明できる。
- 2) 各テーマに関する知見を説明できる。
- 3) 授業で取り上げた理論やモデルを説明できる。
- 4) 授業で取り上げた理論やモデル、知見を自分自身の健康の維持、増進に役立てることができる。
- 5) 医療・保健分野における心理学的な側面、支援方法を理解し説明できる。
- 6) 災害時など被害者支援における知識・支援方法を理解し説明できる。

成績評価方法

定期試験 40%，授業内レポート（ミニツツペーパーを含む） 35%，宿題（小課題）・授業外レポート 25% で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		35
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	梶本知子（1～8回）健康心理学とは：病気と健康，健康心理学の定義，生物-心理-社会モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（各90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	生活習慣と健康①：生活習慣病とは，体力の構造，身体運動の分類と効果 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	生活習慣と健康②：睡眠・覚醒リズム，睡眠障害と治療法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	ストレスと健康①：ストレスとストレスラー，ストレスの生理的過程 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	ストレスと健康②：トランスアクションル・モデルとコーピング 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	セルフマネジメント：ケアモデルの種類，6ステップ・メソッド 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	健康教育：健康教育の考え方，逆戻り予防モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	行動変容モデル：トランスセオレティカル・モデル（TTM） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	小山典子（9～15回）医療現場における心理社会的課題及び必要な支援① 【予習】多職種連携・協働について調べる（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	レポート
10)	医療現場における心理社会的課題及び必要な支援②—うつ病と健康 【予習】うつ病についての資料を読む（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	レポート
11)	医療現場における心理社会的支援及び必要な支援③—精神科，児童精神科 【予習】心理支援法についての資料を読む（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	レポート
12)	医療現場における心理社会的支援及び必要な支援④—心療内科，さまざまな医療現場 【予習】心身症についての資料を読む（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	レポート
13)	保健活動が行われている現場における心理社会的課題①—さまざまな保健活動 【予習】地域保健活動についての資料を読む（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	個人またはグループワーク
14)	保健活動が行われている現場における心理社会的課題②—ストレスチェック 【予習】ストレスチェックについての資料を読む（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	個人またはグループワーク
15)	災害時等に必要となる心理に関する支援 【予習】サイコロジカル・ファーストエイドについての資料を読む（90分） 【復習】授業内容について復習する（90分）	レポート
授業外学習		
【予習】 各回の授業の最後に、次回授業で扱う概念や専門用語、理論を提示するので、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。 【復習】 疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：必要に応じて資料を配布する。参考文献は授業内で紹介する。		産業・組織心理学、感情・人格心理学、臨床心理学概論

課題に対するフィードバック
・ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）への解答は，次回の授業始めにアナウンスする。 ・小課題については，次回の授業始めに各自で答え合わせを行う。 ・レポートについては，質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。
備考
・期末試験については，全体の結果等をフィードバックする。

科目名	福祉心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	1年	後期
担当者名	木元 卓也、宮崎 博子	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

本授業では①福祉現場において生じる問題及びその背景、②福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援、③虐待についての基本的知識について学ぶ。
 児童福祉分野・家庭福祉分野は、児童福祉施設の実務経験をもとにドメスティック・バイオレンス（DV）及び子ども虐待について解説します。

到達目標

ナンバリング(A1602a)

受講生が福祉心理学の講義を聞いて、自分と共に自分と関わる人たちの幸せ実現を一步でも進めて頂いたら幸いです

成績評価方法

試験及び授業内レポートを総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート	○		○				30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク		○		○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	福祉心理学の授業の進め方（オリエンテーション）：福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の歴史と動向（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】社会福祉の歴史をまとめる（90分）	授業感想シート
2)	福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の理念（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】福祉の理念をまとめる（90分）	小レポート
3)	福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の制度・法律（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】児童福祉関連の法律を調べる（90分）	小レポート
4)	福祉現場において生じる問題及びその背景～社会福祉の職種（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】福祉の施設についてまとめる（90分）	小レポート
5)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉現場における活動の基本（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】エコロジカルモデルを調べる（90分）	小レポート
6)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉分野の活動における倫理（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】自己決定と権利擁護をまとめる（90分）	小レポート
7)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉における心理アセスメント（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】認知症について調べる（90分）	小レポート
8)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～福祉における心理学的支援（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】社会生活技能訓練についてまとめる（90分）	小レポート
9)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～児童福祉分野の活動（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】児童福祉施設を調べる（90分）	小レポート
10)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～家庭福祉分野の活動（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】DVについてまとめる（90分）	小レポート
11)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～高齢者福祉分野の活動（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】高齢者福祉施設を調べる（90分）	小レポート
12)	福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援～障害者福祉分野の活動（宮崎） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】障害者福祉施設を調べる（90分）	小レポート
13)	虐待及び認知症についての基本的知識～虐待（木元） 【予習】テキストを読んでおく（90分）【復習】虐待への対応についてまとめる（90分）	小レポート
14)	虐待及び認知症についての基本的知識～認知症（宮崎） 【予習】認知症について（90分）【復習】認知症への対応についてまとめる（90分）	小レポート
15)	まとめ（木元）	
授業外学習		
積極的な予習・復習による学習が望まれる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：公認心理師スタンダードテキストシリーズ17「福祉心理学」、下山晴彦、ミネルヴァ書房		心理学概論Ⅰ (A1201ab)、心理学概論Ⅱ (A1202ab)、健康・医療心理学 (A3601ab)、教育・学校心理学 (A3602ab)

課題に対するフィードバック
小レポートは翌週にコメントをつけて返す.
備考
4回目、8～10回目、13回目の授業は遠隔で、その他は対面で実施する。（感染状況により変更の可能性があります）

科目名	教育・学校心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	大石 英史、高田 晃	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本授業では、学校教育システムにおける臨床心理学的支援の理論や実践について、スクールカウンセラー、教師、保護者、地域の役割、連携、具体的支援方法など、具体的事例を交えながら考察する。また、不登校、いじめを始めとする、学校における具体的諸問題への対応についても検討する。
 学校教育に活かすことのできる教育心理学の知見を紹介すると共に、児童生徒の発達を支援するための学校教育相談システムについて解説する。
 教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について事例を交えて解説する。

(大石 英史/8回)

教育心理学の知見および学校教育相談システム、多職種連携等について、事例を交えて解説する。

(高田 晃/7回)

教育現場における心理社会的課題及び必要な支援について事例を交えて解説する。

到達目標

A3602ab

- ・より効果の高い教育の在り方について、心理学的な知見から考察する。
- ・教育現場において生じる問題及びその背景を理解する。
- ・教育現場における心理社会的課題を把握し、それに必要な支援の在り方を学ぶ。
- ・インクルーシブ教育やユニバーサルデザイン教育について理解し、学びの困難さを解消するための教育の在り方を考察する。

成績評価方法

- ・定期試験（期末レポート）（30%）
- ・授業内レポート（30%）
- ・授業態度・授業参加度（20%）
- ・グループワーク（20%）

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			30
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		20
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○	○	○		20
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 学校教育の現場における臨床心理士や公認心理師の役割とは（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
2) 日本の歴史と文化から教育を考える ゆとり教育（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
3) 現代社会で求められる幼児教育（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
4) 望ましい早期教育を心の発達から考える アタッチメントの形成（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分）【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
5) 幼児教育における発達障害への支援（早期発見と早期対応）（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
6) 小学校教育における危機と支援（小1・2） 個と集団を考える（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
7) 小学校教育における危機と支援（小3・4） 9歳の危機とは（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
8) 小学校教育における危機と支援（小5・6） 前思春期の課題（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
9) 中学校教育における危機と支援 思春期の課題と支援（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
10) 自己効力感と自己コントロールを育む（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
11) 学校教育相談システムの構築（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
12) 教育の現場で生じる問題 不登校の理解と支援（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
13) 教育の現場で生じる課題 いじめの理解と対応（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
14) 教育の可能性①事例によって多様な教育を考える スクールカウンセラーの活動（担当：高田） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分）【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
15) 教育の可能性②事例によって教育の問題を考える 学校における多職種連携（担当：大石） 【予習】事前に提示したテーマについて調べておく（90分） 【復習】専門語彙を正しく理解し暗記する（90分）		グループワーク
授業外学習		
授業前に指定された資料等を熟読しテーマについて理解しておく。 授業後は授業の復習をして知識の定着を図る。 わからないことは授業後に質問する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
・シリーズ心理学と仕事第7巻 「教育・学校心理学」 石隈利紀・小野瀬雅人編 北大路書房 ・「学校心理学 教師・スクールカウンセラー・保護者のチームによる心理教育的援助サービス」石隈利紀 誠信書房 ・公認心理師スタンダードテキストシリーズ18 「教育・学校心理学」小野瀬雅人編著 ミネルヴァ書房		学習・言語心理学，発達心理学，障害者・障害児心理学 生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ，臨床心理学Ⅰ・Ⅱ、対人関係論

課題に対するフィードバック
授業中の疑問や気づき、及び感想などをの小レポートについて、修正や再度の説明が必要な個所について次回の授業で口頭で説明する。
備考

科目名	心理学研究法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	高山 智行	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

われわれは、ヒトの心の状態あるいはそこにいたる心の仕組みや働きを直接知ることにはできない。心理学研究は、このような心を科学的研究の対象として実証的に捉えるための工夫や試みの積み重ねであり、心理学研究法の理解は、心を科学的に解明していく上での必須の要件といえる。他方、ヒトの心を科学的に解明するためには、様々な場面における人々の振る舞いや応答など取得可能な多様な手がかり（情報あるいはデータ）を利用する必要がある。そのため、個人への対応や得られたデータの取り扱いには最大限の配慮が必要となる。この授業では、心を科学的実証的に研究するための基本的な考え方や方法、並びに実証データの取得や取り扱いに関する倫理規定について、事例を交えながら講義する。

本授業は、原則、対面で実施する。

到達目標

ナンバリング(A2201ab)

- ① 科学研究の枠組みを理解し、科学的心理学の立場を簡潔に要約することができる。
- ② 心理学研究における量的アプローチと質的アプローチ並びにそれぞれのアプローチで用いられる研究方法について概要を理解し、研究対象に合わせて適切なアプローチと方法を選択できる。
- ③ 心理学研究において遵守すべき倫理規定を理解し、自らの学習並びに研究活動において実践することができる。

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間テスト、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート		○	○	○	○		25
宿題、授業外レポート		○	○	○	○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション、科学研究の枠組みと科学的心理学 【予習】「心理学」の学問的立場について概論書を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		
2) 心理学研究における量的アプローチと質的アプローチ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
3) 実験法（1）実験の論理，独立変数・従属変数・剰余変数 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
4) 実験法（2）実験におけるバイアス，実験計画の基礎 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
5) 実験法（3）要因計画 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
6) 実験法（4）さまざまな実験法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
7) 調査法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
8) 中間テストと解説 【予習】これまで配付された資料すべてを読んでおく（180分） 【復習】中間テストで正しくできなかった回答について，再度資料で確認する		
9) 検査法，面接法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
10) 観察法 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
11) 質的アプローチ（1）フィールドワーク、参与観察、インタビュー 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
12) 質的アプローチ（2）グラウンデッド・セオリー・アプローチ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
13) 心理学研究における倫理的配慮（1）事例研究 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		グループワーク 小テスト
14) 心理学研究における倫理的配慮（2）倫理ガイドライン 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		グループワーク 小テスト
15) 研究の実施と結果の解釈における留意事項，まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		
授業外学習		
初回を除く授業への予習と、最終回を除く授業への復習。 具体的内容については授業時に指示する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 高野陽太郎・岡隆（編著）「心理学研究法一心を見つめる科学のまなざし」補訂版 有斐閣、2017 村井潤一郎・藤川麗（編著）「心理学研究法」（公認心理師の基礎と実践〈4〉） 遠見書房、2018		心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験Ⅰ、心理学実験Ⅱ、色彩心理学演習、心理的アセスメント、心理検査法演習

課題に対するフィードバック
復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。
備考

科目名	心理学研究法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

心理学の研究において、実験法や調査法などいずれの方法を用いる場合でも、得られたデータを適切な方法で統計分析することが不可欠である。本授業では、特に質的なデータの分析について体験的に学ぶ。

到達目標

ナンバリング(A2202b)

- ・心理学における実証的研究法を適切に選択、実践できる
- ・倫理指針、インフォームドコンセントなど、研究における倫理的な配慮について理解、実践できる
- ・得たデータをもとに実証的に現象について考察することができる

成績評価方法

演習（40％）、宿題（40％）、授業態度・授業参加度（20％）によって評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			40
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○		○			40
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	研究とは何か、先行研究の調べ方 【予習】自分の興味関心についてよく考え、明確化しておく（90分） 【復習】興味のある論文を入手し、一読する（90分）	演習
2)	研究方法（１）量的アプローチと質的アプローチ 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
3)	研究方法（２）サンプリング、フィールドへのアプローチ、倫理的配慮 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
4)	実験法 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
5)	調査法（１）質問紙の作成方法 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】質問紙データを入力し、担当教員まで送付する（90分）	演習
6)	調査法（２）量的データの分析、考察 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
7)	面接法（１）インタビューの企画 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】インタビューを企画し、お互いにインタビューを実施する（90分）	演習
8)	面接法（２）量的コーディング 【予習】インタビュー内容を文字起こしする（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
9)	面接法（３）質的コーディング 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】インタビュー内容に対して質的コーディングを行う（180分）	演習
10)	面接法（４）質的データの分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】質的コーディングをもとにインタビューを分析する（180分）	演習
11)	面接法（５）質的データの考察 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】分析したインタビューをもとにレポートを書く（180分）	演習
12)	観察法（１）観察法 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】フィールドで何を観察するかについて練っておく（90分）	演習
13)	観察法（２）フィールドワーク 【予習】フィールドで観察するための準備を行う（90分） 【復習】観察データを文章化しておく（180分）	実習
14)	観察法（３）フィールドワーク 【予習】フィールドで観察するための準備を行う（90分） 【復習】観察データを文章化しておく（180分）	実習
15)	観察法（４）観察データの分析、考察 【予習】観察データをコーディングしておく（90分） 【復習】観察データをもとにレポートを書く（90分）	演習
授業外学習		
授業についての予習復習を行うこと。また、授業中に宿題を出すので、必ず次回授業開始時に提出できるようにしておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】授業中に資料を配布する。		心理学研究法、心理学統計法、心理学統計法演習、心理検査法演習、心理学実験Ⅰ、心理実実験Ⅱ、心理的アセスメント

課題に対するフィードバック
入力したデータなどは翌週の授業で資料として用いることがある。
備考

科目名	心理学統計法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	後期
担当者名	高山 智行	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

科学的心理学において、実験や調査で得られたデータの統計処理は必須のものとなっている。この授業では、心理学研究で用いる主要な統計学的手法の理論と方法について、具体的な事例を用いて演習を交えながら解説する。はじめに、実験、調査を行った後に論文にまとめるための具体的流れおよびデータの尺度と処理方法について解説した後、データ分析および検定方法の全般にわたる共通項について説明する。次いで平均値の差の検定で一般的に用いられているt検定および分散分析と、比率の検定について、具体的な事例で説明する。最後に、相関による分析について、二要因（変量）間の相関による単回帰分析と、多要因（変量）間の相関による多変量分析を概説する。多変量分析では、重回帰分析、主成分分析、因子分析、数量化Ⅰ類と数量化Ⅲ類を取り上げる。

本授業は、原則、対面で実施する。

到達目標

ナンバリング (A2203ab)

- ①分析手続きに関する知識とスキルを修得する
- ②統計的指標のもつ意味や分析方法の原理を概念的に理解する
- ③心理学的研究仮説から統計的に検証可能な予測を導き、研究仮説に関して妥当な結論を導くことができる

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間試験、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○	○			50
小テスト、授業内レポート		○	○	○	○		25
宿題、授業外レポート		○	○	○	○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション，心理学研究における統計の意義，測定と尺度 【予習】「心理学研究法」で配布された資料を読み返しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		
2) データの視覚的表現と基本統計量（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
3) データの視覚的表現と基本統計量（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
4) 母集団分布と標本分布，数値変換，推定と検定，比率の差に関する推定と検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
5) 平均値の差に関する推定と検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
6) 分散分析の概要，実験計画と分散分析 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
7) 一要因分散分析，多重比較 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
8) 中間試験と解説 【予習】これまでの授業を復習し，中間試験の準備をする．（90分） 【復習】資料を参照しながら中間試験の問題を再度解答する（90分）		
9) 要因計画：被験者間計画，被験者内計画，混合計画 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
10) 二要因の分散分析と下位検定 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
11) 回帰分析、多変量解析の概要 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
12) 重回帰分析，数量化Ⅰ類 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
13) 判別分析，数量化Ⅱ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
14) 主成分分析，数量化Ⅲ類，因子分析 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		小テスト
15) まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）		
授業外学習		
初回と第8回を除く授業への予習と、最終回を除く授業の復習。 具体的内容については授業時に指示する。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 森敏昭・吉田寿夫（編著）「心理学のためのデータ解析テクニカルブック」北大路書房、1990 有馬哲・石村貞夫（著）「多変量解析のはなし」東京図書、1987	統計学、心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法演習、心理的アセスメント、心理検査法演習、心理学実験Ⅰ、心理学実験Ⅱ	

課題に対するフィードバック
復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。
備考

科目名	心理学統計法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

心理学の研究において，実験法や調査法などいずれの方法を用いる場合でも，得られたデータを適切な方法で統計分析することが不可欠である。本授業では，統計ソフトなどを用いて実際に量的なデータを扱い，心理統計の方法を身につけることを目指す。

到達目標

ナンバリング（A2204b）

- ・統計値について正しく理解できる。
- ・Excelを用いて基本的な統計量を算出できる。
- ・統計ソフトを用いて統計量を算出できる。

成績評価方法

- ・授業への参加と演習への取り組み（50%）
- ・試験（50%）

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○			30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	Excelの使い方、平均値、標準偏差 【予習】Excelに触れ、使い方について調べておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
2)	データの標準化、z検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
3)	相関係数（1）共分散・相関係数 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
4)	相関係数（2）偏相関 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
5)	カイ2乗検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
6)	t検定（1）定数との比較・対応のある場合 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
7)	t検定（2）対応のない場合・無相関検定 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
8)	中間試験と解説 【予習】ここまでの授業内容をしっかり復習しておく（180分） 【復習】解答できなかった、わからなかったところを復習しておく（90分）	演習
9)	分散分析（1）1要因・多重比較 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
10)	分散分析（2）2要因・交互作用 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
11)	分散分析（3） 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
12)	回帰分析（1）単回帰分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
13)	回帰分析（2）重回帰分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
14)	回帰分析（3）ロジスティック回帰分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
15)	因子分析 【予習】事前配布資料を読んで授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	演習
授業外学習		
各授業の予習及び復習をしておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 授業中に資料を配布する。		心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理的アセスメント、心理検査法演習、心理学実験Ⅰ、心理学実験Ⅱ

課題に対するフィードバック
復習課題は、採点し、不備のある場合はコメントをつけて返す。
備考
授業を欠席すると、次回以降の内容が理解できなくなる可能性が高いため、特別の事情がない限り毎回出席すること。

科目名	心理学実験Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	2	2年	前期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理士受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では実際に代表的な心理学実験を実験者・被験者・実験参加者の立場で体験します。この体験の中で、実験の計画立案、統計に関する基礎的な知識を活用してのデータ処理や結果の解釈および考察の方法、実験レポートの書き方を学びます。これらにより、卒業研究に取り組むために必要な技能を習得していきます。

到達目標

ナンバリング（A2205ab）

- ・実験の計画立案ができる。
- ・統計に関する基礎的な知識を活用できる。
- ・実験レポートを適切に作成できる。

成績評価方法

- ・授業および実験への参加と実施（50%）
 - ・実験レポート（50%）
- ＊すべての実験レポート提出を必須とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習	○	○		○			10
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学実験の諸注意 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) レポートの書き方 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】日本語論文を読む（90分）	
3) ミュラー・リヤーの錯視 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
4) ミュラー・リヤーの錯視 ～「目的」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
5) ミュラー・リヤーの錯視 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
6) ミュラー・リヤーの錯視 ～「方法」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
7) ミュラー・リヤーの錯視 ～分析（1要因分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
8) ミュラー・リヤーの錯視 ～「結果」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
9) ミュラー・リヤーの錯視 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
10) ミュラー・リヤーの錯視 ～「考察」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
11) ミュラー・リヤーの錯視 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
12) ミュラー・リヤーの錯視 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
13) 鏡像描写 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
14) 鏡像描写 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
15) 鏡像描写 ～分析（t検定） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
16) 鏡像描写 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
17) 鏡像描写 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
18) 鏡像描写 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
19) 単語の記憶 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
20) 単語の記憶 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験

21)	単語の記憶 ～分析（2要因の分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
22)	単語の記憶 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
23)	単語の記憶 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
24)	単語の記憶 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
25)	ストループ効果 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
26)	ストループ効果 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
27)	ストループ効果 ～分析（2要因の分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
28)	ストループ効果 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
29)	ストループ効果 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
30)	ストループ効果 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習

授業外学習

実施したすべての心理学実験についての小レポート、レポート提出を義務とします。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】木下富雄（代表編集，1990）教材心理学．第4版．ナカニシヤ出版 【参考書】日本心理学会・認定心理士資格認定委員会（編集，2015）実験・実習で学ぶ心理学の基礎、金子書房	心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週ピアレビューを行い、コメントと評価をつけて返す。
レポートは翌週コメントと評価をつけて返す。

備考

- ・実習のため、原則として遅刻・欠席は認められません。
- ・レポート、小レポートの提出は期限厳守です。
- ・出席および実験レポート、小レポートの提出がなければ単位認定されません。

科目名	心理学実験Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	2	2年	後期
担当者名	森本 裕子	関連する資格	公認心理士受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では、心理学実験Ⅰに引き続き、実際に代表的な心理学実験を実験者・被験者・実験参加者の立場で体験します。この体験の中で、実験の計画立案、統計に関する基礎的な知識を活用してのデータ処理や結果の解釈および考察の方法、実験レポートの書き方を学びます。これらにより、卒業研究に取り組むために必要な技能を習得していきます。

到達目標

ナンバリング（A2206ab）

- ・実験の計画立案ができる。
- ・統計に関する基礎的な知識を活用できる。
- ・実験レポートを適切に作成できる。

成績評価方法

- ・授業および実験への参加と実施（50%）
 - ・実験レポート（50%）
- ＊すべての実験レポート提出を必須とする。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		20
演習	○	○		○			10
実習	○	○	○	○	○		10

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）	アクティブラーニング
1) 心理学実験の諸注意 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2) レポートの書き方 【予習】参考書に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】日本語論文を読む（90分）	
3) 触2点関 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
4) 触2点関 ～「目的」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
5) 触2点関 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
6) 触2点関 ～「方法」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
7) 触2点関 ～分析（1要因分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
8) 触2点関 ～「結果」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
9) 触2点関 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
10) 触2点関 ～「考察」の書き方 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
11) 触2点関 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
12) 触2点関 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
13) 性格の認知 ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
14) 性格の認知 ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
15) 性格の認知 ～分析（相関係数） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
16) 性格の認知 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
17) 性格の認知 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
18) 性格の認知 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
19) パーソナルスペース ～実験の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
20) パーソナルスペース ～実験の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験

21)	パーソナルスペース ～分析（2要因の分散分析） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
22)	パーソナルスペース ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
23)	パーソナルスペース ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
24)	パーソナルスペース ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
25)	質問紙調査 ～調査の計画立案 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
26)	質問紙調査 ～調査の実施 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実験
27)	質問紙調査 ～分析（相関係数） 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	実習
28)	質問紙調査 ～解説 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】小レポートを書いてくる（90分）	
29)	質問紙調査 ～レポート指導 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習
30)	質問紙調査 ～自己チェック 【予習】前週に配られた資料に目を通し、授業内容を把握しておく（90分） 【復習】レポートを書いてくる（90分）	演習

授業外学習

実施したすべての心理学実験についての小レポート、レポート提出を義務とします。

テキスト、参考書、教材	関連する科目
【テキスト】木下富雄（代表編集，1990）教材心理学．第4版．ナカニシヤ出版 【参考書】日本心理学会・認定心理士資格認定委員会（編集，2015）実験・実習で学ぶ心理学の基礎、金子書房	心理学研究法、心理学研究法演習、心理学統計法、心理学統計法演習

課題に対するフィードバック

小レポートは翌週ピアレビューを行い、コメントと評価をつけて返す。
レポートは翌週コメントと評価をつけて返す。

備考

- ・実習のため、原則として遅刻・欠席は認められません。
- ・レポート、小レポートの提出は期限厳守です。
- ・出席および実験レポート、小レポートの提出がなければ単位認定されません。

科目名	知覚・認知心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	高山 智行	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

私たちは、多くの事物や出来事に取り囲まれて生活している。その中であって適切に振る舞い対処していくためには、周りの状況や事物や出来事、あるいは自分自身の身体の状態さえも適切に捉えることが必要である。それを支えているのが、感覚、知覚、（狭義の）認知と呼ばれる心の働きである。感覚・知覚・認知は、通常、私たちの周りで発生した刺激（情報）がヒトの感覚器官に受容されるところから始まるが、私たちが経験するのは周りの世界の写しではなく、むしろ経験や知識の関わりにより解釈し構成された世界である。このような感覚、知覚、認知の働きをまとめて心の認知機能という。この授業では、まず初めに、この認知機能の枠組みと特徴、そしてそれらを捉える方法論について解説する。続いて、それら認知機能が外的情報（刺激）と内的情報（記憶・知識）との相互作用の結果としてもたらされるものとして、それを担う感覚・知覚・認知の過程について解説する。

本授業は、原則、対面で実施する。

到達目標

ナンバリング(A2207ab)

- ①認知機能の枠組みとその諸特性を理解し、概説できる
- ②多様な感覚・知覚・認知の現象を知り、それぞれを概説できる
- ③感覚・知覚・認知に関する情報処理モデルの考え方を理解し、概説できる

成績評価方法

授業時間内課題、授業時間外学習課題、中間レポート、定期試験により総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート		○	○				25
宿題、授業外レポート			○		○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、心の仕組みと働き、感覚・知覚・認知 【予習】心理学の概論書から知覚・認知関連の章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
2)	ヒトの認知機能（感覚・知覚・認知）の仕組みと特徴，それらを捉える方法論 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
3)	感覚・知覚の基礎（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
4)	感覚・知覚の基礎（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
5)	高次の知覚と注意（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
6)	高次の知覚と注意（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
7)	表象（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
8)	表象（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
9)	記憶（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
10)	記憶（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
11)	記憶（3） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
12)	問題解決と推論（1） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
13)	問題解決と推論（2） 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
14)	認知と感情 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	小テスト
15)	まとめ 【予習】事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題に解答する（90分）	
授業外学習		
初回を除く授業への予習と、最終回を除く授業の復習。 具体的内容については授業時に指示する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：講義資料を配付する 参考図書： 石口彰（編著）「知覚・認知心理学」放送大学、2019 道又爾他（著）「認知心理学—知のアーキテクチャを探る」有斐閣、2003		脳科学、学習・言語心理学、神経・生理心理学、色彩心理学、色彩心理学演習

課題に対するフィードバック
復習課題への解答は、翌週の授業で配布あるいは解説する。
備考

科目名	学習・言語心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	三島 瑞穂	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この授業では、人の行動や態度を理論的に説明できるようになること、また言語の性質と習得のプロセスを理解することを中心に学ぶ。人間が成長する過程で、学習（経験）が意義深いこと、学習者への援助者としての周囲（応答的環境など）の配慮が大切であることへの理解を深める。日常生活への応用として、学習の原理を活用できるように具体例を考えるといった課題を出す。具体的には以下の内容が予定されている。

① 人の行動が変化する過程

基本的な学習理論や実験に加えて随時新しい知見や研究成果を紹介し、行動の習得と変化の機序を理解する。その上で日常や学校、社会における様々な行動について学習理論を元に理解し、説明できるように取り組む。

② 言語の習得における機序

胎児期から乳児期、幼児期と、言語がどのように修得されるのか、その過程を理解すると共に、応答性や感受性を豊かにすることが言語習得においてどのような影響を持つのかを理解する。また、読字障害、書字障害などの学習障害とその支援の在り方について学ぶ。

③ 学習心理学の知見の応用

学習心理学は行動分析学に取り入れられ、行動療法として広く知られている。行動のメカニズムを理解する上で有効な内容であり、他の分野への応用性も高い。どのように役立つかを体験型のワークを通して実践的に学ぶ。

講義は基本的には遠隔で行うが、3回程度、対面の講義も行う。

質問や相談は対面とメールの両方で対応する。

到達目標

ナンバリング (A2409ab)

- 学習の領域の構成を理解する。
- 人の行動が変化する学習が成立するプロセスを学ぶ。
- 人が言語を修得するプロセスを学ぶ。
- 学習や言語を効果的に習熟する方法について、実験的研究結果から実証的に判断する。
- 身近な実験から帰納する。
- 心理学のモデルと日々の言動を対応づけ、普段から心理学的な思考ができるようにする。
- 言語発達の過程を学び、効果的な習熟過程を考察する中で、人の発達における感受性を豊かにすることや、応答的な学習を促進することの重要性を理解する。
- 学習障害について学び、学習困難の背景を理解する。

成績評価方法

各回のレポートにより、総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							0
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		20
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク							0
演習	○	○	○				10
実習							0

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	日常生活と学習心理学、学習の定義	小レポート作成
2)	学習の条件、学習と教育	小レポート作成
3)	学習の過程、学習曲線	小レポート作成
4)	学習の種類、学習・記憶・思考の神経学的基礎	小レポート作成
5)	学習理論①古典的条件づけ 行動療法への応用	小レポート作成 体験ワーク
6)	学習理論②オペラント条件づけ 行動分析への応用	小レポート作成 体験ワーク
7)	学習理論③洞察、アフォーダンス、認知理論	小レポート作成
8)	学習理論④社会的学習（観察学習と模倣学習、代理性強化）	小レポート作成
9)	日常の態度や行動、学習を学習理論に基づいて理解する	小レポート作成
10)	心理療法と学習心理学	小レポート作成 体験ワーク
11)	技能学習：学習曲線と高原現象、KR、転移	小レポート作成
12)	記憶と学習	小レポート作成 調べ学習
13)	言語発達（発達段階から理解する）	小レポート作成
14)	子どもの効果的な言語習得（感受性と応答性）	小レポート作成 体験ワーク
15)	論理的推論の型	小レポート作成 体験ワーク
授業外学習		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
基本的には教員が用意します。 《参考書》 山内光哉ほか（1985）. グラフィック 学習心理学-行動と認知-サイエンス社 太田信夫・中條和光（2019）学習心理学 北大路書房		「心理学概論Ⅰ・Ⅱ」「認知心理学」 「心理学実験Ⅰ・Ⅱ」「教育心理学」 「臨床心理実習Ⅰ・Ⅱ」

課題に対するフィードバック
課題に対してコメントをつけて返します。
備考

科目名	感情・人格心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	梶本 知子	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

本講義では、感情心理学と人格心理学という2つの領域について概説する。感情心理学に関しては、感情が喚起するメカニズムと感情の理論を理解し、感情が認知・行動に及ぼす影響に関する知見を得る。人格心理学では、人格の形成過程と変容、人格をとらえるための理論、および人格と精神的健康の関係を学び、感情と人格の密接な関連について理解を深める。本講義は対面授業を基本とする。

到達目標

ナンバリング (A2209ab)

- ① 感情が喚起するメカニズムを説明できる。
- ② 感情の諸理論を説明できる。
- ③ 感情が認知と行動に及ぼす影響について理解できる。
- ④ 感情を測定する方法を理解し、各方法のメリットと限界を知る。
- ⑤ 人格という概念について説明できる。
- ⑥ 人格の形成過程と変容について説明できる。
- ⑦ 人格をとらえる諸理論を分類し、各理論を説明できる。
- ⑧ 人格と精神的健康の関係、および人格の異常とはなにかを理解できる。
- ⑨ 人格と感情がどのように関連しているかを理解できる。

成績評価方法

定期試験 60%、授業内ミニレポート（ミニツッペーパー） 20%、宿題（小課題） 20%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	感情とは：感情・情動・気分，感情反応の3成分，感情喚起のメカニズム 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	感情の理論①：感情の古典的理論（抹消起源説・中枢起源説）と2要因説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	感情の理論②：基本的感情説，次元論，感情の進化論 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	感情と認知：感情が記憶と情報処理過程，判断に及ぼす影響 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	感情と行動：視点取得能力，共感と援助行動 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	感情制御：感情特性と感情表出，感情をコントロールする方法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	感情の測定：行動指標，生理指標，認知課題および質問紙を用いた測定法 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	人格の形成①：人格という概念，人格の構造と機能，人格の形成要因 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	人格の形成②：人格の発達と変容，人格における個人差要因 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	人格の形成③：知的機能の個人差要因，知能の障害 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11)	性格の類型論：クレッチマーおよびシェルドンの体型説，ユングの類型論 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	性格の特性論：キャッテルの特性因子論，アイゼンクの特性論，Big Five 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	人格と精神的健康：うつ病と人格，健康な人格 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14)	パーソナリティ障害：遺伝的要因と環境要因，生物学的気質理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15)	総括：感情と人格について 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
【予習】 各回の授業の最後に、次回授業で扱う概念や専門用語、理論を提示するので、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。 【復習】 疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。		心理学概論Ⅰ・Ⅱ，神経・生理心理学，ポジティブ心理学

課題に対するフィードバック
・ ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）への解答は，次回の授業の始めにアナウンスする。 ・ 小課題については，次回の授業始めに答え合わせを行う。 ・ 期末試験については，全体の結果等をフィードバックする。
備考

科目名	神経・生理心理学						
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
講義	選択	2		2年	前期		
担当者名	酒木 保		関連する資格		公認心理師受験資格 認定心理士		
授業概要							
世界との接点を持つにあたって、人間の入力から出力までのプロセスを想定し、どのような過程を経るのかを、感覚・知覚過程、記憶・思考過程、言語過程をへるに当たっての手順について、資料をもとに説明していく。							
実務経験							
臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 神経心理学とは 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
2) 脳のしくみ 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
3) 神経心理学の方法 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		1) ～3) レポート
4) 視覚の障害(1) 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
5) 視覚の障害(2) 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		4) ～5) レポート
6) 認知と注意の障害 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
7) 言語の障害(1) 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
8) 言語の障害(2) 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		6) 及び、7) ～8) レポート
9) 半球差について 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
10) 記憶の障害(1) 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
11) 記憶の障害(2) 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		10) ～11) レポート
12) 情動の障害 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
13) 精神疾患と脳 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
14) 睡眠と脳 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		
15) 神経心理学的リハビリテーション 配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（60分） 授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく。（30分）		総合レポート
授業外学習		
授業に際し、あらかじめテーマとなる神経・生理心理学上の問題について事前学習しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 特に定めない。 【参考書】 利島保（編）（2006）． 脳神経心理学 朝倉書店		「知覚心理学」，「学習心理学」， 「生涯発達心理学」，「認知心理学」

課題に対するフィードバック
課題については、コメントをつけて返却する。
備考

科目名	発達心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	梶本 知子、大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

人間の発達とは、生涯にわたり、質的・量的に変化していく「連続した過程」として捉えられる。また、各発達の段階には、達成すべき課題があり、それらを遂行していく過程とも捉えられる。本講では、こうした視点を踏まえ、出生から死に至るまで人生で生じる心の変化を概観し、発達障害とその支援についても理解を深める。なお、人間の発達を実感できるようにビデオやDVDなどの視聴覚教材を適宜活用する。
授業は対面授業を基本とする。

到達目標

ナンバリング(A2211ab)

- ① 人の発達をライフサイクルの視点からとらえ、変化のプロセスを説明できる。
- ② 各発達段階における特徴と課題を説明できる。
- ③ 認知機能の発達及び感情・社会性の発達について説明できる。
- ④ 自己と他者の関係の在り方と心理的発達について説明できる。
- ⑤ 高齢者の心理について説明できる。
- ⑥ 誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達について説明できる。
- ⑦ 発達障害等非定型発達に関する基礎的な知識及び考え方について説明できる。
- ⑧ 発達に関する知識を用いて自己理解を深めることができる。

成績評価方法

定期試験50%、授業内ミニレポート（ミニッツペーパー）30%、宿題（小課題）20% で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	（梶本知子／第1～3回）ライフサイクルからみた発達：生涯発達、発達段階と発達課題【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	発達の生物学的側面：脳の発達、出産周辺期までの発達、周産期障害【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上）【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	発達の心理・社会的側面：遺伝と環境、レディネスと早期教育、初期学習【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上）【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	（大石英史／第4～10回）乳児期：乳児のコミュニケーション能力、マザリングとアタッチメント、情動と関心の共有、探索行動【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	幼児前期：模倣としぐさの共有、しつけと意志の発達、言葉のはじまり、発達の臨界期【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	幼児後期：認知機能の発達と感情・社会性の発達、自己と他者の関係の在り方と心理的発達、現代日本の子育て状況【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	学童期：小学校という場、学びと遊びの世界、書き言葉の大切さ、論理の発達、9歳の壁【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読で知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	思春期：仲間関係と自己形成、心の問題の顕在化、性と恋愛、不登校現象、仲間関係といじめ【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	青年期：アイデンティティの形成、親子関係の変化と自立、現代大学生の青年期モラトリアム【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	成人前期：職業選択とキャリア形成、青年期の延長、ライフコースの選択、社会的役割【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論を調べる【復習】資料再読により知識を定着させ課題を発見する（各々90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11)	（梶本知子／第11～15回）成人後期：中年期の危機、老化と心理社会的・認知的変化、老年期への移行【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（各々60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	老年期：知的発達、自伝的記憶と回想、老化のとらえ方、サクセスフルエイジング【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上）【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	生涯発達のプロセス：成人とおとな、職業的発達、家族の発達段階【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上）【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14)	発達の障害と臨床：特別な発達ニーズ、発達障害に対する支援【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上）【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15)	発達現象の特徴と研究方法：発達加速現象、発達の法則、横断的・縦断的方法【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（60分以上）【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（60分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
授業で配布されるプリントを用いたり、小課題（宿題）を行うことで、その回の授業内容を復習すること。次回の授業内容に示された専門用語について、心理学事典などで事前に調べておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。必要に応じて、授業内で参考文献を紹介する。 参考書：坂上裕子・山口智子・林創・中間玲子著「問いからはじめる発達心理学」有斐閣（大石担当回）		心理学概論Ⅰ・Ⅱ、生涯発達心理学Ⅰ（乳幼児期）、生涯発達心理学Ⅱ（児童期・青年期）、生涯発達心理学Ⅲ（成人期・老年期）

課題に対するフィードバック
・ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）への解答は，次回授業の始めにアナウンスする（梶本担当回）。 ・小課題について，次回授業の始めに答え合わせをする（梶本担当回）。 ・宿題、授業外レポートについては次回の授業で解答例を提示する（大石担当回）。 ・授業に関する質問、資料について補足説明が必要な個所については、次回の授業で口頭で説明する（大石担当回）。
備考
・期末試験については，全体の結果等をフィードバックする（梶本担当回）。

科目名	生涯発達心理学Ⅰ（乳幼児期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	太田 列子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

生涯発達心理学（Life-span Developmental Psychology）とは、人の受胎から死までの生涯に渡って、人間の心身の発達やメカニズムを研究する学問である。発達とは、未熟なものがより成熟した状態になることであるとするならば、人間の精神は生涯にわたって発達し続ける可能性がある。本講義では、生物-心理-社会モデル（Bio-Psycho-Social model）に基づき、エリクソン（Erikson, E.H.）のライフサイクル（life cycle）の観点から、人生の最初期である乳幼児期における心理的な特徴と発達課題を理解し、乳幼児の成長発達を促進する要因ならびに阻害する要因について概観する。

前半は、乳児期から児童期までの人間の各機能の発達を解説していく。後半は、発達過程の中で顕わになる子どもの社会適応上の問題を解説し、より良い発達援助の在り方を学んで行く。具体的には、乳幼児期の子どもの心理について、発達心理学をはじめとして、学習心理学や教育心理学の基本的知識の他、自閉スペクトラム症や学習障害などの発達障害の理解、虐待への対応など、子どもを取り巻く困難について、当事者のインタビューや最新の知見を交えて学ぶ。

到達目標

A3201b

本講義の到達目標は、受講生が①乳幼児期の人間の発達過程及び各機能の発達について、生涯発達心理学の観点から系統的に理解すること、②乳児期から児童期までの子どもの適応上の問題や発達課題と発達援助の在り方を理解すること、③人間の発達、成長にどのような因子が大きな影響を与えているのかについて理解することである。

成績評価方法

授業中の小レポート、受講態度（グループワークへの参加を含む）、発表（プレゼンテーション）、期末試験により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				10
宿題、授業外レポート	○	○	○				10
授業態度・授業参加度			○	○	○		10
プレゼンテーション			○	○	○		10
グループワーク			○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション：生涯発達心理学とは何かー心理学より見た人間の発達 【予習】テキスト第1章を読んで?おく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	グループワーク（ディスカッション）
2)	発達の基礎理論ー遺伝と環境 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
3)	命の始まりー受精から誕生まで 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
4)	新生児・乳児期の発達と発達特性 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
5)	関係性の中に誕生するー母性本能と情動調律 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
6)	共感、自己・他者のこころを理解するーこころの理論 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
7)	愛着の発達ーアタッチメント理論の第2段階 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
8)	身体と運動機能の発達 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
9)	社会性の発達 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
10)	認知・ことば・自己意識の発達 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	ミニッツペーパー（授業内ミニレポート）
11)	情動・遊びの発達 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	グループワーク（ロールプレイ）
12)	子どもの適応と臨床1ー発達障害 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	グループワーク（ディスカッション）
13)	子どもの適応と臨床2ー虐待とトラウマ 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	グループワーク（ディスカッション）
14)	子どもの適応と臨床3ー発達支援 【予習】講義内で?配布した資料とテキストの当該箇所を読んでおく(60分) 【復習】当日の学習内容を確認する(30分)	グループワーク（ロールプレイ）
15)	まとめ：子どもの発達 【予習】14回までの講義内容を確認し、質問できるようにしておく(60分) 【復習】乳幼児期の生涯発達について確認する(30分)	プレゼンテーション、小テスト
授業外学習		
各自が選んだテーマについて、授業時間外に調べたことを基にディスカッションを行う。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：発達心理学（第12巻 公認心理師の基礎と実践） 本郷 一夫 遠見書房 参考書：よくわかる乳幼児心理学（やわらかアカデミズム・わかるシリーズ）内田 伸子（編集）ミネルヴァ書房		発達心理学、生涯発達心理学Ⅱ（児童期・青年期）、生涯発達心理学Ⅲ（成人期・老年期）、教育・学校心理学

課題に対するフィードバック
授業内ミニレポートは、次回授業時にコメントする。 ロールプレイ、ディスカッション、プレゼンテーションについては、適宜解説を行い、優れた点や留意点等について、授業時間内に口頭でフィードバックする。
備考
授業に際しては、講義だけでなく、ビデオ視聴やグループワーク等により、視覚的・感覚的にも理解を深める。

科目名	生涯発達心理学Ⅱ（児童期・青年期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	梶本 知子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

本講義では、児童期と青年期の心身の発達をライフサイクルの視点から学び、理解を深めることを目的とする。また、児童期と青年期に生じやすい心理社会的な問題と、それに対する支援方法についても紹介する。

到達目標

ナンバリング（A3202b）

- ① ライフサイクルの視点から、児童期から青年期までの発達の特徴をとらえられる。
- ② 児童期から青年期における発達のプロセスを、身体的側面、認知的側面、社会的側面から理解できる。
- ③ 児童期と青年期各々の発達課題について説明できる。
- ④ 児童期と青年期における心理的問題と、それに対する支援方法や心理療法について理解できる。

成績評価方法

定期試験 60%，授業内ミニレポート（ミニツッペーパー） 20%，宿題（小課題） 20%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合（%）
定期試験(中間・期末)	○	○		○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	児童期と青年期の特徴：児童期と青年期における発達の特徴と発達課題 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	思考の発達①：ピアジェの思考発達段階説（1） 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	思考の発達②：ピアジェの思考発達段階説（2） 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	心の理論の発達：自己と他者の心の理解の発達プロセス 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	記憶と認知の発達：ワーキングメモリ（作動記憶）とメタ認知の発達 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	社会性の発達：社会性発達の過程、自己制御機能の発達と仲間関係 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	自我の発達①：自我の発達と自己像の形成 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	自我の発達②：児童期から青年期への移行過程での身体的変化と自己の発見 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	自我の発達③：自己の確立とパーソナリティの二重性の統合 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	青年期の発達課題：アイデンティティの獲得と性役割 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
11)	青年期における対人関係①：親子関係の変化と親からの自立 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	青年期における対人関係②：孤独感の発達と友人とのつながり 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	児童・青年期における学校適応の問題：いじめと不登校に対する支援 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
14)	青年期における心理臨床：自己成長のためのアプローチと心理治療モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
15)	成人期への移行期：ライフコースの選択 【予習】授業で扱う概念や専門用語、理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め、概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
補足【予習】 各回の授業の最後に、次回授業で扱う概念や専門用語、理論を提示するので、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。 追加【復習】 疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。		心理学概論Ⅰ・Ⅱ，発達心理学，生涯発達心理学Ⅰ（乳幼児期），生涯発達心理学Ⅲ（成人期・老年期）

課題に対するフィードバック
・ ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）に書かれた質問について，次回の授業始めに口頭で解答し説明する。 ・ 宿題の小課題は，次回の授業で答え合わせを行う。
備考

科目名	生涯発達心理学Ⅲ（成人期・老年期）			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	岡村 佳子	関連する資格	認定心理士	

授業概要

乳幼児期・児童期・青年期・成人期を経て積み上げてきた発達段階の最終ステージにあたる高齢期。いわば人生の集大成といえるこの時期を生きる人について、身体特性・知的特性・パーソナリティーの変容を踏まえて理解する。また、この時期に発症リスクの高まる認知症についての理解を深める。
さらに、サポートネットワークの必要性を学ぶと共に、支援者としての視点について理解する。

現在進行形で進む超高齢化社会において、高齢者への心理的支援のニーズが高まっている。
老年期の心の発達の課題を理解し、心理学的知識に基づくアプローチや支援方法について知る。

認知症精神科医療の実務経験をもとに、高齢者に対する心理臨床について授業を行う。

到達目標

A3203b

- ①老年期心性について、身体的側面・知的側面・パーソナリティ側面の特徴を踏まえて理解する。
- ②認知症の概念・定義・臨床像・神経学的症状・検査法（神経心理学的査定法も含む）・老年期に好発するその他の精神病との鑑別・心理療法的アプローチおよびその他の非薬物的療法・マネジメントについて知る。
- ③高齢者との円滑なコミュニケーション技術について学ぶ。
- ④高齢者の尊厳・生命倫理について、特に心理的視点から考えることができる。
- ⑤高齢者に関する法制度（成年後見など）について知る。
- ⑥高齢者のニーズおよび高齢者に関わる他職種について知る。

成績評価方法

定期試験、授業内小レポート、グループワークにより評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○	○		20
演習	○			○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	生涯発達心理学について 概説と、成人期・老年期の位置づけ【予習】エリクソンの発達段階に目を通しておく(10分)【復習】各々の発達段階における課題をまとめる(30分)	小レポート
2)	老年期心性について① 身体的側面・知的側面・パーソナリティ側面の変容とその特徴【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
3)	老年期心性について② 老いを生きるということ【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
4)	高齢者とのコミュニケーション技術 シニア・シミュレーターを用いた疑似体験・主に視覚・聴覚・発話機能からみたコミュニケーション障害について【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
5)	認知症について① 概説【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
6)	認知症について② 臨床像・神経心理学的症候・BPSD【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
7)	認知症について③ 神経心理学的検査法Ⅰ（基礎編）【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える（30分）	演習 小レポート
8)	認知症について④ 神経心理学的検査法Ⅱ（応用編）【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	演習 小レポート
9)	認知症について⑤ 老年期に好発するその他の精神病について【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
10)	認知症について⑥ 心理療法的アプローチⅠ（基礎編）【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
11)	認知症について⑦ 心理療法的アプローチⅡ（応用編）予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
12)	認知症について⑧ その他の非薬物的療法・マネージメント・家族へのアプローチ【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
13)	高齢者の尊厳 生命倫理・死生観【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	グループワーク 小レポート
14)	高齢者に関する法制度 【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
15)	高齢者のニーズ 高齢者に関わる他職種と協働について【予習】課題は全講義時に伝える(10分)【復習】当日の講義終了時に伝える(30分)	小レポート
授業外学習		
授業内容に関連するテーマで、興味関心のある事柄やキーワードを考えておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：必要に応じて資料を配布する。		心理学概論Ⅰ・Ⅱ、発達心理学、生涯発達心理学Ⅰ（乳幼児期）、生涯発達心理学Ⅱ（児童期・青年期）

課題に対するフィードバック
授業内の小レポート提出に対して、講師がコメント記載したものを次回生徒に返却する。
備考

科目名	経営組織論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	海野 博	関連する資格		

授業概要

この講義では、当該科目がビジネス心理関係科目であることを念頭に、経営学の学修成果のうえに企業の経営組織に焦点を当てて、組織の基本、変遷、発展、学説などのほか、経営者のリーダーシップの重要性等について学び、専門科目である経営組織論をしっかり学び身につけることを主眼としている。地域の企業や老舗企業、さらに非営利組織についても言及する。また、講義が抽象的にならないよう、新聞や雑誌の経営関係記事、新聞社や企業のホームページを積極的に利用して具体的な企業組織を取り上げ、理論と実例の両側面から授業を展開していく。

到達目標

ナンバリング（A3603）
経営学の学修成果に加えて、経営組織の基本、発展、学説及び実際の企業の経営組織について、それらの知識を十分に身につけ、その重要性を他者に説明することができる。

成績評価方法

定期試験及び授業内小テスト、復習課題の提出にもとづき、総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート	○	○	○				25
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		25
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	経営組織論を学ぶ（イントロダクション） 【予習】授業計画を把握し経営組織論のおおよそを理解しておく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	グーグルクラスルームを併用し、復習課題についてグーグルクラスルームで提出する。
2)	経営組織の基礎概念 【予習】『やさしく学べる経営学』第4章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
3)	経営戦略と経営組織 【予習】『やさしく学べる経営学』第4章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
4)	経営組織の基本と発展 【予習】『やさしく学べる経営学』第4章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
5)	組織形態（1） ラインスタッフ制等 【予習】『やさしく学べる経営学』第4章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。 小テストの実施。
6)	組織形態（2） 事業部制等 【予習】『やさしく学べる経営学』第4章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
7)	経営組織の学説 【予習】『やさしく学べる経営学』第4章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
8)	経営組織と人的組織・人的資源管理① 【予習】『やさしく学べる経営学』第5章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
9)	経営組織と人的組織・人的資源管理② 【予習】『やさしく学べる経営学』第5章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
10)	老舗企業と経営組織 【予習】事前配付資料を読むこと、及び指定した企業のサイトを調べておく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。 小テストの実施。
11)	企業グループと経営組織 【予習】事前配付資料を読むこと、及び指定した企業のサイトを調べておく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
12)	地域企業の経営組織 【予習】事前配付資料を読むこと、及び指定した企業のサイトを調べておく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
13)	非営利の経営組織 【予習】『やさしく学べる経営学』第2章と事前配付資料を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
14)	経営者とリーダーシップ 【予習】『やさしく学べる経営学』第3、10章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
15)	企業経営と組織・人材の重要性（まとめ） 【予習】『やさしく学べる経営学』第3、4、5章を読んでおく（90分） 【復習】復習課題を作成する（90分）	復習課題についてグーグルクラスルームで提出。
授業外学習		
講義で学ぶことの予習と復習。テキストの該当章をしっかりと読むこと。 加えて、復習課題の作成。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：海野博他著『やさしく学べる経営学（第2版）』（創成社） 参考書：生方正也著『ビジネス理論（人と組織編）』（日本能率協会マネジメントセンター）、田尾雅夫編『よくわかる組織論』（ミネルヴァ書房）、稲葉祐之他著『キャリアで語る経営組織』（有斐閣）		ビジネス心理学概論、経営学、産業・組織心理学

課題に対するフィードバック
小テストと定期試験は原則返却する。作成した復習課題は翌週の授業で解説または評価する。第15回の復習課題については授業時間内に解説する。
備考
原則、対面授業で実施するが、新型コロナの感染状況次第で、遠隔授業を実施することもある。その場合にも、グーグルミー トを用い、正味90分の授業を行う。「事前配付資料」がある場合には、グーグルクラスルームにて配布（添付）する。

科目名	組織行動論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

人が働く中でどのようにしたら個人のモチベーションや職務満足度は高まるのだろうか。欠勤や離職など組織にとって望ましくない態度や行動はどうして生じるのか等について、心理学や社会心理学、社会学などの学際的知見を応用し解決をはかるのが組織行動論である。この講義では、組織の中で人が個人として、集団としてどのような態度をとり行動するかについて、第一に、組織の中での個人のモチベーション論を、第二に指導者のリーダーシップ論を、そして、第三に、集団のなかのコンフリクトと集団的意思決定論についてその基礎概念や基本理論の学習を通じて理解を深める。

到達目標

A3604
組織と人の関わりや組織における人間行動の基本的知識を体系的に理解するのが、この講義の目的です。
今後は、この知識をベースにして自分のコミュニケーション能力とマネジメント能力を磨いて下さい。

成績評価方法

定期試験を実施します。
宿題、授業外レポートの提出を課す場合があります。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○	○				0.5
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○				0.3
授業態度・授業参加度					○		0.2
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	1. 組織行動論とは 1-1. 組織とは何か 1-2. 組織と人間との関わり	
2)	2. 仕事へのモチベーション その1 2-1. モチベーションとは 2-2. 目標とモチベーション	
3)	3. 仕事へのモチベーション その2 3-1. 内発的モチベーション	ワークモチベーションの内容要約のレポート提出
4)	4. 組織コミットメントと組織的公平 その1 4-1. 組織コミットメントに影響を与える諸要因	
5)	5. 組織コミットメントと組織的公平 その2 5-1. 組織的公平とはなにか	組織コミットの内容要約のレポート提出
6)	6. リーダーシップとは その1 6-1. リーダーシップ論の所説	
7)	7. リーダーシップとは その2 7-1. リーダーとメンバーの交流 7-2. 信頼とリーダーシップ	リーダーシップの内容要約のレポート提出
8)	8. 意思決定と合意形成 その1 8-1. 意思決定におけるヒューリスティックとバイアス 8-2. 合意形成と第三者による支援	
9)	9. 意思決定と合意形成 その2 9-1. コミュニケーション戦略 9-2. 組織文化の力	組織的意思決定と合意形成の内容要約のレポート提出
10)	10. 組織開発 10-1. 組織学習について 10-2. 組織変革について	組織開発の内容要約のレポート提出
11)	11. ダイバーシティ・マネジメント 11-1. ダイバーシティ・マネジメントの必要性 11-2. ダイバーシティ・マネジメントの課題	
12)	12. プロフェッショナル・マネジメント 12-1. プロフェッショナル・マネジメントの必要性 12-2. プロフェッショナル・マネジメントの組織化	
13)	13. 日本的経営について 13-1. 日本的経営の課題 13-2. 日本的経営の今後	日本的経営の内容要約のレポート提出
14)	14. キャリア・マネジメント 14-1. キャリアとは 14-2. キャリア・マネジメントの今後の課題	
15)	15. 全体のまとめ	
授業外学習		
予習の必要は有りません。しかし、しっかり復習をして下さい。復習は、レポート作成時にできると 思います。レポート作成時に必要な情報が不足している場合には、図書館の関連本で補って下さい。 インプットとアウトプットの学習サイクルを維持・継続することが必要です。レポート作成には60分 以上は時間をかけて下さい。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しません。講義の前にレジメを配布します。 参考書は、図書館の関連本を探して下さい。		経営組織論

課題に対するフィードバック
レポートを作成する際に必要なメイン・キーワードを数個提示します。それらを使ってレポートを作成して下さい。提出したレポートは返します。その際、コメントを付けておきます。粗雑なレポートは再度の提出を要請する場合があります。
備考

科目名	経営戦略論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

1960年代から企業の多角化が急速に進展する中、個々の事業を束ね企業の進むべき方向性を明示することが重要になってきた。このような状況下で経営学の学問分野でも経営戦略論が注目されるようになってきた。
 経営戦略論とは、企業が環境変化に対応しながら企業目標を達成する方法を探究する学問である。
 今日、経営戦略論は、企業活動全体に関する企業戦略論と多角化した事業分野ごとの事業戦略論に分けられる。また、理論展開としては、企業の外部環境に焦点を当てた分析型のポジショニングベースアプローチと企業内部の経営資源に焦点をあてた資源ベースアプローチに集約できる。
 この2つの戦略理論を中心に学習を進めていく。

到達目標

A3605
 経営戦略の分析ツールを使って実際に企業診断が出来ることです。
 全社戦略のレベル、事業戦略のレベル、機能戦略のレベルでそれぞれ分析ができることが理想です。

成績評価方法

定期試験を実施します。
 また、講義のの後半で、企業のケース分析をしてもらいます。
 この企業診断の結果を提出してもらい、この評価も成績評価に加算します。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					0.4
小テスト、授業内レポート	○	○	○				0.3
宿題、授業外レポート	○	○	○				0.3
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	経営戦略とは何か	
2)	SWOT分析の概要	
3)	全社戦略について、その1 ドメインの設定	
4)	全社戦略について、その2 製品ー市場戦略	全社戦略の内容要約のレポート提出
5)	事業戦略について、その1 ポーターのファイブフォースモデル	
6)	事業戦略について、その2 コトラーのポジショニング	
7)	事業戦略について、その3 経済性分析による競争戦略	事業戦略の内容要約のレポート提出
8)	機能戦略、その1 販売戦略	企業のケース分析その1
9)	機能戦略、その2 技術戦略	
10)	機能戦略、その3 生産戦略	企業のケース分析その2
11)	機能戦略、その4 組織戦略	企業のケース分析その3
12)	機能戦略、その5 財務戦略	
13)	機能戦略、その6 その他の戦略	企業のケース分析その4
14)	新しい戦略の流れ、その1 コーポレート・ガバナンス	
15)	新しい戦略の流れ、その2 共創戦略	
授業外学習		
予習の必要は有りません。しかし、復習をしっかりとってください。復習は、レポートの作成時にできると思います。レポート作成に必要なキーワードを提示しますので、それらを使って作成して下さい。知識が不足している場合には、図書館の関連本で補って下さい。60分以上は時間をかけて下さい。 インプットとアウトプットの作業を繰り返せば理解は深まります。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しません。講義の前にレジュメを配布します。 参考書は、図書館で経営戦略の関連本を探してください。		マーケティング論、経営組織論

課題に対するフィードバック
授業中に企業のケース分析を行います。各機能戦略のレベルで実施したいと思います。このケースの分析結果も提出してもらいます。 分析内容については、授業中に解析します。
備考

科目名	色彩心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	酒木 保	関連する資格	認定心理士	

授業概要

この講義では色彩心理学や印象やイメージに関する心理学の知見を中心に紹介する。これにより、商品開発やP R活動、プレゼンテーションにおける印象形成のメカニズムについて学ぶ。

到達目標

ナンバリング（A3606b）

色彩は色相・彩度・明度からなる。これらの特性をきちんと理解すること。さらに、様々な事象に対してこの3つの属性を操作し、色彩応用の理解を促す。

成績評価方法

色彩を用いた作品を作成する。それが評価対象となる。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○			○	○		50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○				25
プレゼンテーション				○			25
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	色彩の基本特性について理解する 【予習】色彩の基本特性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
2)	色彩の基本特性である色相、彩度、明度について理解する。 【予習】色の三属性について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
3)	色彩の知覚特性である視認性について理解する。視認性について基礎知識を学ぶ。 【予習】色彩の知覚特性について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
4)	色彩の知覚特性である視認性について理解する。 視認性について応用を学ぶ。（Ⅰ）【予習】視認性について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
5)	色彩の知覚特性である視認性について理解する。 視認性について応用を学ぶ。（Ⅱ）【予習】視認性について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
6)	色彩の知覚特性である視認性について理解する。 視認性について応用を学ぶ。（Ⅲ）【予習】視認性の応用について調べる（60分） 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
7)	色彩の視知覚特性である可読性について理解する。 可読性について基礎知識を学ぶ。【予習】可読性について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
8)	色彩の視知覚特性である可読性について理解する。 可読性について応用を学ぶ。（Ⅰ）【予習】可読性の応用について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
9)	色彩の視知覚特性である可読性について理解する。 可読性について応用を学ぶ。（Ⅱ）【予習】可読性の応用について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
10)	色彩の視知覚特性である可読性について理解する。 可読性について応用を学ぶ。（Ⅲ）【予習】可読性の応用について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
11)	色彩の視知覚特性である誘目性について理解する。 誘目性について基礎知識を学ぶ。【予習】誘目性について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
12)	色彩の視知覚特性である誘目性について理解する。 誘目性について応用を学ぶ。（Ⅰ）【予習】誘目性の応用について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
13)	色彩の視知覚特性である誘目性について理解する。 誘目性について応用を学ぶ。（Ⅱ）【予習】誘目性の応用について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
14)	色彩の視知覚特性である誘目性について理解する。 誘目性について応用を学ぶ。（Ⅲ）【予習】誘目性の応用について調べる（60分）【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	ショートレポートの提出
15)	全体の総括 【復習】授業の内容でわからなかった用語を調べる（60分）	
授業外学習		
道路標識・信号機を実際場面において、色彩の色覚特性がそのように応用されているかを知る。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
その都度、プリントを配布する		知覚・認知心理学

課題に対するフィードバック
ショートレポートの内容（質問・意見）について、全体にフィードバックする。
備考

科目名	色彩心理学演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	後期
担当者名	酒木 保	関連する資格	認定心理士	

授業概要

この講義では「色彩心理学」に引き続き、印象的なデザインやPR方法、プレゼンテーションの工夫について演習を通して、実践的に学ぶ。

到達目標

ナンバリング（A3607b）
色彩の3属性をきちんと理解し、それらを操作して色彩知覚にどのような影響が及ぶかを知る。

成績評価方法

色彩を用いて、具体的な作品を造成する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○	○		50
実習			○	○	○		50

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 色彩に対する理解		その都度、ショートレポートの提出
2) 色彩の3属性について理解する 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
3) 交通事故防止のための色彩利用Ⅰ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
4) 交通事故防止のための色彩利用Ⅱ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
5) 交通事故防止のための色彩利用Ⅲ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
6) ヒューマンエラーを避けるための工夫Ⅰ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
7) ヒューマンエラーを避けるための工夫Ⅱ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
8) ヒューマンエラーを避けるための工夫Ⅲ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
9) 危機管理と色彩についてⅠ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
10) 危機管理と色彩についてⅡ. 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
11) 色彩と身体機能に関する関係についての理解 1. 心拍変動 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
12) 色彩と身体機能に関する関係についての理解 2. 自律神経 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
13) 色彩と身体機能に関する関係についての理解 3. 脳波 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
14) 色彩と身体機能に関する関係についての理解と応用 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		その都度、ショートレポートの提出
15) 総括 【復習】演習内容をレポートにまとめる（60分）		ディンカッション
授業外学習		
身近に体験する、交通事故や作業時における事故について、その防止法について考える。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
その都度、資料を配布する	色彩心理学、知覚・認知心理学	

課題に対するフィードバック
ショートレポートの内容（質問・意見）について、全体にフィードバックする。
備考

科目名	ストレス・マネジメント論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	大石 英史	関連する資格		

授業概要

本授業では、現代社会においてストレスの問題がどのように現れているのかについて考えるとともに、ストレス研究の成り立ち、ストレスがどのような過程を経て我々の心身に影響を及ぼすのか、認知的評価とストレスとの関係などについても理解を深める。また、フォーカシング、マインドフルネスなど自己理解のための演習や様々なストレス対処法についても体験的に学んでいく。実践的・体験的な理解を深めるために、適宜、ビデオやDVDなどの視聴覚教材を使用する。

到達目標

A3608

- ・ストレスとストレス反応、コーピングについて説明できること。
- ・自分自身のストレスに気づき、自分でできるストレスの予防法と対処法を発見し習得すること。
- ・他者のストレス対処法についても関心を持ち、対人援助のための基礎知識を習得すること。
- ・健康教育としてのストレスマネジメントについて説明できること。

成績評価方法

授業への3分の2以上の出席を前提としたうえで、定期試験50%、授業内ミニレポート30%、授業態度・課題への取り組み（授業中のグループ・ワークや質問など）20%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション、授業全体の説明 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】全体の授業計画を見直し何を学ぶかについての理解を深める（90分以上）	
2)	ストレスマネジメントとは何か（1）セルフモニタリング 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
3)	ストレスマネジメントとは何か（2）認知的再構成法 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
4)	ストレスと病気ータイプA、タイプB、タイプC 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
5)	コーピングへの支援ーソーシャルサポート 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
6)	ストレス反応への気づきとセルフケア（1）ーフォーカシング 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
7)	ストレス反応への気づきとセルフケア（2）ーマインドフルネス 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
8)	友人関係とストレス 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	【グループワーク
9)	親子関係とストレス 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	【グループワーク
10)	喪失とストレス 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	【グループワーク
11)	ストレス耐性とレジリエンスーPTSDからPTGへ 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
12)	人生を展望する 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
13)	オリジナルのストレスマネジメント 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
14)	健康教育としてのストレスマネジメント 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
15)	全体の振り返りとまとめ 【予習】授業全体を通して学んだことを整理し、定期試験に備える（90分以上） 【復習】授業資料全体に目を通し、自分が何を学んだのかを振り返る（90分以上）	
授業外学習		
毎回、授業終了時に次回の授業資料を提示しますので、よく読んで新しい用語や疑問点について予習をしておくこと。また、授業終了後は資料を読み直し、知識の定着を図ること。わからない箇所については質問するか、参考書と資料に掲載された文献などで調べること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回資料を配布する。必要に応じて、授業内で参考文献を紹介する。		心理学的支援法、臨床心理学概論、コミュニティー心理学

課題に対するフィードバック
授業内ミニレポートに書かれた質問については，次回の授業始めに口頭で解説する。
備考

科目名	ポジティブ心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	梶本 知子		関連する資格	

授業概要

ポジティブ心理学は、幸福や自己実現といった人間のポジティブな側面に注目した、心理学の新しい潮流である。本講義では、人のネガティブな側面を内包しつつポジティブな側面からのアプローチを実践することで、自己成長のプロセスへの理解を深め、自己成長の足掛かりとなることを目的とする。
本講義は対面授業を基本とする。

到達目標

ナンバリング（A3609）

- 1) ポジティブ心理学の始まりと、心理学における位置づけを説明できる。
- 2) 授業で取り上げた概念を列挙し、定義を述べることができる。
- 3) 授業で紹介した理論を説明できる。
- 4) ポジティブ感情とネガティブ感情の機能について説明できる。
- 5) 自己成長のプロセスに関する知識と知見を自分自身に役立てることができる。

成績評価方法

定期試験 60%，授業内ミニレポート（ミニツッペーパー） 20%，宿題（小課題） 20%で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			60
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		20
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ポジティブ心理学とは：ポジティブ心理学の始まりと進展，目的とテーマ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
2)	人間性心理学とポジティブ心理学：共通点と相違点，希望と絶望 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
3)	感情の機能：ポジティブ・ネガティブ感情の機能，拡張-形成理論 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
4)	単純接触効果：閾下単純接触効果，知覚的流暢性誤帰属説 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
5)	笑いとユーモア：笑いの効果，ユーモアコーピングと健康 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
6)	幸せの心理学①：幸福度と幸福感，収入と幸福 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
7)	幸せの心理学②：文化と幸福，幸せへの動機づけ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
8)	ポジティブな特性①：ハーディネスの発達と向上 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
9)	ポジティブな特性②：楽観主義と健康・適応，対処的（防衛的）悲観主義 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
10)	フロー経験：フロー経験が生じる条件，フロー経験の人間発達モデル 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー？ （授業内ミニレポート）
11)	苦しみからの成長：心的外傷後成長（PTG），レジリエンスとPTG 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
12)	マインドフルネス：ストレスケアおよび心理療法としてのマインドフルネス 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
13)	ポジティブ心理学エクササイズ①：「感謝の訪問」・「うまくいったこと」 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー？ （授業内ミニレポート）
14)	ポジティブ心理学エクササイズ②：「特徴的強み」エクササイズ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー？ （授業内ミニレポート）
15)	インクルーシブ・ポジティビティ：明け渡しとポジティビティ 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論について調べる（90分以上） 【復習】小課題で復習し理解を深め，概念の定義を暗記する（90分以上）	ミニッツペーパー （授業内ミニレポート）
授業外学習		
補足【予習】 各回の授業の最後に、次回授業で扱う概念や専門用語、理論を提示するので、心理学事典等を用いてあらかじめ調べておくこと。 追加【復習】 疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキストは使用しない。毎回プリントを配布する。参考文献は授業内で紹介する。		心理学概論Ⅰ・Ⅱ、健康・医療心理学、臨床心理学概論、感情・人格心理学、ストレス・マネジメント論、心理学的支援法

課題に対するフィードバック
・ ミニツツペーパー（授業内ミニレポート）に書かれた質問について，次回の授業始めに口頭で解答し説明する。 ・ 宿題の小課題は，次回の授業で答え合わせを行う。
備考

科目名	コミュニティ心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	大石 英史	関連する資格		

授業概要

コミュニティ心理学のアプローチは、伝統的な個人心理臨床とは異なり、個人の心だけでなく個人を取り巻く環境（家族、学校、職場、地域社会など）へも働きかけ、治療よりも予防を重視する。本授業では、コミュニティ心理学の定義、理論的背景、基本的考え方、介入・援助の方法について概論的に解説すると共に、オープンダイアログやべてるの家の実践を参考にしながら、臨床心理地域援助（コミュニティ援助）の実践において何が重要かについて考えていく。実践的な理解を深めるために、適宜、ビデオやDVDなどの視聴覚教材を使用する。

到達目標

A3610

- ・コミュニティ心理学の基本概念について学び、コミュニティ心理学的発想を将来の社会生活に活用していけること。
- ・コミュニティ心理学のもつ視点と様々な介入方法に関して、個人心理臨床との違いを明確にしながら説明できること。
- ・現代社会の様々な心理的問題の理解と解決方法に対する視野が広がること
- ・地域実践の基盤となる対話的コミュニケーションの可能性を再認識すること

成績評価方法

授業への3分の2以上の出席を前提としたうえで、定期試験50%、授業内レポート30%、授業態度・参加度10%、グループワーク10%を総合して評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			50
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○	○	○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○	○	○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション 授業の進め方、評価の方法などの説明 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】全体の授業計画を見直し何を学ぶかについての方向性をつかむ（90分以上）	
2)	コミュニティ心理学の発想(1) 一誕生の歴史的背景、定義、理念について 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
3)	コミュニティ心理学の発想(2) 一人と環境の適合について 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
4)	コミュニティ心理学の発想(3) 一個人心理臨床との比較検討 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
5)	予防 一実践例を通して予防的介入について考える 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
6)	ストレスとコーピング 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
7)	危機介入とコンサルテーション 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
8)	ソーシャルサポートとセルフケア 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
9)	エンパワメント 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
10)	サポートネットワーキング 一地域リソースの活用 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	
11)	当事者研究 べてるの家の地域実践（1） 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
12)	当事者研究 べてるの家の地域実践（2） 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
13)	オープンダイアログによる危機介入（1） 一7つの原則 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
14)	オープンダイアログによる危機介入（2） 一日本での実践に向けて 【予習】次回授業で扱う概念や専門用語、理論について調べておく（90分以上） 【復習】資料を再読することで知識の定着を図り新たな課題を発見する（90分以上）	グループワーク
15)	全体の振り返りとまとめ 【予習】授業全体を通して学んだことを整理し、定期試験に備える（90分以上） 【復習】授業資料全体に目を通し、自分が何を学んだのかを振り返る（90分以上）	グループワーク
授業外学習		
毎回、授業終了時に次回の授業資料を提示しますので、よく読んで新しい用語や疑問点について予習をしておくこと。また、授業終了後は資料を読み直し、知識の定着を図ること。わからない箇所や新たな疑問については質問するか、参考書と資料に掲載された文献などで調べること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
参考書 下川昭夫編 「コミュニティ臨床への招待」 新曜社 植村勝彦編 「コミュニティ心理学入門」 ナカニシヤ出版 田嶋誠一著 「現実介入しつつ心に関わる」 金剛出版 浦河べてるの家著 「べてるの家の『非』援助論」 医学書院 斎藤環著・訳 「オープンダイアログとは何か」 医学書院		ストレス・マネジメント論、臨床心理学概論、心理学的支援法

課題に対するフィードバック
・ 授業内ミニレポートに書かれた質問については、次回の授業始めに口頭で解説する。
備考

科目名	マーケティング論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	渡邊 利文	関連する資格		

授業概要

私たちは毎日消費行動を行っている。それに対して、企業は、どのようなモノやサービスを消費者に提供すれば良いか研究し、戦略を立てている。
 マーケティングとは、ものやサービスが「売れるしくみ」を構築することである。
 消費者マインドがどのような法則に従って変動し、企業はそれをどう捉えようとしているのか、社会心理学や行動経済学等の視点を取り入れ解説する。講義では消費者行動の基礎的な知識と、国内外における企業のマーケティング戦略についても学ぶ。

到達目標

A3611
 まず、(1)マーケティング理論の全体像をしっかりと理解するようにして下さい。そのうえで、(2)マーケティング練習問題の学習を通じて、重要な用語を理解して下さい。
 そして、(3)自分の日常生活や消費行動と関連のあるテーマを一つ見つけて出して下さい。

成績評価方法

毎回講義の最後に、小テストをして提出してもらいます。この小テストの成績と提出状況、そして、授業態度を加味して成績評価とします。
 定期試験は実施しません。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					0.5
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		0.5
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 1. 現代市場とマーケティング 1-1. 現代市場の特徴 1-2. マーケティングの概要		養成練習問題 小テスト
2) 2. 市場調査の手順 2-1. 市場調査の意味 2-2. 市場調査 2-3. 実態調査の方法		養成練習問題 小テスト
3) 3. 消費者行動 3-1. 消費者行動と購買 3-2. 購買意思決定過程 3-3. 製品のライフサイクルと普及		養成練習問題 小テスト
4) 4. 販売計画 4-1. 販売計画と販売予測 4-2. 販売計画の立案・実施・統制		養成練習問題 小テスト
5) 5. 製品計画 5-1. 製品計画の概要 5-2. 製品ミックスと製品政策		養成練習問題 小テスト
6) 6. 仕入計画 6-1. 仕入計画 6-2. 商品管理		養成練習問題 小テスト
7) 7. 販売価格 7-1. 販売価格の決定 7-2. 価格戦略		養成練習問題 小テスト
8) 8. 販売経路 8-1. 販売経路の設定 8-2. 販売経路の強化		養成練習問題 小テスト
9) 9. 販売促進政策 9-1. 販売促進の重要性 9-2. 広告		
10) 10. 販売促進政策 10-1. 販売員活動 10-2. 信用販売		
11) 11. 販売促進政策 11-1. ブランド戦略 11-2. サービス・マーケティング		養成練習問題 小テスト
12) 12. 販売情報システム 12-1. POSシステム 12-2. その他の情報システム		
13) 13. マーケティングと社会的責任 13-1. 社会志向のマーケティング 13-2. 非営利組織のマーケティング		
14) 14. 戦略的マーケティング 14-1. VRIN分析 14-2. ファイブフォース分析		
15) 15. リレーションシップ・マーケティング 15-1. データベース・マーケティング 15-2. 価値共創マーケティング		
授業外学習		
テキストを中心とした予習と復習をして下さい。予習は、授業計画に沿って30分程度、次の授業に必要な担当箇所を読んで来て下さい。復習は、知識のアウトプットが重要ですので、養成練習問題や小テストを再度確認してください。これも30分程度あれば充分だと思います。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト 『マーケティングの基礎』実教出版		「経営戦略論」 「経営組織論」

課題に対するフィードバック
「養成練習問題」と「小テスト」は返却します。小テストは期末テストの代わりですので、点数を付けて返しますが返却時に各問題についての解説もします。 インプットとアウトプットを繰り返して行えば、授業の理解度は高まるはずです。このサイクルを維持・継続して下さい。
備考

科目名	行動経済学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	城下 賢吾	関連する資格		

授業概要

行動経済学とは、人間がかならずしも合理的には行動しないことに着目し、伝統的な経済学ではうまく説明できなかった社会現象や経済行動を、人間行動を観察することで実証的にとらえようとする新たな経済学である。この講義ではゲーム理論も紹介しながら、人間の意思決定やその結果である社会現象について理解を深める。

到達目標

A3612

1. 行動経済学に関する基礎的知識の習得。
2. 実際の経済活動においてどのような場面で不合理的行動をする傾向にあるかを理解すること。
3. 行動経済学が様々な分野で応用されていることを理解すること。

成績評価方法

前期試験（70点）、小テスト（30点）で評価。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	50			20			70
小テスト、授業内レポート	5			5			10
宿題、授業外レポート	10			10			20
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	序章 行動経済学とはどんな学問か（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
2)	第1章 人はどのように行動を決定し、改善するのか（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
3)	第2章 認知的節約による不合理行動（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
4)	第3章 本能的な評価による不合理行動（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
5)	第4章 近視眼的な本能による不合理行動（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
6)	第5章 不確実性による不合理行動（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
7)	第6章 理性の限界による不合理行動（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
8)	第7章 見返りを求めない利他的行動・協力行動の謎（1）（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
9)	第7章 見返りを求めない利他的行動・協力行動の謎（2）（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
10)	復習（第1章～第7章）（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
11)	第8章 「行動」を自然に引き出すアプローチ（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
12)	第9章 ファイナンス分野の不合理行動（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
13)	第10章 多様な分野に応用される行動経済学（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
14)	復習（第8章～第10章）（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
15)	全体の総まとめ（第1章～第10章）（予習）毎回事前にテキストを読んでおくこと（1時間）（復習）講義後、講義資料とテキストを読み返し、練習問題を解答すること（1時間30分）	小テスト
授業外学習		
講義で学習した行動経済学が日々の生活における意思決定にどのような影響を与えているか考えてみよう。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
（テキスト）川西諭著『図解よくわかる行動経済学』秀和システム。（参考書）講義の中で紹介します。（教材）講義前あるいは講義中に配布		心理学に関する科目

課題に対するフィードバック
小テストについては次回の講義において解説する。それに基づいて再度復習を行うこと。
備考

科目名	マスメディア論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	児玉 満		関連する資格	

授業概要

メディア社会・心理学の分野には議題設定理論、革新・ニュース伝播理論、沈黙の螺旋理論、キャンペーン説得法、など多くの理論がある。メディアが人々の心に持つイメージを形成するプロセスやその結果である社会現象を理解し、メディアリテラシーとは何かについても考える。

到達目標

A3613

1. マスメディアが社会や人に及ぼす影響について理解する。
2. 現代の情報社会を生き抜くための力を身につける。
3. 様々なメディアを用いて、正しい情報を取捨選択することができる。

成績評価方法

期末テスト、授業内レポート、授業態度・参加度を総合評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					40
小テスト、授業内レポート		○	○				15
宿題、授業外レポート			○	○			15
授業態度・授業参加度			○		○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	ガイダンス：講義内容および講義の進め方の説明 【予習】マスメディアについて簡単に調査しておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
2)	マスメディアとは 【予習】マスコミとマスメディアの違いについて調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
3)	四大媒体(1)：新聞 【予習】新聞の歴史について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
4)	四大媒体(2)：雑誌 【予習】雑誌の歴史について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
5)	四大媒体(3)：テレビ 【予習】テレビの歴史について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
6)	四大媒体(4)：ラジオ 【予習】ラジオの歴史について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
7)	マスメディアの役割 【予習】マスメディアの役割について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
8)	マスメディアが与える影響 【予習】マスメディアの影響について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
9)	インターネットやSNSはマスメディアか？ 【予習】様々なSNSについて調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
10)	スマートフォンを考える 【予習】モバイル端末について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
11)	メディアリテラシーとは 【予習】メディアリテラシーについて調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
12)	ネット社会のメディア構造とその影響力 【予習】Society5.0について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
13)	メディアと大衆文化 【予習】大衆文化について調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
14)	双方向性コミュニケーションとしてのメディア情報 【予習】インタラクティブとはなにかについて調べておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
15)	まとめ 【予習】これまでに学んだことを振り返っておく(60分) 【復習】講義で提示した資料およびノートを整理する(60分)	授業内レポート
授業外学習		
シラバスに記載した各回の予習をしておくこと。 復習については資料およびノートを整理し、興味・関心・疑問に思ったことについてまとめておき、必要な場合は質問をすること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト ・指定しない 参考書 ・後藤将之『マス・メディア論』（有斐閣、1999） ・藤竹暁・竹下俊郎『図説 日本のメディア（新版）』（NHKブックス、2018）		

課題に対するフィードバック
授業内レポートでは質問を随時受け付けるが、それに対し次回授業内で回答する。
備考

科目名	公認心理師の職責			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	高田 晃、大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

この講義では公認心理師法に基づき、公認心理師の職責についての理解を深める。また、公認心理師としての倫理についても学習する。

到達目標

ナンバリング(A2701a)

○公認心理師の主な活動である（1）心理に関する支援を要する者の心理状態の観察、その結果の分析（2）心理に関する支援を要する者に対する、その心理に関する相談及び助言、指導その他の援助（3）心理に関する支援を要する者の関係者に対する相談及び助言、指導その他の援助（4）心の健康に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供について正しく理解し、説明できる。

○公認心理師の活動する保健医療分野・福祉分野・教育分野・司法犯罪分野・産業労働分野等それぞれの領域での具体的な活動について、理解し説明することができる。

○各領域での活動を行う際に求められる守秘義務など倫理的配慮や多職種との連携協働等についてその重要性を理解できる。

大石先生担当授業、シラバス授業内容の3・4・5・12・13の授業。

高田先生担当授業、3・4・5・12・13以外の授業

成績評価方法

毎回提示される課題について、その内容等で評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○		○		70
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	公認心理師の職責とは（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
2)	公認心理師の4つの役割（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
3)	公認心理師に求められる法的義務と倫理（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
4)	利用者（クライアント、患者や家族等）の安全の確保について（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
5)	情報の適切な取り扱いについて（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
6)	各領域における具体的な活動（保健医療分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
7)	各領域における具体的な活動（福祉分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
8)	各領域における具体的な活動（教育分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
9)	各領域における具体的な活動（司法・犯罪分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
10)	各領域における具体的な活動（産業・労働分野）（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
11)	心理的支援者としての自己課題発見・解決能力（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく。 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
12)	生涯学習としての取り組みと準備（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
13)	多職種連携・地域連携・協働（大石先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
14)	公認心理師としてのアイデンティティについて（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
15)	公認心理師の今後の課題（高田先生担当） 【予習】参考図書の該当する章を熟読しておく（90分） 【復習】授業中説明した重要な専門語彙について正しく理解し暗記する（90分）	ディスカッション
授業外学習		
各担当教員より提示された課題や資料を事前に熟読し理解しておく。 授業中理解できなかった専門語彙は、次の授業までに調べて理解しておく。 各担当教員の指示に従いレポートを作成する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公認心理師の基礎と実践（第1巻）		心理学概論Ⅰ・Ⅱ、臨床心理学概論

課題に対するフィードバック
授業中の疑問や気づき、及び感想などの小レポートについて、修正や再度の説明が必要な個所について次回の授業で口頭で説明する。
備考
オフィスアワー：各担当教員の指定した時間に行う。

科目名	臨床心理学概論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	必修	2	2年	前期
担当者名	高田 晃、梶本 知子、大石 英史	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この講義では、まず臨床心理学の歴史を取り上げ、臨床心理学の成り立ちについて学習する。また、①精神疾患、②臨床心理査定、③心理療法―臨床心理面接、④臨床心理学的地域支援の主に4点について概説する。具体的には、心の健康の回復や増進に向けて、どのような臨床領域があるのか、臨床心理学はどのような学問的性格があるのか、臨床心理学の独自性は何なのか、どのような方法論があるのかなど、臨床心理学における代表的な理論を取り上げながら事例や研究を交えて解説する。

授業担当

1～5が高田先生、6～10が梶本先生、11～15を大石先生

到達目標

ナンバリング(A2702ab)

遠隔授業で実施

- ・臨床心理学の歴史や臨床心理学の成り立ちについて説明できる。
- ・精神疾患、臨床心理査定、臨床心理面接、臨床心理学的地域支援について、それぞれ理解し説明できる。

成績評価方法

定期試験、各担当者から提示された課題レポート、宿題・授業外事前レポート、授業内レポートなどから各授業担当者が評価し、それぞれの評価を基に最終的な評価を行う。各授業担当者の詳しい評価基準等は、それぞれの授業内で改めて説明する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			40
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		30
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	臨床心理学の成り立ち(高田先生担当第1～5回) 日本の臨床心理学の歴史、国家資格化と今後の臨床心理学 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
2)	世界の臨床心理学 臨床心理学の起源、臨床心理学の変遷 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
3)	臨床心理学的研究方法 過去に行われた実験など、質的研究・量的研究 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
4)	臨床心理学の活動 心理アセスメントについて、心理的支援について 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
5)	臨床心理学の定義・理念・体系 定義・基礎理念・体系 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
6)	臨床心理査定(梶本先生担当第6～10回) 心理査定(アセスメント)とは、さまざまな心理検査 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	ミニッツペーパー (授業内ミニレポート)
7)	臨床心理学支援 臨床心理学支援とは、さまざまな臨床心理支援 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	ミニッツペーパー (授業内ミニレポート)
8)	精神分析的アプローチ 定義と歴史、病理論とアセスメント論、そして治療論 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	ミニッツペーパー (授業内ミニレポート)
9)	分析心理学的アプローチ 集合的無意識と個性化、文化と時代的側面 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	ミニッツペーパー (授業内ミニレポート)
10)	行動論・認知論的アプローチ(大石先生担当第10～15回) 認知行動療法の理解、臨床心理学への寄与と課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	ミニッツペーパー (授業内ミニレポート)
11)	ヒューマニスティック・アプローチ 人間性心理学の歴史、面接プロセス・今後の課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
12)	グループ・アプローチ グループ・アプローチの臨床理論、グループ・アプローチの意義と展望 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
13)	コミュニティ・アプローチ コミュニティ・アプローチの諸理論、コミュニティ・アプローチの展望 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
14)	臨床心理学的地域支援について コンサルテーションの理解と活動 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
15)	臨床心理学地域支援について 緊急支援の実際 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	授業外レポート
授業外学習		
事前に指定された資料等を熟読しテーマについて理解しておく。 授業後は授業の復習をして専門用語など知識の正しい理解と定着を図る。 わからないことは授業後に質問する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公認心理師の基礎と実習第3巻 臨床心理学概論 野島一彦・岡村達也編 遠見書房		ビジネス心理学概論、心理学実験Ⅰ・Ⅱ、健康・医療心理学、福祉心理学、教育・学校心理学、司法・犯罪心理学、発達心理学、生涯発達心理学Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

課題に対するフィードバック
各授業担当者より行う。
備考
オフィスアワー：各授業担当者の指定した時間に行う。

科目名	社会・集団・家族心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	高田 晃、森本 裕子、木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

原則的に遠隔授業で実施、対面授業で実施する際は事前に指示する。

社会的行動の個人的側面と集団的側面を中心に概観することにより、人間の社会的行動のメカニズムについて学ぶ。

- ・近年、学校現場で喫緊の問題となっている「いじめ」について構造を解説し、事例を交えて解説する。
- ・社会心理学について歴史や成り立ちを概説し、研究を交えながら解説する。
- ・家族心理学について、歴史や理論について概説する。また、近年問題となっている「DV」や「子ども虐待」について、事例を交えながら解説する。

到達目標

ナンバリング(A2703ab)

- ・人間の社会的行動のメカニズムについて説明できる。
- ・学校現場での「いじめ」について、その構造や対応について理解し説明できる。
- ・社会心理学について歴史や成り立ちを理解し説明できる。
- ・家族心理学について、歴史や理論について理解し説明できる。
- ・「DV」や「子ども虐待」について理解し説明できる。

成績評価方法

各担当者が提出された課題やレポート等を評価し、それを基にして最終評価を行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○	○	○		50
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		50
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	社会・集団・家族心理学とは何か(高田先生担当第1～5回) 社会心理学の経緯と定義について、対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
2)	コミュニティとコミュニケーション コミュニティの理解、コミュニケーション能力とは 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
3)	集団参加・不登校・ひきこもりについて 日本における不登校の歴史と現状、ひきこもりの現状と課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
4)	いじめの理解と対応 繰り返されてきたいじめの歴史について、いじめ防止対策推進法の理解 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
5)	人の態度及び行動 ステレオタイプと社会的認知・情報処理、ステレオタイプに関する今後の課題 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
6)	社会心理学の概説(森本先生担当第6～10回) 社会心理学の歴史と成り立ち、社会心理学の研究手法 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
7)	社会的促進と社会的抑制 社会的促進の理解、社会的抑制の理解 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
8)	集団及び文化が個人に及ぼす影響 社会的影響とは、同調・服従・説得の理解 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
9)	社会的相互作用とは 相互依存性理論の理解、社会的ジレンマの理解 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
10)	家族及び文化が個人に及ぼす影響 日本社会における家族からの自立、家族文化と世代間伝承 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
11)	家族の人間関係(木元先生担当第11～15回) 家族ライフサイクルについて、家族内葛藤について 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
12)	家族の人間関係 家族内での暴力・その背景と理解 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
13)	家族の人間関係 家族内で起こる不適切な養育(虐待)、その影響と支援について考える 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
14)	ソーシャル・サポートの理解と方法 家族・個人への支援について 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
15)	社会・集団・家族の未来について考える これからの日本の家族について 【予習】授業テーマの予習(90分)【復習】授業内容の復習(90分)	課題レポートの作成
授業外学習		
授業前に指定された資料等を熟読しテーマについて理解しておく。 授業後は授業の復習をして知識や専門用語の定着を図る。 わからないことは授業後に質問する。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公認心理師の基礎と実習第11巻 社会・手段・家族心理学、竹村和久編 遠見書房		社会学、対人関係論、コミュニケーション論、福祉心理学、司法・犯罪心理学、心理学的支援法、集団心理療法Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
各担当教員より行う。
備考
オフィスアワー：各担当教員の指定した時間に行う。

科目名	障害者・障害児心理学			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	辻 麻乃、吉久 浩之	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

障害のある人たちを取り巻く環境は、21世紀を迎えてから大きく変動してきている。そこで、本講義では身体障害、知的障害及び精神障害について概説する。また、最近では発達障害をはじめさまざまな障害のある児童生徒と関わる機会も多くなっているため、発達障害を取り巻く心理社会的課題及び必要な支援について触れる。

(辻 麻乃/8回)

障害の生物・心理・社会モデルについて概説する。さらに、障害受容過程及び精神障害の心理学的メカニズムの理論について解説する。

(吉久 浩之/7回)

医療・教育・福祉分野における障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援について解説する。

到達目標

A3701ab

- 身体障害、知的障害、発達障害及び精神障害の概要を理解する。
- 障害者・障害児の個別の特徴や特性に応じた心理社会的課題及び必要な支援について知る。

成績評価方法

定期試験、授業内レポート、授業参加度、グループワークによる評価

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート	○	○					20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度	○	○	○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク	○	○	○		○		10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 障害者・障害児心理学とは（廿） 【予習】障がいや発達についての授業を振り返っておく（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
2) 身体障害・知的障害の概要（吉久） 【予習】身体障害・知的障害について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
3) 視覚障害・聴覚障害の概要（廿） 【予習】視覚障害・聴覚障害について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
4) 精神障害の概要（廿） 【予習】精神障害について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
5) 発達障害の概要（廿） 【予習】発達障害について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
6) 肢体不自由及び病弱者の概要（吉久） 【予習】肢体不自由及び病弱者について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
7) 情緒障害児の理解と心理的援助（廿） 【予習】情緒障害児について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
8) 身体障害者を取り巻く心理社会的課題（吉久） 【予習】身体障害者を取り巻く課題について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
9) 知的障害者を取り巻く心理社会的課題（吉久） 【予習】知的障害者を取り巻く課題について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
10) 精神障害者を取り巻く心理社会的課題（廿） 【予習】精神障害者を取り巻く課題について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
11) 発達障害者を取り巻く心理社会的課題（廿） 【予習】発達障害者を取り巻く課題について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
12) 身体障害者への必要な支援（吉久） 【予習】身体障害者の必要としている支援について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
13) 知的障害者への必要な支援（吉久） 【予習】知的障害者の必要としている支援について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
14) 精神障害者への必要な支援（吉久） 【予習】精神障害者の必要としている支援について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
15) 発達障害者への必要な支援（廿） 【予習】発達障害者の必要としている支援について調べる（60分） 【復習】授業プリント等をもとに授業内容を振り返り、まとめる（30分）		グループワーク
授業外学習		
メディアで取り上げられるニュースなど注意して見てみてください。また、障がいのある方々と触れ合う機会を作ってみてください。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
必要に応じてレジメを配布する。		他の心理学関連科目全般

課題に対するフィードバック
グループワークの際、適宜コメントを行う。
備考
【オフィスアワー】 甘：掲示を確認のこと。 吉久：授業の前後に対応します。

科目名	心理的アセスメント			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	榎本 俊哉	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

心理的アセスメントは重要な心理支援活動の一つである。臨床における心理的アセスメントは、単にアセスメントだけを目的とするものではなく、心理支援への動機づけ、支援課題の明確化、支援目標の設定、支援を進めていくうえで重要なラポール形成など、支援的な関わり的手段としても活用できる。

心理的アセスメントにおいては、心理的アセスメントの目的および倫理、観点および展開について理解した上で、観察、面接および心理検査等の心理的アセスメントの方法について理解することが必要となる。また、心理的アセスメントの結果について適切な記録と報告ができることも求められる。

そこでこの授業では、心理的アセスメントについて概説したのちに、心理検査（質問紙法）の作成を試みることで、心理検査の構成について体験的に理解する。また、代表的な心理検査について履修生が被験者となって体験し、これらの心理的アセスメントの結果について記録と報告を作成する過程を通して心理的アセスメントにおける配慮について理解を深める。

なお、この講義の担当者は公認心理師・臨床心理士であり、主として医療保健領域、教育領域および産業組織領域における実務経験を有している。この実務経験を活かし、現場における実際問題についても検討する。

到達目標

ナンバリング(A3702ab)

- ①心理的アセスメントの目的及び倫理について理解できる。
- ②心理的アセスメントの観点及び展開について説明できる。
- ③心理アセスメントの方法（観察、面接および心理検査）について説明し、実践できる。
- ④適切な記録および報告を作成し、管理できる。

成績評価方法

主として定期テストおよび授業外レポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			30
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 心理的アセスメントについて －目的・倫理・観点・展開および方法の概説－ 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
2) 心理検査（質問紙法）の作成① －質問紙の作成方法－ 【予習】心理学研究法の復習（30分）【復習】質問紙の検討（90分）		演習
3) 心理検査（質問紙法）の作成② －質問紙の構成－ 【予習】心理学研究法の復習（30分）【復習】質問紙の検討（90分）		演習
4) 心理検査（質問紙法）の作成③ －質問紙作成時における配慮－ 【予習】心理学研究法の復習（30分）【復習】質問紙の検討（90分）		演習
5) 心理検査（質問紙法）の作成④ －心理検査の妥当性と信頼性の検討－ 【予習】心理学研究法の復習（30分）【復習】質問紙の検討（90分）		演習
6) 質問紙法 エゴグラム（T E G） 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
7) 質問紙法 Y G 性格検査 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
8) 描画法 バウムテスト・H T P・風景構成法 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
9) 投影法 S C T 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
10) 投影法 P－Fスタディ 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
11) 投影法 ロールシャッハ・テスト 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
12) 知能検査法 W I S C・W A I S 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
13) 発達検査法 D A M 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
14) 発達検査法 H D S－R 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
15) 作業検査法 内田クレペリン精神検査 【予習】特に定めない（0分）【復習】心理検査結果の検討（90分）		演習
授業外学習		
授業内で履修生が自分自身を被験者として実施した各種心理検査について、レポート（心理検査結果の記録および報告）の提出を必須とする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 適宜資料を配布する。 【参考書】 ・上里一郎（監修，2001）．心理アセスメントハンドブック第2版．西村書店		心理学研究法，心理学統計法，心理学実験Ⅰ・Ⅱ 感情・人格心理学，発達心理学，心理検査法演習 心理演習Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
レポートにはコメントを付けて返却する。
備考
・授業は心理検査の演習を含むため、遅刻および欠席がないように努めること。 ・規定回数以上の出席がない場合、およびレポートの提出がない場合には単位認定されないので注意すること。

科目名	心理学的支援法			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	後期
担当者名	大石 英史、榎本 俊哉	関連する資格	公認心理師・認定心理士	

授業概要

カウンセリングは理論と実践から成り立つ心の支援のための方法である。本講義では主として来談者中心療法の立場から、実際の相談場面を想定した演習形式でカウンセリングとカウンセリングの基本技法について考えていく。
 なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、教育領域、産業領域、地域などにおいて心理学的支援を実践している。
 本講義においては、この臨床実践をもとに講義・演習を実施する。

到達目標

ナンバリング(A2704ab)

- ①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適応および限界について説明できる。
- ②援助的な関係を築くための援助者の態度について理解し、実践できる。
- ③不適応行動の背景にある問題について説明できる。
- ④プライバシーや倫理的な配慮について説明できる。
- ⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について説明できる。

成績評価方法

受講態度（グループワークおよび演習、授業内レポートを含む）と定期試験により評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					50
小テスト、授業内レポート		○	○				10
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○			15
演習		○	○	○			15
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) （第1～3回：榎本担当） 代表的な心理療法 【復習】講義内容の復習（60分）		
2) カウンセリングの歴史、概念、意義、適応および限界 【復習】講義内容の復習（60分）		
3) プライバシーと倫理的な配慮 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
4) （第4～8回：大石担当） 援助的な関係を構築するために 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
5) 心理学的支援を必要とする人の家族や関係者に対する支援について 【復習】講義内容の復習（60分）		
6) 心理学的支援における傾聴のあり方① 無条件の肯定的関心 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
7) 心理学的支援における傾聴のあり方② 共感的理解 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
8) 心理学的支援における傾聴のあり方③ 一致 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
9) （第9～15回：榎本担当） 援助的なコミュニケーションの方法① 相談の背景にある思考と感情 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
10) 援助的なコミュニケーションの方法② 問題をとらえる 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
11) 援助的なコミュニケーションの方法③ 連携が必要な問題 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
12) 援助的なコミュニケーションの方法④ 基本的技法 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
13) 援助的なコミュニケーションの方法⑤ クライアント中心療法 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
14) 援助的なコミュニケーションの方法⑥ 認知・行動療法 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
15) 援助的なコミュニケーションの実際 模擬事例の検討 【復習】講義内容の復習（60分）		演習・グループワーク
授業外学習		
講義で学んだ心理学的支援の復習 適宜、レポートを課す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【大石担当分】テキストは使用しない。毎回資料を配布する。 必要に応じて、授業内で参考文献を紹介する。 【榎本担当分】テキストは使用せず、適宜資料を配布する。 （参考図書）藤原和政・谷口弘一〔編著〕（2020）学校現場で役立つ教育相談．北大路書房		感情・人格心理学、社会・集団・家族心理学、健康・医療心理学、心理的アセスメント

課題に対するフィードバック
レポートにコメントをつけて返却するか、または次回の授業で取り上げてコメントする。
備考

科目名	精神疾患とその治療			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	前期
担当者名	土屋 智、原田 雅史	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

日本における精神科医療の歴史を踏まえ、代表的な精神疾患とその治療及びリハビリテーションについて理解を深める。また、支援のあり方、連携について、各専門職の立場から事例などを通し、臨床的理解を進めるとともに各役割について理解する。

到達目標

ナンバリング（A3703a）
 ・代表的な精神疾患について、成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援といった観点から理解する。
 ・精神科病院等における専門治療の内容及び特性について理解する。
 ・各専門職が、精神科チーム医療の一員として関わる際に担うべき役割について理解する。
 ・精神医療・福祉との連携の重要性と、各専門職がその際に担うべき役割について理解する。

成績評価方法

課題レポート、姿勢、小レポートなどで総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○					40
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			50
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	精神医学の歴史的展望（土屋） 精神医学における診断・治療の歴史【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	
2)	精神疾患の診断と診断基準（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
3)	代表的な精神疾患 - 統合失調症（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
4)	代表的な精神疾患 - 気分障害（土屋） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	レポート
5)	代表的な精神疾患 - 不安障害（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
6)	代表的な精神疾患 - 物質関連障害および嗜癖性障害（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答／小テスト
7)	代表的な精神疾患 - パーソナリティ障害（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
8)	代表的な精神疾患 - 摂食障害（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
9)	代表的な精神疾患 - 発達障害（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答
10)	代表的な精神疾患 - 認知症とその周辺（土屋） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	レポート
11)	精神疾患の治療 - 薬物療法（土屋） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	レポート
12)	精神疾患の治療 - 精神療法（土屋） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	レポート
13)	精神疾患の治療 - 精神科リハビリテーション（原田） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	質疑応答／小テスト／レポート
14)	外来治療と入院治療（土屋） 【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	レポート
15)	多職種連携・リエゾン（土屋）【予習】授業で扱う概念や専門用語，理論を調べる（60分）【復習】授業内容について復習する（60分）	レポート
授業外学習		
予習では、教科書の該当部分を読んでおくこと。 復習では、毎回の授業内容を定着させるために、自分の言葉で説明できるようにすること。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
テキスト：加藤隆弘・神庭重信編（2020）公認心理師の基礎と実践？. 精神疾患とその治療. 遠見書房		人体の構造と機能及び疾病 脳科学 健康・医療心理学 神経・生理心理学 臨床心理学概論 障害者・障害児心理学 心理的アセスメント 心理学的支援法 発達障害児支援論 心理演習Ⅰ・Ⅱ 心理実習Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。
備考

科目名	関係行政論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	2年	前期
担当者名	西村 秀明	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

公認心理師に関係する諸制度について、保健医療分野、福祉分野、教育分野、司法・犯罪分野、産業・労働分野、の5つの分野を重点的に取り上げて理解する。
授業はGoogle Classroomを活用し、遠隔で実施する。

到達目標

A2705a
心理臨床に従事する専門家として、クライアント支援に際して必要不可欠である基本的な各領域における法的制度の修得。

成績評価方法

各制度について、その習得度を定期試験において評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)	○	○					60
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○					20
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク		○	○	○			10
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) 保健医療分野に関係する各制度(1) 【予習】精神保健福祉法を読んでおくこと（120分） 【復習】精神保健福祉法が何を意図しているか周知すること（60分）		
2) 保健医療分野に関係する各制度(2) 【予習】医療・保護に関する法的問題について学習しておくこと(120分) 【復習】人権についてどのような措置がとられてるか周知すること(60分)		
3) 保健医療分野に関係する各制度(3) 【予習】自立支援法について学習しておくこと（120分） 【復習】地域支援について周知すること（60分）		
4) 保健医療分野に関係する各制度(4) 【予習】医療観察法について学習しておくこと（60分） 【復習】医療観察法による処遇について周知すること（60分）		
5) 保健医療分野に関係する各制度(5) 【予習】精神保健福祉全般について復習しておくこと（120分） 【復習】事例を通して法律の運用について熟知すること（120分）		グループワーク
6) 福祉分野に関係する各制度(1) 【予習】児童福祉法について学習しておくこと（120分） 【復習】児童福祉法がどのように運用されているか周知すること（90分）		
7) 福祉分野に関係する各制度(2) 【予習】虐待防止法について学習しておくこと(120分) 【復習】虐待防止法がどのように運用されているか理解を深めること(90分)		
8) 福祉分野に関係する各制度(3) 【予習】老人福祉法について学習しておくこと（120分） 【復習】事例を通して法律の運用について熟知すること（120分）		グループワーク
9) 教育分野に関係する各制度(1) 【予習】教育基本法・教育の確保法について学習しておくこと（120分） 【復習】児童生徒の教育権について周知すること（90分）		
10) 教育分野に関係する各制度(2) 【予習】子どもの権利条約について学習しておくこと（90分） 【復習】子どもの権利と大人の義務について周知すること（90分）		
11) 教育分野に関係する各制度(3) 【予習】スクールカウンセリング・スクールソーシャルワークについて学習しておくこと(90分)【復習】不登校児童生徒とその法的支援について周知すること(90分)		グループワーク
12) 司法・犯罪分野に関係する各制度(1) 【予習】刑法、少年法について学習しておくこと（120分） 【復習】犯罪における処遇について周知すること（90分）		
13) 司法・犯罪分野に関係する各制度(2) 【予習】虐待防止法について学習しておくこと（120分）【復習】虐待防止法がどのように運用されているか、及び処遇について理解を深めること（90分）		グループワーク
14) 産業・労働分野に関係する各制度(1) 【予習】労働基準法、障害者雇用促進法、男女雇用機会均等法について学習しておくこと（120分）【復習】労働界における問題についてまとめること（120分）		
15) 産業・労働分野に関係する各制度(2) 【予習】労働安全衛生法について学習しておくこと（90分）【復習】ストレスチェックと処遇方法について理解を深めること（90分）		グループワーク
授業外学習		
それぞれの領域における法律について、事前に学習しておくこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各法律や制度については担当教員より指示するので用意しておくこと。また事例については担当教員が配布、または口頭で説明する。		心理実習Ⅰ・Ⅱ、心理演習Ⅰ・Ⅱ、産業・組織心理学、社会・集団・家族心理学、教育・学校心理学、心理学的支援法

課題に対するフィードバック
課題として、それぞれの法律に基づいた「事例」を出すので、法律がどのように適用されていくかレポートさせることにしており、添削して解説する形でフィードバックする。
備考

科目名	発達障害児支援論			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
講義	選択	2	3年	後期
担当者名	木元 卓也、酒木 保、大石 英史	関連する資格		

授業概要

ナンバリング (A3704)
 発達障害を抱える子どもの支援について理解する。具体的には、本人及び家族が置かれている状況について理解し、その支援方法について考える。また、心理検査によるアセスメントの方法や支援へと繋げる手続きについて、基礎的な事柄を解説する。

(酒木 保/7回)
 発達障害児のアセスメントとアセスメントに応じた支援方法について事例を交えて解説する。

(大石 英史/5回)
 発達障害児への学校現場での支援について概説する。

(木元 卓也/3回)
 発達障害児への家庭での支援や、発達障害児の家族への支援について概説する。

到達目標

A3704
 ・発達障がいに対する正しい理解と支援方法を習得する
 ・学校現場における発達障がいを抱える子どもへの支援方法を理解する
 ・発達障がいを抱えた保護者の心理と支援方法を理解する

成績評価方法

講義への出席と課題を総合的に判断する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)	○	○		○			30
小テスト、授業内レポート	○	○	○				20
宿題、授業外レポート							
授業態度・授業参加度			○		○		20
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習			○	○	○		30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	オリエンテーション	小テスト
2)	発達障がいを抱えた保護者の心理① 【予習】発達障がいについて調べる 【復習】講義の振り返り	小レポート
3)	発達障がいを抱えた保護者の心理② 【予習】発達障がいについて調べる 【復習】講義の振り返り	小レポート
4)	発達障がい児のアセスメント① 【予習】発達障がいについて調べる 【復習】講義の振り返り	実習
5)	発達障がい児のアセスメント② 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	授業内課題
6)	発達障がい児のアセスメント③ 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	授業内課題
7)	発達障がい児への支援方法① 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小テスト
8)	発達障がい児への支援方法② 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小テスト
9)	発達障がい児への支援方法③ 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小レポート
10)	事例を通して考える発達障がい児への支援 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小レポート
11)	発達障がい児への学校現場での支援① 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小テスト
12)	発達障がい児への学校現場での支援② 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小テスト
13)	発達障がい児への学校現場での支援③ 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小テスト
14)	発達障がい児への学校現場での支援④ 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小テスト
15)	発達障がい児への学校現場での支援⑤ 【予習】講義資料を熟読する 【復習】講義の振り返り	小レポート
授業外学習		
発達障がいへの理解に向けて書籍を読む。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
公認心理師のための「発達障害」講義、下山晴彦、北大路書房、2018		生涯発達心理学Ⅰ、生涯発達心理学Ⅱ、生涯発達心理学Ⅲ、教育・学校心理学、健康・医療心理学、障害者・障害児心理学、福祉心理学

課題に対するフィードバック
必要に応じてフィードバックを行うが、講義前後で質疑応答を行う。
備考

科目名	心理検査法演習			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	後期
担当者名	榊本 俊哉	関連する資格	認定心理士	

授業概要

心理的アセスメントは重要な心理支援活動の一つである。臨床における心理的アセスメントは、単にアセスメントだけを目的とするのではなく、心理支援への動機づけ、支援課題の明確化、支援目標の設定、支援を進めていくうえで重要なラポール形成など、支援的な関わりの手段としても活用できる。

この授業では「心理的アセスメント」に引き続き、代表的な心理的アセスメントを実施し、結果について記録と報告を作成する演習を行う。履修生はお互いに心理検査の実施者役およびクライアント役となってロールプレイをし、心理検査の実施や心理検査所見の作成とフィードバックにおけるクライアントへの配慮、守秘義務および個人情報の保護について体験的に学ぶ。

なお、この実習の担当者は公認心理師・臨床心理士であり、主として医療保健領域、教育領域、福祉領域および産業組織領域における実務経験を有している。この実務経験を活かし、現場における実際問題についても検討する。

到達目標

ナンバリング(A3705b)

- ①心理検査実施上のクライアントへの配慮について理解できる。
- ②心理検査所見の作成とフィードバックにおけるクライアントへの配慮について理解できる。
- ③守秘義務について理解し、クライアントの個人情報の保護に配慮できる。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施した心理検査についてのレポート（心理検査所見）により評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			70
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) はじめに －心理検査の実施および心理検査所見作成上の諸注意－ 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
2) 知能検査 WISC/WAIS －検査の実施上の諸注意とクライアントへの配慮について－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
3) 知能検査 WISC/WAIS －検査の実施－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】心理検査の演習（90分）		演習
4) 知能検査 WISC/WAIS －心理検査所見の作成－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
5) 知能検査 WISC/WAIS －心理検査所見レポートの指導－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
6) 知能検査 WISC/WAIS －フィードバックの実施－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
7) 投影法 SCT －検査の実施上の諸注意とクライアントへの配慮について－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
8) 投影法 SCT －検査の実施と心理検査所見の作成－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】心理検査の演習（90分）		演習
9) 投影法 SCT －心理検査所見レポートの指導とフィードバックの実施－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
10) 投影法 ロールシャッハ・テスト －検査の実施上の諸注意とクライアントへの配慮について－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
11) 投影法 ロールシャッハ・テスト －検査の実施① 心理検査の実施と記録－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】心理検査の演習（90分）		演習
12) 投影法 ロールシャッハ・テスト －検査の実施② 心理検査時のクライアントとのコミュニケーション－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】心理検査の演習（90分）		演習
13) 投影法 ロールシャッハ・テスト －心理検査所見の作成－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
14) 投影法 ロールシャッハ・テスト －心理検査所見レポートの指導－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
15) 投影法 ロールシャッハ・テスト －フィードバックの実施－ 【予習】心理検査の復習（30分）【復習】レポートの検討（90分）		演習
授業外学習		
授業内でクライアント役の履修生に対して実施した各種心理検査について、レポート（心理検査所見）の提出を必須とする。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
【テキスト】 適宜資料を配布する。 【参考書】 ・上里一郎（監修，2001）．心理アセスメントハンドブック第2版．西村書店		心理学研究法，心理学統計法，心理学実験Ⅰ・Ⅱ， 感情・人格心理学，発達心理学，心理的アセスメント 心理演習Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
レポートにはコメントを付けて返却する。
備考
【履修上の注意事項】＊以下の条件を満たす学生にのみ、本講義の履修を認めます。 ・原則として「心理的アセスメント」を履修済みであること。 ・履修生がお互いにクライアント役を体験し、心理検査所見を作成することについて了解・同意していること。 ・心理検査の実施および作成された所見についての守秘義務を遵守し、検査結果を適切に管理できること。 ・公認心理師または臨床心理士の資格取得をめざす意欲が高いこと。

科目名	集団心理療法演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	榎本 俊哉	関連する資格		

授業概要

この演習では、集団心理療法について実際に体験することで、自己理解、自己受容、他者理解、他者受容、他者との共同の在り方、ファシリテーションの方法などを学んでいく。

特に集団心理療法演習Ⅰにおいては構成的エンカウンターグループを体験し、グループにおける居場所感や自己一致感が体験できることを目標とする。

なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして児童生徒を対象にエンカウンターグループを実践している。本講義においては、この臨床実践をもとに演習を実施する。

到達目標

ナンバリング(A2601)

①自己理解や他者理解を深める、②自己受容や他者受容をしていく、③グループ体験における居場所感を得ていく、など、履修生は各自でグループでのコミュニケーションに関する到達目標を定め、自己評価していく。このプロセスを通してグループ体験におけるコミュニケーションが円滑になり、自己一致感が高まることを目標とする。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施したグループ体験についてのレポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			70
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) ガイダンス グループ体験の演習についての諸注意 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
2) 構成的エンカウンターグループについて 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
3) 構成的エンカウンターグループ体験① ー自己理解・他者理解ー 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
4) 構成的エンカウンターグループ体験② ー自己受容・他者受容ー 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
5) 構成的エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）		グループ体験
6) グループ体験による到達目標および評価方法の検討 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）		演習
7) エンカウンターグループ演習① (第7回以降、到達目標は履修生がそれぞれに検討する。) 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
8) エンカウンターグループ演習② 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
9) エンカウンターグループ演習③ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
10) エンカウンターグループ演習④ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
11) エンカウンターグループ演習⑤ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
12) エンカウンターグループ演習⑥ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
13) エンカウンターグループ演習⑦ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
14) エンカウンターグループ演習⑧ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
15) エンカウンターグループ演習の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）		演習
授業外学習		
グループ体験について振り返るためのレポートを課す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜プリントを配布する。		集団心理療法演習Ⅱ

課題に対するフィードバック
レポートにはコメントを付けて返却する。
備考
この演習の履修生には、集団心理療法演習Ⅱの履修を推奨する。

科目名	集団心理療法演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	榎本 俊哉		関連する資格	

授業概要

この演習では、集団心理療法について実際に体験することで、自己理解、自己受容、他者理解、他者受容、他者との共同の在り方、ファシリテーションの方法などを学んでいく。

集団心理療法演習Ⅰにおける体験を前提として、集団心理療法演習Ⅱにおいてはベーシック・エンカウンターグループを体験し、さらにファシリテータの経験を積むことで、グループにおいてコミュニケーションを促進する（ファシリテーション）スキルを獲得することを目標とする。

なお、担当教員は公認心理師・臨床心理士であり、地域のスクールカウンセラーとして児童生徒を対象にエンカウンターグループを実践している。本講義においては、この臨床実践をもとに演習を実施する。

到達目標

ナンバリング(A2602)

①自己理解や他者理解を深める、②自己受容や他者受容をしていく、③グループ体験における居場所感を得ていく、など、履修生は各自でグループでのコミュニケーションに関する到達目標を定め、自己評価していく。このプロセスを通してグループ体験におけるコミュニケーションが円滑になり、自己一致感が高まることを目標とする。

また、グループのコミュニケーションを促進するファシリテーターとしての配慮ができるようになることも目標とする。

成績評価方法

この授業は演習であるため定期テストは実施せず、主として授業内で実施したグループ体験についてのレポートにより評価する。なお、規定回数以上欠席した場合、レポートの提出がない場合には成績評価の対象とならないので注意すること。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○		○			70
授業態度・授業参加度			○		○		10
プレゼンテーション							
グループワーク			○		○		10
演習	○	○	○	○	○		10
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) ガイダンス グループ体験の演習についての諸注意 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
2) ベーシック・エンカウンターグループについて 【予習】特に定めない（0分）【復習】講義内容の振り返り（90分）		
3) ベーシック・エンカウンターグループ体験① ー自己理解・他者理解ー 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
4) ベーシック・エンカウンターグループ体験② ー自己受容・他者受容ー 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験
5) ベーシック・エンカウンターグループ体験の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）		グループ体験
6) グループ体験・ファシリテーター体験による到達目標および評価方法の検討 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）		演習
7) エンカウンターグループ演習① (第7回以降、到達目標は履修生がそれぞれに検討する。) 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
8) エンカウンターグループ演習② 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
9) エンカウンターグループ演習③ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
10) エンカウンターグループ演習④ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
11) エンカウンターグループ演習⑤ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
12) エンカウンターグループ演習⑥ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
13) エンカウンターグループ演習⑦ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
14) エンカウンターグループ演習⑧ 【予習】特に定めない（0分）【復習】グループ体験の検討（90分）		グループ体験 ファシリテーター体験
15) エンカウンターグループ演習の振り返り 【予習】特に定めない（0分）【復習】レポート課題（90分）		演習
授業外学習		
グループ体験について振り返るためのレポートを課す。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
適宜プリントを配布する。		集団心理療法演習Ⅰ

課題に対するフィードバック
レポートにはコメントを付けて返却する。
備考
集団心理療法演習Ⅰを履修済みであることが望ましい。

科目名	心理演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	小山 典子、西村 秀明、榎本 俊哉 、木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士	

授業概要

この演習Ⅰでは、人間関係、人間の心理の理解や関わりに大切な技法や理論の実際について、演習を行う。基礎的な対人関係訓練や自他の気づき、描画療法や精神科クリニックの実際、認知行動療法の基礎などについて、ワークなど実習を通して体験的に学ぶ。これにより臨床心理学を自分の生活に活かす視点を獲得する。

実務経験

公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、産業カウンセラーなどの臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

ナンバリング(A2706ab)

＊心理に関する支援を要する者等に関する知識及び技能の修得

(1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接

＊心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成ができる

＊自己理解や他者理解を深める。

＊生活場面において、より柔軟に考えることができる。

＊自分自身の生活に臨床心理学的な視点を活かすことができる。

＊公認心理師としての職業倫理及び法的義務について理解することができる。

成績評価方法

レポート等40%、受講態度および演習60%で評価する。なお、欠席が所定回数を超えた場合、評価の対象とはならない。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○		○			30
宿題、授業外レポート	○	○		○			10
授業態度・授業参加度			○		○		30
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習		○	○	○	○		30
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	臨床心理学実習について（木元・西村） 【予習】臨床心理学の対応分野について学習しておくこと（60分） 【復習】臨床心理学の意義について確認すること（60分）	レポート
2)	ラポールの取り方、自分の認知的な特性の理解（木元・西村） 【予習】人間関係の特性について学習しておくこと（60分） 【復習】自己覚知についてレポート（60分）	レポート
3)	地域支援の方法（木元・西村） 【予習】臨床心理地域支援について学習しておくこと（60分） 【復習】地域における心理士としての役割を認識すること（60分）	体験
4)	多職種連携及び地域連携－自助グループの活動を通して－（木元・西村）【予習】 多職種の役割、自助グループについて調べておくこと（60分）【復習】自助グループを含めた地域組織との連携支援について周知すること（60分）	体験
5)	精神科クリニックで行っているインテーク面接の紹介（小山）【予習】インテーク・予診の内容について、あらかじめ調べておくこと（60分）【復習】インテーク・予診の重要性、人間理解について確認すること（60分）	
6)	精神科クリニックで行っているインテーク面接の実際（小山）【予習】臨床心理面接について学習しておくこと（60分）【復習】インテーク・予診を体験しての振り返り・気づきについて確認すること（60分）	演習
7)	精神科での初診までの流れ①バウムテストの模擬体験及び所見（小山）【予習】バウムテストの概要を学習しておくこと（60分）【復習】インテークに加え心理検査を併用することによって人間理解を深めることの意味について（60分）	演習
8)	精神科での初診までの流れ② SDSの模擬体験及び所見（小山）【予習】SDS検査の概要について学習しておくこと（60分）【復習】インテークに加え複数の心理検査から多角的にアプローチすることによる人間理解について習得すること（60分）	演習
9)	精神科での初診までの流れ③ CMIの模擬体験及び所見（小山）【予習】CMI検査の概要について学習しておくこと（60分）【復習】人間理解のもうひとつからの視点、身体精神的状況を含めた総理解について習得すること（60分）	演習
10)	精神科での初診までの流れ④ インテーク面接及び心理検査を整理して総合所見を書く（小山）【予習】6）～9）までの総復習（60分）【復習】クライアントの疾患・心理的模様、「その人らしさ」を描くことの習得。模擬ケースレポート（60分）	演習
11)	認知行動療法①相談スキルの基礎（榎本）【予習】認知行動療法の理論・仕組みについて理解しておくこと（60分）【復習】クライアントの自己認知、及び対応するセラピストの自己認知（理解）について洞察すること（60分）	演習
12)	認知行動療法②日常生活の問題について考える（榎本）【予習】ソーシャルスキルトレーニングについて学習しておくこと（60分）【復習】SSTが自分の行動におけるスキルについても役立つことについて学ぶ（60分）	演習
13)	認知行動療法③日常生活の問題に取り組んでみる（榎本） 【予習】Ellisの理論について学習しておく（60分） 【復習】Ellisの理論を習得すること（60分）	演習
14)	認知行動療法④日常生活の問題について振り返る（榎本） 【予習】Beckの理論について学習しておく（60分） 【復習】Beckの理論を習得すること（60分）	演習
15)	認知行動療法⑤思考・感情・行動の関連について考える（榎本）【予習】認知行動療法について総合的に周知しておく（60分）【復習】認知行動療法が人間心理、行動変容に与える影響を知る。演習における総括的レポート（60分）	演習
授業外学習		
第12～14回ではそれぞれが生活上の問題解決に取り組むことを課題とし、この経過をレポートにまとめて提出する。授業に関連する書籍や時事問題について疑問を持ちながら読むこと。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
*テキスト 適宜プリントを配布する。 *参考書 大野裕・田島美幸（2011）．こころのスキルアップ・プログラム 認知療法・認知行動療法の視点から．（独）国立精神・神経医療研究センター／認知行動療法センター		心理演習Ⅱ、心理的アセスメント、臨床心理学概論、心理学的支援法

課題に対するフィードバック
レポートについては、質問・意見に対して全体にフィードバックする。必要に応じてコメントをつけて返す。
備考

科目名		心理演習Ⅱ					
授業形態	履修形態	単位数		年次	開講期		
演習	選択	1		3年	前期		
担当者名	小山 典子、西村 秀明、榎本 俊哉、木元 卓也		関連する資格	公認心理師受験資格 認定心理士			
授業概要							
認知行動療法について、実際の生活場面で生じる怒りをテーマにしたトラブルを中心に、その認知の問題、解決方法の問題等、自己の傾向を振り返り理解を深めていく。自己の傾向を振り返り、グループでのディスカッションを通して、自らが気づいていない自己への理解を深めると同時に、他者の気づきへの支援も行う。 表現療法としての箱庭両方を体験的に理解する。 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチや多職種連携及び地域連携について学ぶ。 これらの体験を通して心理的支援について理解を深めていく。							
実務経験							
全員が公認心理師、及び臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、スクールカウンセラーや産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。							
担当							
第1回～3回：榎本 第4回～7回・13回～15回：小山 第8回～12回：木元・西村							
到達目標			成績評価方法				
ナンバリング（A3706ab） 1) 自己の認知の傾向を理解する。 2) 自己の問題対処方略について理解する。 3) 他者の自己理解を支援する。 4) 心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 ①コミュニケーション②心理検査③心理面接④地域支援 5) 心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 6) 心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチを理解し説明できる。 7) 多職種連携及び地域連携について、理解し説明できる			授業態度 毎回の授業内レポート 全授業終了後提示するテーマへのレポート				
評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート	○	○	○		○		20
宿題、授業外レポート	○		○				30
授業態度・授業参加度		○	○		○		20
プレゼンテーション				○			10
グループワーク			○		○		15
演習			○	○	○		15
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1) オリエンテーション 【予習】あらかじめ「認知療法」についての参考図書を読んでおくこと（360分） 【復習】「認知療法」について確認しておく（180分）		
2) 認知療法 心の仕組みについて知ろう 【予習】心とはこれまで心理学においてどのように捉えられてきたか学習しておくこと（90分）【復習】心の構造について習得する（90分）		グループワーク
3) 認知療法 自動思考を見つけよう 【予習】自分の人間関係の「クセ」について考えてくること（90分） 【復習】自己覚知についてもう一度よく確認しレポートすること（90分）		グループワーク
4) 怒りの対処法1 ①怒りとは何か、②怒りの問題点 【予習】「喜怒哀楽」が人間関係に及ぼす影響について考えてくること（90分）【復習】人間関係における「怒り」が自分のどこから生じるのか洞察すること（90分）		演習
5) 怒りの対処法1 ③怒りのしずめ方、④より良く生きるために 【予習】ストレスマネジメントについて周知して臨むこと（180分） 【復習】自分の「怒り」の対処についてレポートすること（90分）		演習
6) 怒りの対処法2 ①怒りの役目、②怒れないわけ 【予習】「怒り」が生起する事態について様々な局面を想定しておくこと（90分）【復習】「怒り」が人間関係に及ぼすpositiveな影響、negativeな影響について確認すること（90分）		演習
7) 怒りの対処法2 ③良い関係を作る怒りの出し方、④より良く生きるために 【予習】「怒り」の多様性について学習しておくこと（90分） 【復習】「怒り」の効用について理解を深めレポートすること（90分）		演習
8) チームアプローチ 多職種連携とは 【予習】心理支援に関わり多職種について職種と役割について学習しておく（90分） 【復習】チームアプローチの意義についてレポートする（120分）		演習 レポート
9) チームアプローチ スクールカウンセリングにおける支援【予習】配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う（90分）【復習】事業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）		演習
10) チームアプローチ 児童虐待における支援【予習】配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う（90分）【復習】授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）		演習
11) チームアプローチ 発達障がい児への支援【予習】配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う。（90分）【復習】授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）		演習
12) チームアプローチ DVにおける支援【予習】配布資料を熟読し分からない専門語彙を調べる。出された課題を行う（90分）【復習】授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）		演習
13) 箱庭療法1（箱庭療法の体験） 【予習】箱庭療法の概要について学習しておく（90分）【復習】授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）		体験
14) 箱庭療法2（解釈の実際） 【予習】何かひとつでも箱庭療法の解釈について理解しておく（90分）【復習】授業中に理解が不十分であった専門語彙を調べ直し正しく理解しておく（90分）		体験
15) 総論【予習】これまでの講義・演習・体験について総復習しておく（180分）【復習】自己認知（覚知）が臨床相談対応においていかに重要であり、影響を与えるものであるかについてレポートする。（180分）		
授業外学習		
「心のトレーニング」について、各授業で指示した個所を事前に実施して授業に参加する。 疑問に思ったことや興味・関心を惹かれたことについて、心理学事典や参考書、インターネット等を用いて調べる。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
その都度、資料を配付する。 「心のトレーニング」（小学館集英社プロダクション）を使用。		心理学関連科目全て 心理演習Ⅰ 心理実習Ⅰ・Ⅱ

課題に対するフィードバック
レポートに関してはコメントを加えて返す。
備考
オフィスパワー：木曜日・金曜日の昼休み時間

科目名	心理実習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
実習	選択	2	3年	後期
担当者名	小山 典子、西村 秀明、榎本 俊哉、木元 卓也	関連する資格	公認心理師受験資格	

授業概要

本実習は、公認心理師として従事するために不可欠な、臨床心理に関する実践的な内容を学んでいく。特に心理臨床の主要領域である、医療・福祉・教育・司法／矯正領域の現場で実習を行い、心の専門的支援の実践に触れる。実習の実施前に各領域および各施設の現状について事前調査、学習を行い実習に臨む。実習後は、学びのまとめとしてレポートの提出を求める。なお、この実習は、公認心理師コースの学生の必修科目であるが、ビジネス心理コースの学生は履修できないこととする。

実務経験

全員が公認心理師、または臨床心理士の資格を有しており、大学院附属臨床心理相談センターでの心理支援活動をはじめ、スクールカウンセラーや産業カウンセラーなどさまざまな臨床現場で心理臨床に携わっており、その活動をもとに実践的で臨場感のある授業を行っている。

到達目標

ナンバリング（A3707a）
公認心理師法により定められている、次の3項目を中心に修得する。
1) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて。
2) 多職種連携及び地域連携について。
3) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について。
また、各自個別的な実習課題を設定し、心理臨床における機能や役割についてより深く学修する。

成績評価方法

実習指導者の実習評価票および担当教員による評価の総合で行う。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		30
授業態度・授業参加度							
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		10
グループワーク							
演習							
実習	○	○	○	○	○		60

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）（実習）		アクティブラーニング
本学と実習契約をしている各実習機関（施設）への配属実習により、心理業務の実践について学修する。 実習は3領域以上の機関で実施する。また、実習中は週1回以上、実習担当教員が各実習機関（施設）を訪問し、実習指導職員とともにスーパーヴィジョンを実施する。 全実習期間及び時間は、10日間、80時間とする。なお、実習機関の各領域は以下のとおり。 ①医療保健分野 4日間（32時間） ②福祉分野 4日間（32時間） ③教育分野 2日間（16時間） ④司法・犯罪分野を選択する者は、美祿社会復帰促進センターにおいて2日間（16時間）の見学実習とする。 ①の医療保健分野、及び②の福祉分野の実習は必修とし、③の教育分野、及び④の司法・犯罪分野における実習はいずれかを選択するものとする。 「心理実習Ⅰ」においては、実習に入る前に各実習機関（施設）の現状について事前調査による学習を行ったうえで実習に望む姿勢を培うとともに、医療機関における学外実習を実施する。 1. 公認心理師法により定められている、実習において学修すべき次の3項目について講義する。 1) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチについて。 2) 多職種連携及び地域連携について。 3) 公認心理師としての職業倫理及び法的義務への理解について。 2. 各自個別的な実習課題を設定し、実習機関（施設）においてどのようなことを目的に実習に臨むか、自己課題についてレポートする。 3. 次に、本学と実習契約をしている各実習機関（施設）への配属実習により、心理業務の実践について学修する。配属先は、実習担当教員と協議したうえでそれぞれの領域の内で適切な機関（施設）を選定する。実習は3領域以上の機関（施設）で実施する。 4. 実習中は、毎日「実習記録」を記載する。また、「実習記録」に基づいて実習指導者よりスーパーヴァイズを受ける。 5. また、実習中は週1回以上、実習担当教員が各実習機関（施設）を訪問し、実習指導職員とともにスーパーヴィジョンを実施する。 6. 実習終了後は、実習における実践記録をケースレポート、あるいは研究レポートとしてまとめて提出する。ケースレポート、研究レポート等により実習担当教員による個別指導を実施する。その後、提出されたケースレポート、あるいは研究レポートは「実習・研究報告会」においてさらに検討を加えるものとし、実習の反省と総括を行う。 【予習】医療機関、福祉施設等、実習先の治療、援助支援等、各機能について充分学習しておくこと。 【復習】実習を振り返り自己吟味を深めるとともに、得た指導から心理臨床の実践における対応技能について理解の幅を拡げること。		実習
授業外学習		
実習先の情報をインターネット等から収集し、学びたい内容および各自の課題をレポートする。		
テキスト、参考書、教材	関連する科目	
※テキスト 適宜プリントを配布する。また、実習記録票、実習への心構え・要領などを配布する。 ※参考書 ・河合隼雄（2003）．臨床心理学ノート 金剛出版 ・馬場禮子 編（2003）．臨床心理学概説 放送大学教育振興会	心理実習Ⅱ 心理演習Ⅰ・Ⅱ	

課題に対するフィードバック
面談・個別においてフィードバックする。
備考

科目名	ビジネス心理コース演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	高山 智行、海野 博、三島 瑞穂、 森本 裕子	関連する資格		

授業概要

ビジネス心理コースのゼミナールとして開講する。内容は各担当教員の専門分野に関する内容とする。

到達目標

ナンバリング(A2501)

- ・担当教員の指導のもとに、ビジネス領域で活用されている心理学理論について、興味関心を抱くことができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにしてわかりやすいレジュメを作成することができる。
- ・ゼミ内でレジュメを使って発表することができる。
- ・ゼミ内で担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等をもとに、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
2)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
3)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
4)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
5)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
6)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
7)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
8)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
9)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
10)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
11)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
12)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
13)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
14)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
15)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
授業外学習		
出された課題や次回授業に関するキーワードなどを調べておく。 ゼミで説明のあった専門語彙など自らも調べ理解しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各ゼミ担当より提示される		心理学基礎ゼミナールⅠⅡ 心理学関連科目全て

課題に対するフィードバック
各ゼミ担当より行われる
備考
ゼミナールの授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をする。

科目名	ビジネス心理コース演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	高山 智行、海野 博、三島 瑞穂、 森本 裕子	関連する資格		

授業概要

演習Ⅰに引き続いて、各コースの教員が担当する。内容は各担当教員の専門分野に関する内容とする。

到達目標

ナンバリング(A2502)

- ・ビジネス心理コース演習Ⅰでの学びをもとに、ビジネス領域で活用されている心理学理論について、さらに興味関心を拡大させることができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにして分かりやすいレジュメを作成することができる。
- ・ゼミ内でレジュメを使って発表することができる。
- ・ゼミ内で担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等をもとに、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
2)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
3)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
4)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
5)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
6)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
7)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
8)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
9)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
10)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
11)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
12)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
13)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
14)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
15)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
授業外学習		
出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 ゼミで説明のあった専門語彙など自らも調べ理解しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各ゼミ担当より提示される。		心理学基礎ゼミナールⅠⅡ 心理学関連科目全て

課題に対するフィードバック
各ゼミ担当より行われる。
備考
ゼミナールの授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をする。

科目名	ビジネス心理コース演習III			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	前期
担当者名	高山 智行、海野 博、三島 瑞穂、 森本 裕子	関連する資格		

授業概要

ビジネス心理コースのゼミナールとして開講する。内容は各担当教員の専門分野に関する内容とする。

到達目標

ナンバリング(A3501)

- ・担当教員の指導のもとに、ビジネス領域で活用されている心理学理論について、興味関心を抱くことができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにして分かりやすいレジュメを作成することができる。
- ・ゼミ内でレジュメを使って発表することができる。
- ・ゼミ内で担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等をもとに、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
2)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
3)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
4)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
5)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
6)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
7)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
8)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
9)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
10)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
11)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
12)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
13)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
14)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
15)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
授業外学習		
出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 ゼミで説明のあった専門語彙など自らも調べ理解しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各ゼミ担当より提示される。		ビジネス心理コース演習ⅠⅡ 心理学関連科目全て

課題に対するフィードバック
各ゼミ担当より行われる。
備考
ゼミナールの授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をする。

科目名	ビジネス心理コース演習Ⅳ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	後期
担当者名	高山 智行、海野 博、三島 瑞穂、 森本 裕子	関連する資格		

授業概要

演習Ⅲに引き続いて、各コースの教員が担当する。内容は各担当教員の専門分野に関する内容とする。

到達目標

ナンバリング(A3502)

- ・担当教員の指導のもとに、ビジネス領域で活用されている心理学理論について、さらに興味関心を拡大させることができる。
- ・興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- ・それをもとにしてわかりやすいレジュメを作成することができる。
- ・ゼミ内でレジュメを使って発表することができる。
- ・ゼミ内で担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等を基に、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
2)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
3)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
4)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
5)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
6)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
7)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
8)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
9)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
10)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
11)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
12)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
13)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
14)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
15)	各授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
授業外学習		
出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 ゼミで説明のあった専門語彙など自らも調べ理解しておく。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各ゼミ担当より提示される。		ビジネス心理コース演習ⅠⅡⅢ 心理学関連科目全て

課題に対するフィードバック
各ゼミ担当より行われる。
備考
ゼミナールの授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をする。

科目名	公認心理師コース演習Ⅰ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	前期
担当者名	梶本 知子、大石 英史、高田 晃、 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也	関連する資格		

授業概要

公認心理師コースの教員が担当する。内容は担当教員の専門分野に関する内容とする。

到達目標

ナンバリング(A2503)

- 1) 1年次までの学びを基に、心理学の理論について、さらに興味関心を拡大させることができる。
- 2) 興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- 3) 2) を基にしてわかりやすいレジュメを作成することができる。
- 4) レジュメを使って発表することができる。
- 5) 担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等を基に、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
2)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
3)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
4)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
5)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
6)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
7)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
8)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
9)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
10)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
11)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
12)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
13)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
14)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
15)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
授業外学習		
出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 授業で紹介や説明のあった専門用語などについて、自らも調べ理解を深める。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各授業担当教員より提示される		心理学基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ 心理学専門科目全て

課題に対するフィードバック
各授業担当教員より全体または個別に行われる
備考
授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をすること

科目名	公認心理師コース演習Ⅱ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	2年	後期
担当者名	梶本 知子、大石 英史、高田 晃、 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也	関連する資格		

授業概要

公認心理師コース演習Ⅰに引き続いて、公認心理師コースの教員が担当する。内容は担当教員の専門分野に関する内容とする。

到達目標

ナンバリング(A2504)

- 1) 公認心理師コース演習Ⅰでの学びを基に、心理学の理論について、さらに興味関心を拡大させることができる。
- 2) 興味関心のあることに関して、図書館やデータベースなどを使って、必要な情報を収集することができる。
- 3) 2) を基にしてわかりやすいレジュメを作成することができる。
- 4) レジュメを使って発表することができる。
- 5) 担当教員の指導の下にディスカッションし議論を深めることができる。

成績評価方法

レポート、授業参加度、レジュメの作成とプレゼンテーション等を基に、各ゼミ担当が総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○	○		40
授業態度・授業参加度	○	○	○	○	○		30
プレゼンテーション	○	○	○	○	○		30
グループワーク							
演習							
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
2)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
3)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
4)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
5)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
6)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
7)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
8)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
9)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
10)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
11)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
12)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
13)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
14)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
15)	授業担当者の指示の下に、予習復習等を行い十分な準備して授業に参加する。 予習（45分）、復習（45分）	課題の発表 ディスカッション
授業外学習		
出された課題や次回授業に関するキーワードなど調べておく。 授業で紹介や説明のあった専門用語などについて、自らも調べ理解を深める。		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
各授業担当教員より提示される		心理学基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ 心理学専門科目全て

課題に対するフィードバック
各授業担当教員より全体または個別に行われる
備考
授業時間以外に指導を希望する場合は、事前に予約をすること

科目名	公認心理師コース演習Ⅲ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	前期
担当者名	梶本 知子、大石 英史、高田 晃、 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也	関連する資格		

授業概要

モデル内で選んだ教員の研究にふれることにより、専門性を高める。卒業研究の準備として取り組む。また、ゼミナールでは積極的に討論に加わり、文献調査、現地調査などに取組み、専門性を深めていく。なお、卒論研究は、総合演習Ⅳを選択した教員にこだわる必要は無い。

到達目標

A3503

- 報告・発表、議論の能力を高める。
- 主題に関する専門性を高める。
- 卒業研究へのレディネスの形成。

成績評価方法

演習に対する取り組みの姿勢、および提出レポートより総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識理解	思考判断	関心意欲	技能表現	態度	その他	評価割合(%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			25
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		50
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
2)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
3)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
4)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
5)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
6)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
7)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
8)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
9)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
10)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
11)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
12)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
13)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
14)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
15)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までにする（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
授業外学習		
教員ごとに課題提示		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
担当教員ごとに指示する。		選択する担当教員の掲げる主題によって異なる。

課題に対するフィードバック	
各教員が行う	
備考	

科目名	公認心理師コース演習Ⅳ			
授業形態	履修形態	単位数	年次	開講期
演習	選択	1	3年	後期
担当者名	梶本 知子、大石 英史、高田 晃、 小山 典子、榎本 俊哉、木元 卓也	関連する資格		

授業概要

モデル内で選んだ教員の研究にふれることにより、専門性を高める。卒業研究の準備として取り組む。また、ゼミナールでは積極的に討論に加わり、文献調査、現地調査などに取り組み、専門性を深めていく。なお、卒論研究は、総合演習Ⅳを選択した教員にこだわる必要は無い。

到達目標

A3504

- 報告・発表、議論の能力を高める。
- 主題に関する専門性を高める。
- 卒業研究へのレディネスの形成。

成績評価方法

演習に対する取り組みの姿勢、および提出課題等より総合的に評価する。

評価項目	評価基準						
	知識 理解	思考 判断	関心 意欲	技能 表現	態度	その他	評価割合 (%)
定期試験(中間・期末)							
小テスト、授業内レポート							
宿題、授業外レポート	○	○	○	○			25
授業態度・授業参加度			○		○		25
プレゼンテーション							
グループワーク							
演習	○	○	○	○	○		50
実習							

授業計画と概要、予習・復習内容（時間）		アクティブラーニング
1)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
2)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
3)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
4)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
5)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
6)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
7)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
8)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
9)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
10)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
11)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
12)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
13)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
14)	各教員の計画によりすすめられる 教員より出された課題を次回授業までに行う（予習復習90分）	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
15)	各教員の計画によりすすめられる 卒業研究報告会参加	卒業研究計画書作成 卒業研究論文の作成 ディスカッション
授業外学習		
教員ごとに課題提示		
テキスト、参考書、教材		関連する科目
担当教員ごとに指示する。		選択する担当教員の掲げる主題によって異なる。

課題に対するフィードバック	
各教員が行う	
備考	